

最新の情報はこちらでご覧下さい。

「平成30年7月豪雨に関する情報」

[http://www.kkr.mlit.go.jp/news/river/topics/2018/shusuisokuhou\\_h30\\_typhoon7\\_front.html](http://www.kkr.mlit.go.jp/news/river/topics/2018/shusuisokuhou_h30_typhoon7_front.html)

# 平成30年7月豪雨の概要(近畿管内)

## 《第8報》

平成30年8月10日

国土交通省 近畿地方整備局  
河川部

・平成30年7月豪雨の概要	・ ・ ・	2
・国管理及び府県管理河川の水位状況	・ ・ ・	7
・施設状況	・ ・ ・	10
・各河川の水位及び被害状況	・ ・ ・	13
・ダム等の操作状況および効果	・ ・ ・	34
・排水ポンプ車による排水活動状況	・ ・ ・	39
・水防活動状況	・ ・ ・	41
・ホットライン、洪水情報のプッシュ型配信実施状況	・ ・ ・	50
・水防災意識社会再構築ビジョンの取組による効果	・ ・ ・	53
・近畿管内の国管理河川における 主な堤防・護岸等の被害と復旧状況	・ ・ ・	56
・内水浸水箇所における取組状況	・ ・ ・	61
・河川整備・ダム・排水機場等による効果	・ ・ ・	63
・土砂崩壊箇所における活動・支援状況	・ ・ ・	84

# 平成30年7月豪雨の概要

# 平成30年7月豪雨の概要(全国)

- 気象庁発表資料によると、「平成30年7月豪雨」の総降水量(図1)では、西日本の広い範囲で大雨となり、四国地方で1800ミリ、東海地方で1200ミリを超えるところがあるなど、7月の月降水量平年値の2~4倍となる大雨を観測。
- 今回の豪雨は、これまでの梅雨前線や台風による大雨事例と比べて、西日本から東海地方を中心に広い範囲で、特に、「2(48時間)~3日間(72時間)」の記録的な降水量が観測されたことが大きな特徴(図2)。

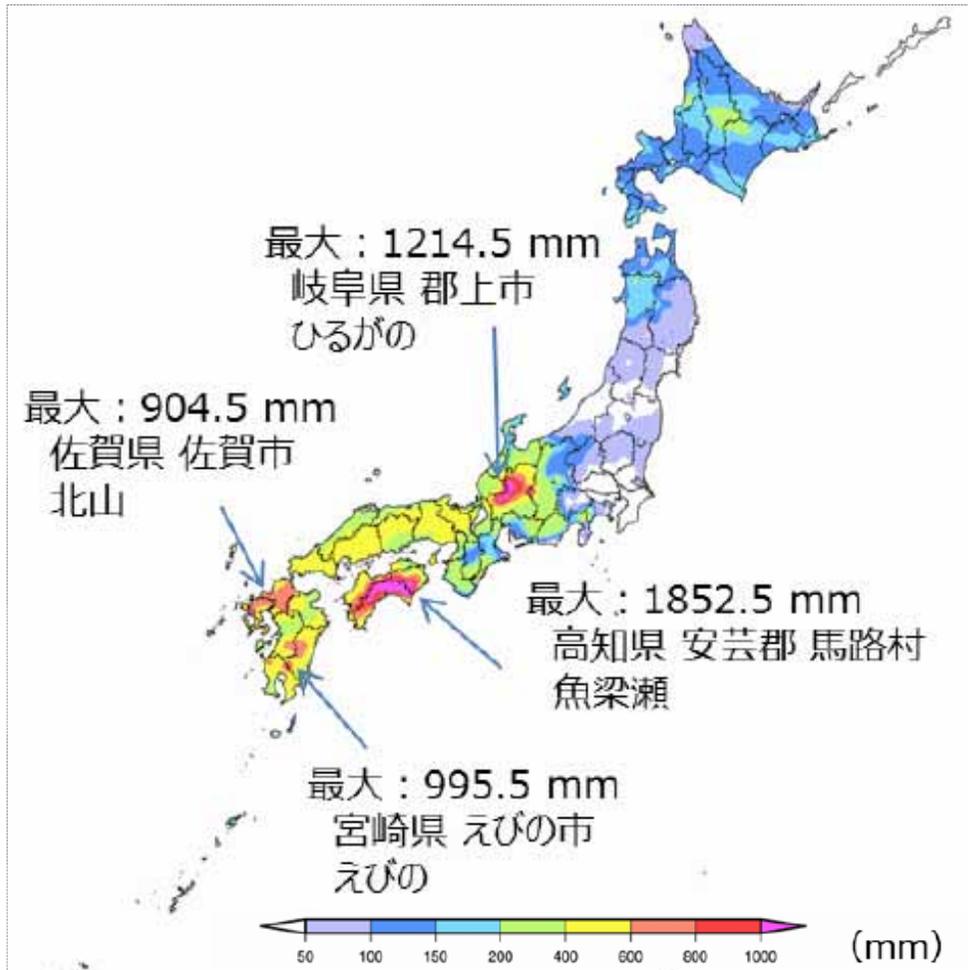


図1 「平成30年7月豪雨」の降水分布(期間:6月28日から7月8日)

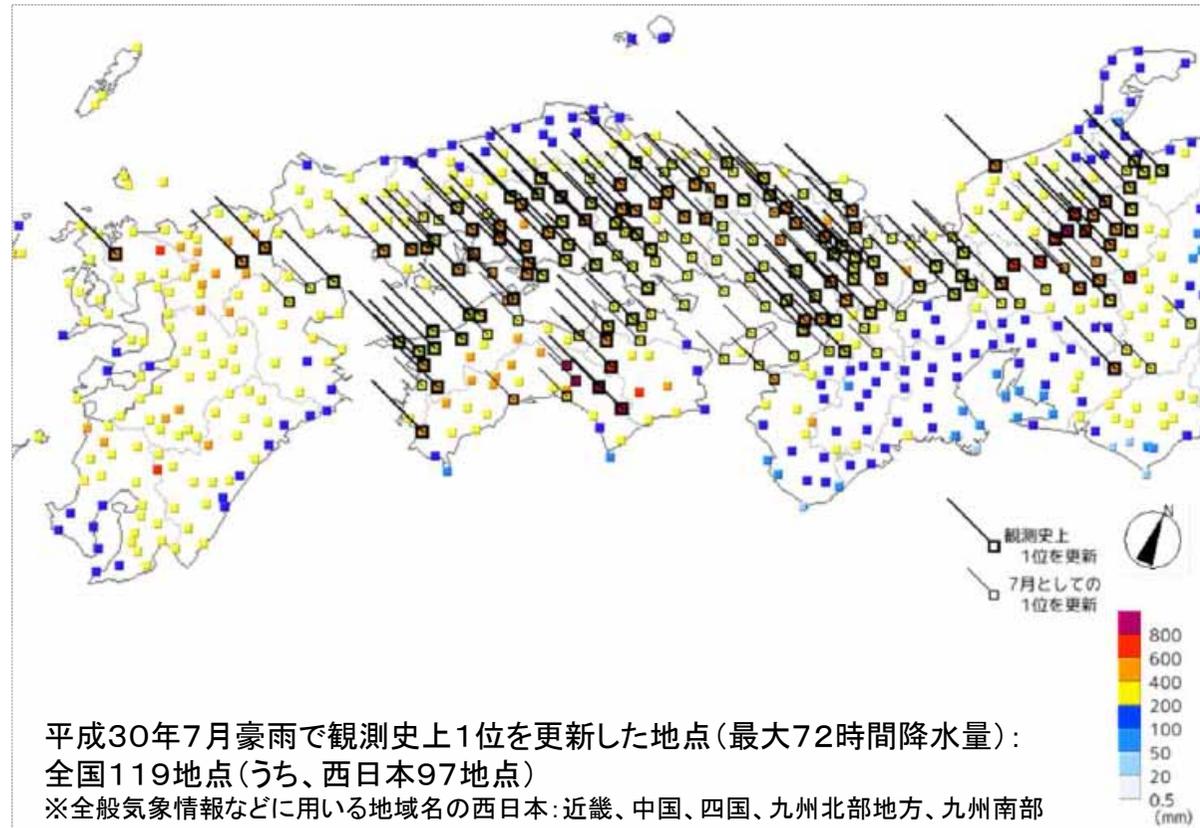


図2 西日本から東海地方にかけての72時間降水量の期間最大値

# 平成30年7月豪雨の概要(全国)

## ○平成30年7月豪雨による全国の主な河川の被災状況(7月3日～)

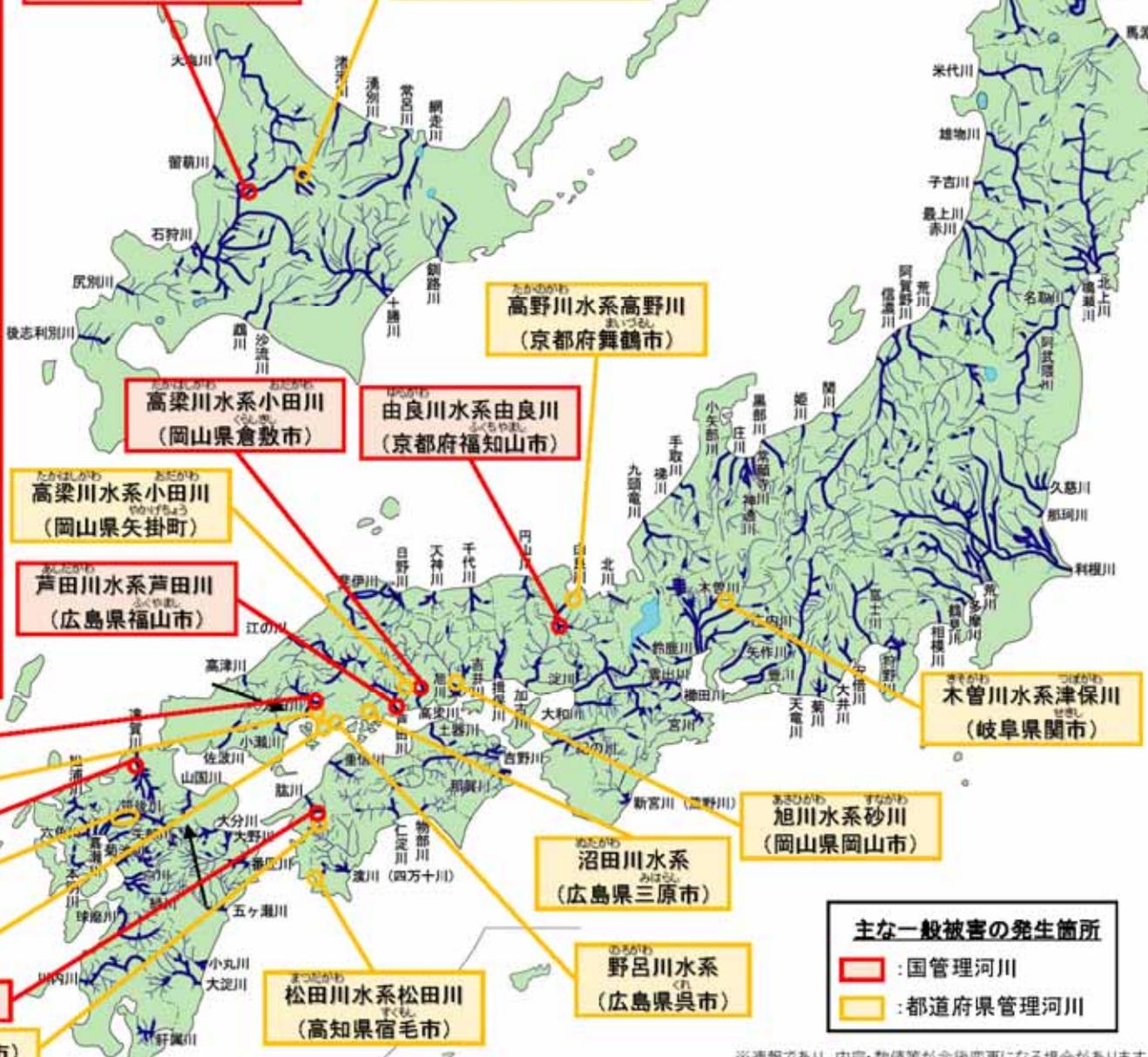
### 高梁川水系小田川(岡山県倉敷市)

- ・ 左岸及び複数の支川の決壊。右岸の越水により、多数の家屋等浸水(約1,200ha、約4,100戸)(7/7)
- ・ 排水作業により浸水は概ね解消(7/11)
- ・ **決壊2箇所及び決壊れ1箇所にて緊急復旧を実施。7月15日に復旧完了。引き続き二箇所復旧を実施中**



### 石狩川水系石狩川(北海道深川市、旭川市)

### 石狩川水系ペーパン川(北海道旭川市)



**主な一般被害の発生箇所**

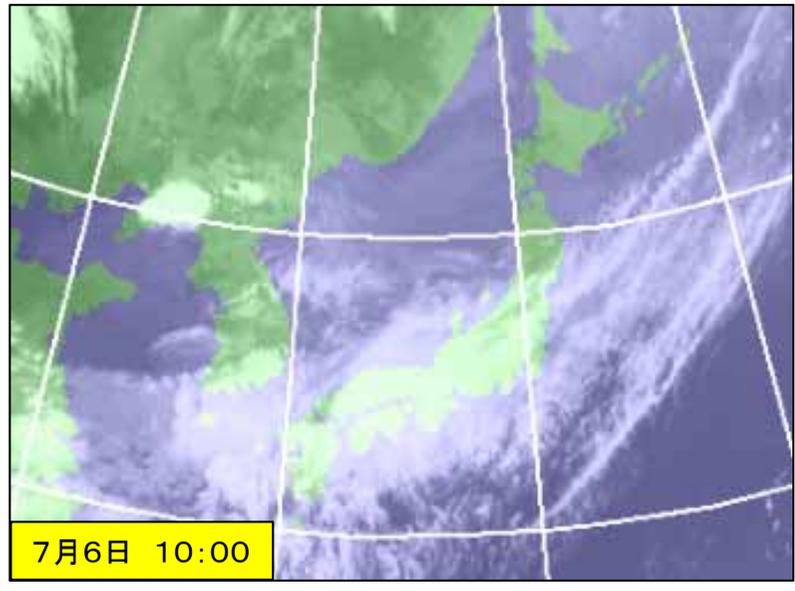
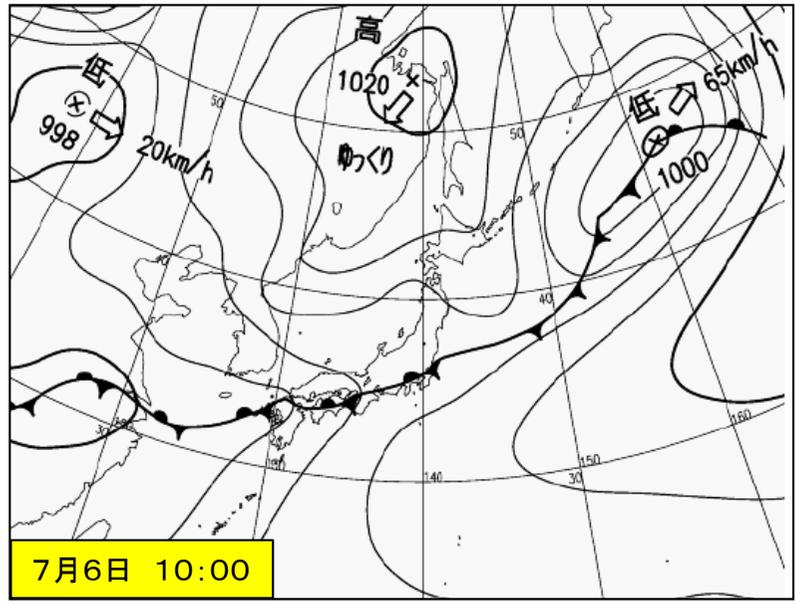
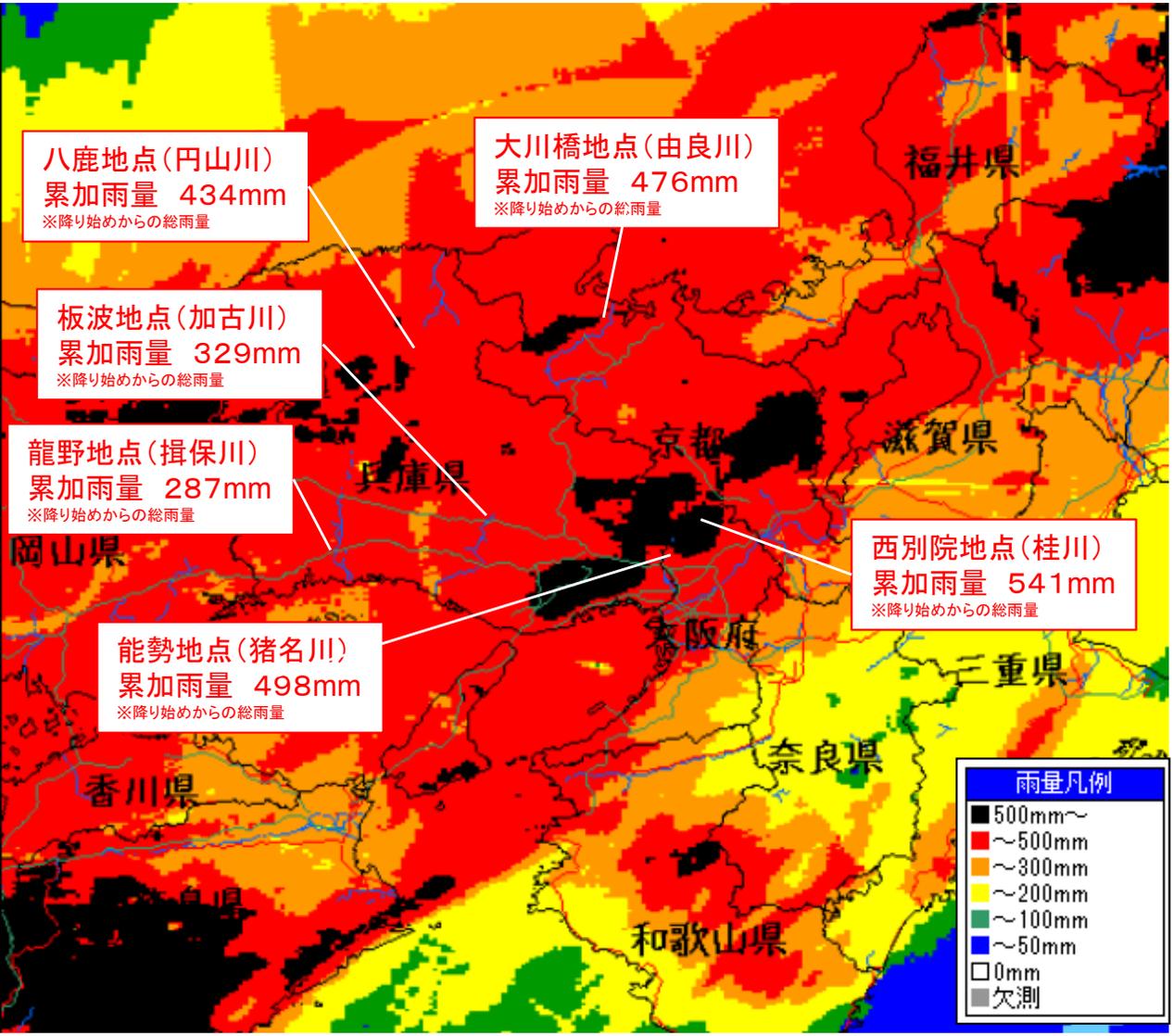
■ : 国管理河川

■ : 都道府県管理河川

# 平成30年7月豪雨の概要(近畿管内)

○4日昼から8日にかけて、東日本から西日本に停滞している梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、梅雨前線の活動が活発となり、近畿全域で猛烈な雨が断続的に降り、降り始めからの雨量は多いところで近畿中部で約540ミリ、近畿北部で約480ミリを超えることとなった。

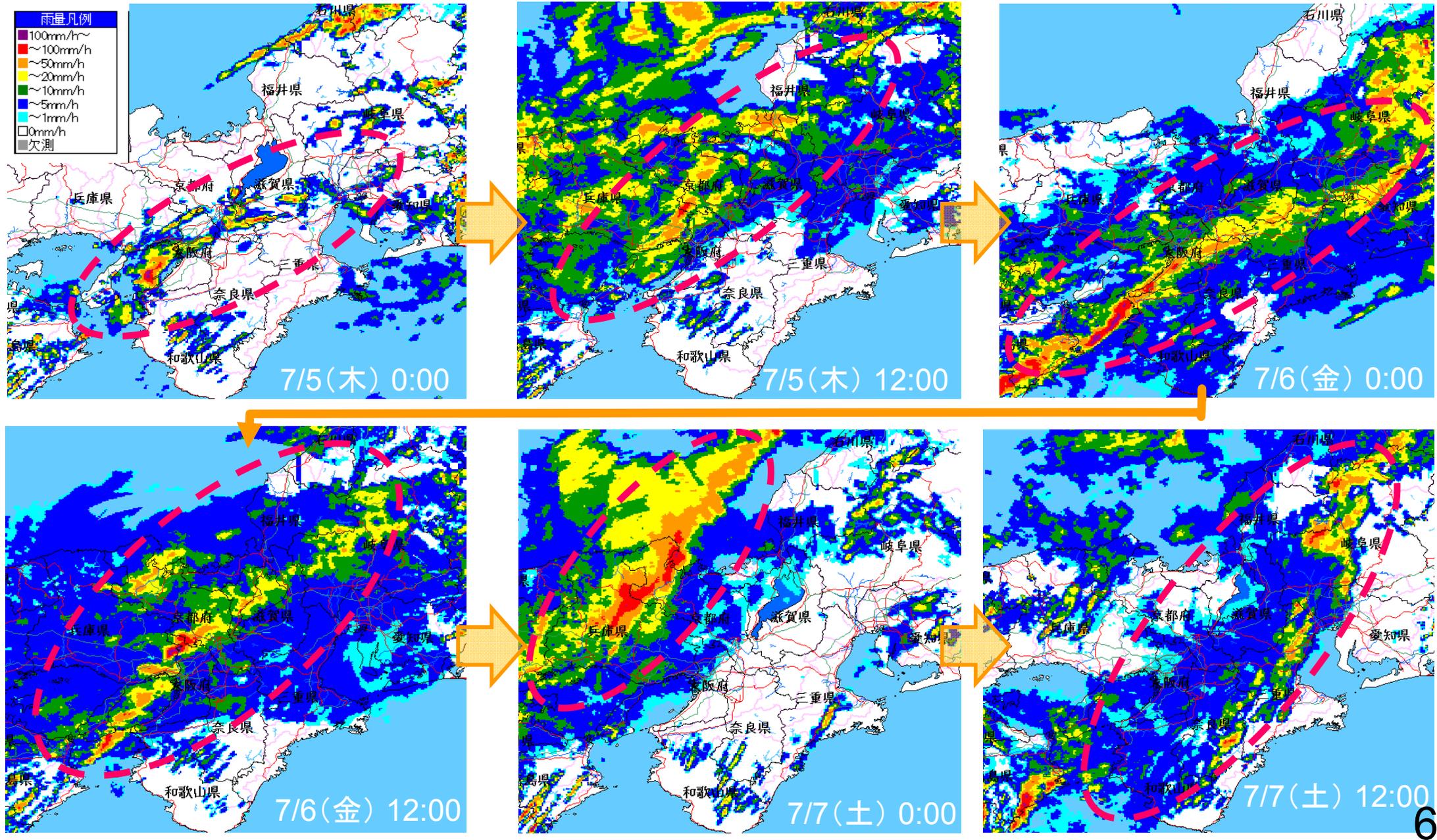
## 累加レーダ雨量



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 平成30年7月豪雨の概要(近畿管内)

○近畿北部や大阪湾周辺において、線状降水帯の発生により、発達した雨雲が停滞を繰り返したため、長時間にわたり大雨が続いた。



# 国管理及び府県管理河川の水位状況

# 国管理河川の水位状況

## 1. 河川出水状況(直轄河川)

### ● 氾濫危険水位超過<7河川>

#### 淀川水系

桂川(桂水位観測所)

#### 大和川水系

佐保川(番条水位観測所)

#### 円山川水系

円山川(立野水位観測所)

出石川(弘原水位観測所)

#### 揖保川水系

揖保川(龍野水位観測所)

#### 由良川水系

由良川(福知山水位観測所)

#### 加古川水系

加古川(板波、国包水位観測所)

### ● 避難判断水位超過<3河川>

#### 大和川水系

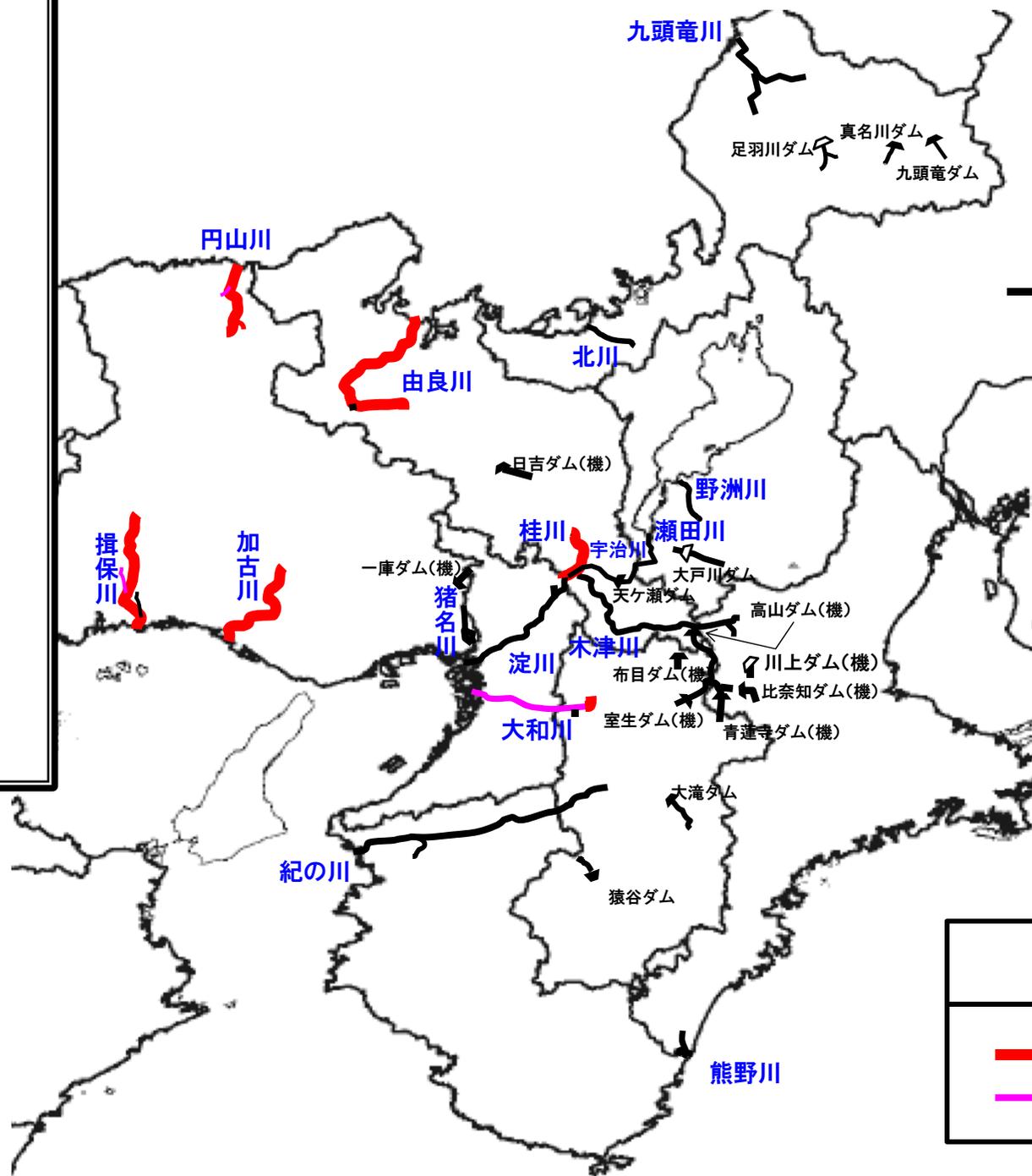
大和川(板東水位観測所)

#### 円山川水系

奈佐川(立野水位観測所)

#### 揖保川水系

栗栖川(東栗栖水位観測所)



—:河川 ◀:ダム ◁:建設中ダム  
(機):(独)水資源機構ダム

凡例	
<span style="color: red;">—</span>	氾濫危険水位超過
<span style="color: magenta;">—</span>	避難判断水位超過

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

平成30年7月豪雨により、府県管理河川のうち氾濫危険水位(避難勧告発令等の目安)を超過した河川は、6府県で24水系43河川となった。

## 河川出水状況(府県管理河川)

### ○福井県<3河川>

【九頭竜川水系】浅水川、服部川  
【笙の川水系】笙の川

### ○滋賀県<3河川>

【淀川水系】天野川、安曇川、姉川

### ○京都府<17河川>

【由良川水系】牧川、土師川、犀川、和久川、宮川  
【淀川水系】桂川、天神川  
【福田川水系】福田川  
【佐濃谷川水系】佐濃谷川  
【川上谷川水系】川上谷川  
【筒川水系】筒川  
【志楽川水系】志楽川  
【伊佐津川水系】伊佐津川  
【野田川水系】野田川  
【竹野川水系】竹野川  
【宇川水系】宇川  
【大手川水系】大手川

### ○大阪府<1河川>

【淀川水系】天竺川

### ○兵庫県<15河川>

【加古川水系】加古川、美嚢川、杉原川、野間川、高谷川  
【淀川水系】猪名川  
【揖保川水系】揖保川  
【円山川水系】稲葉川、奈佐川  
【矢田川水系】湯舟川  
【千種川水系】千種川  
【妙法寺川水系】妙法寺川  
【都賀川水系】都賀川  
【明石川水系】明石川  
【市川水系】市川

### ○奈良県<4河川>

【大和川水系】秋篠川、竜田川、地藏院川、能登川

# 施設状況

# ダムによる洪水調節状況

○国土交通省管理の4ダムのうち1ダム、水資源機構管理の7ダムのうち2ダムにて洪水調節実施。  
 ○府県管理の46ダムのうち、福井県、滋賀県、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県が管理する16ダムにて洪水調節実施。

凡例

- 国土交通省管理ダム
- 水資源機構管理ダム
- 県管理ダム

おおつろ  
大津呂ダム(佐分利川水系大津呂川)

おおの  
大野ダム(由良川水系由良川)

ひよし  
日吉ダム(淀川水系桂川)

ひとくら  
一庫ダム(淀川水系猪名川支川一庫大路次川)

ひきはら  
引原ダム(揖保川水系引原川)

いの  
生野ダム(市川水系市川)

あおの  
青野ダム(武庫川水系青野川)

きりめがわ  
切目川ダム(切目川水系切目川)

くずりゅう  
九頭竜ダム(九頭竜川水系九頭竜川)

りゅうがはな  
龍ヶ鼻ダム(九頭竜川水系竹田川)

さそうがわ  
笹生川ダム(九頭竜川水系真名川)

ますたに  
榎谷ダム(九頭竜川水系榎谷川)

ひろの  
広野ダム(九頭竜川水系日野川)

よご  
余呉湖ダム(淀川水系余呉川)

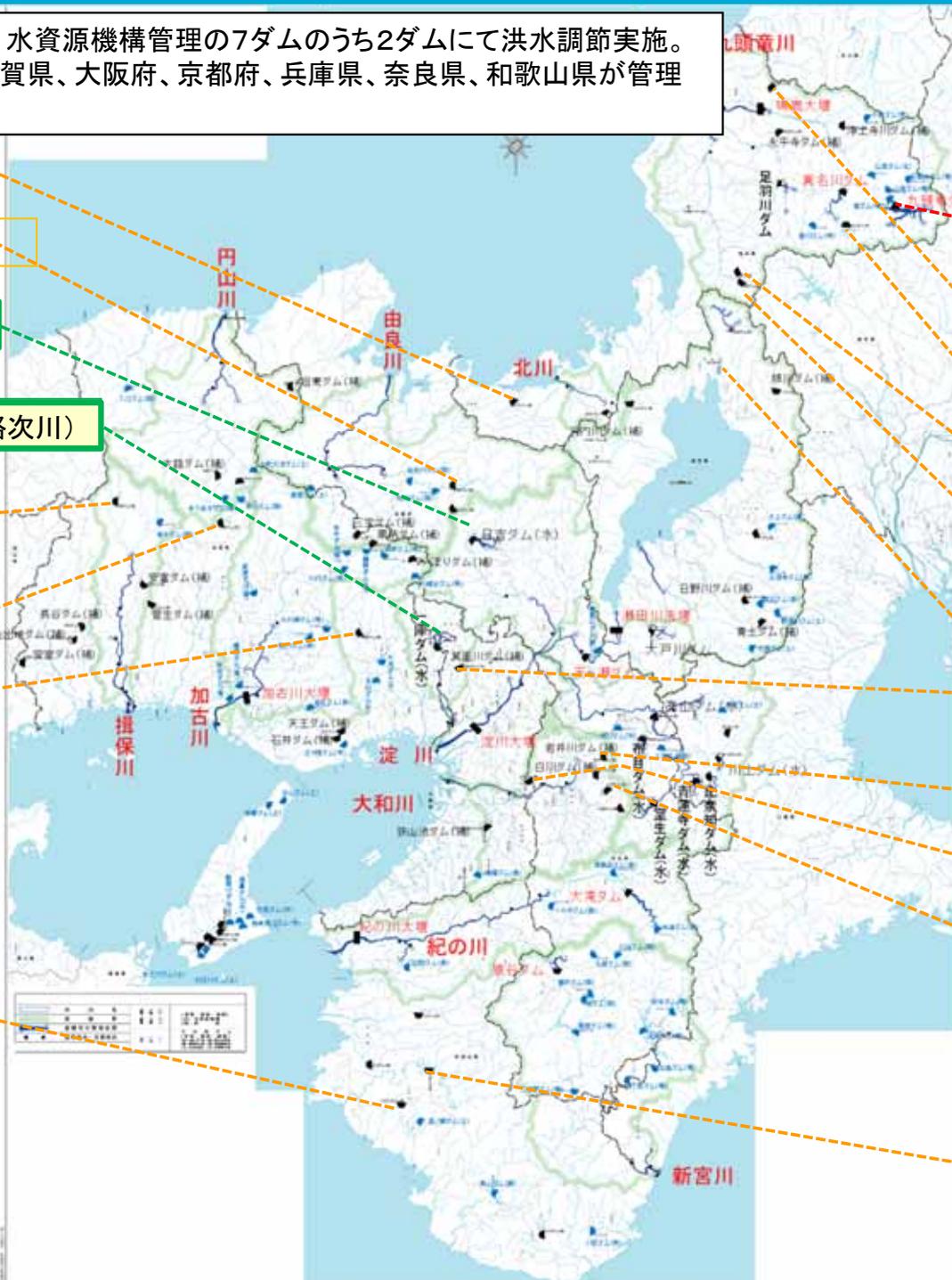
みのおがわ  
箕面川ダム(淀川水系箕面川)

いわいがわ  
岩井川ダム(大和川水系岩井川)

だいもん  
大門ダム(大和川水系大門川)

てんり  
天理ダム(大和川水系布留川)

つばやま  
椿山ダム(日高川水系日高川)



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 国管理河川における排水機場操作状況

○国管理の排水機場25施設のうち  
17施設について、ポンプ排水を実施



## 排水状況



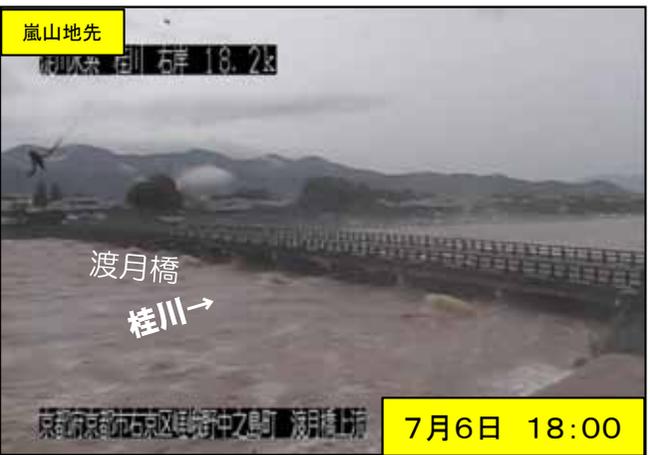
## ■排水機場操作運転状況一覧

No.	事務所名	水系名	河川名	施設名	操作・運転状況				
					閉操作/ホップ始動		開操作/ホップ停止		総排水量 (千m3)
					年月日	時刻	年月日	時刻	
①	淀川	淀川	淀川	毛馬排水機場	H30.7.6	1:15	H30.7.6	13:05	3,884
②	淀川	淀川	宇治川	久御山排水機場	H30.7.4	13:41	H30.7.6	20:19	3,635
③	淀川	淀川	宇治川	針ノ木排水機場	H30.7.6	1:06	H30.7.6	15:47	34
④	淀川	淀川	山科川	大島排水機場	H30.7.5	6:46	H30.7.6	21:35	948
⑤	淀川	淀川	木津川	八幡排水機場	H30.7.5	22:51	H30.7.7	6:24	1,989
⑥	姫路	揖保川	揖保川	馬路川排水機場	H30.7.6	12:44	H30.7.7	22:43	1,545
⑦	豊岡	円山川	円山川	豊岡排水機場	H30.7.5	13:40	H30.7.8	16:27	2,051
⑧	豊岡	円山川	円山川	八条排水機場	H30.7.5	16:03	H30.7.7	14:17	890
⑨	豊岡	円山川	円山川	六方排水機場	H30.7.5	15:29	H30.7.8	1:16	6,675
⑩	豊岡	円山川	円山川	八代排水機場	H30.7.5	18:01	H30.7.7	20:20	4,005
⑪	豊岡	円山川	円山川	城崎排水機場	H30.7.6	22:08	H30.7.7	16:47	442
⑫	福知山	由良川	由良川	荒河排水機場	H30.7.5	19:47	H30.7.8	2:56	2,150
⑬	福知山	由良川	由良川	弘法川緊急排水ポンプ施設	H30.7.7	0:52	H30.7.8	3:04	467
⑭	福知山	由良川	由良川	法川排水機場	H30.7.5	21:13	H30.7.8	13:04	1,089
⑮	福井	九頭竜川	九頭竜川	片川排水機場	H30.7.5	21:14	H30.7.6	20:23	87
⑯	福井	九頭竜川	九頭竜川	磯部川排水機場	H30.7.5	21:27	H30.7.6	11:17	240
⑰	福井	九頭竜川	日野川	底喰川排水機場	H30.7.5	21:10	H30.7.7	14:30	22

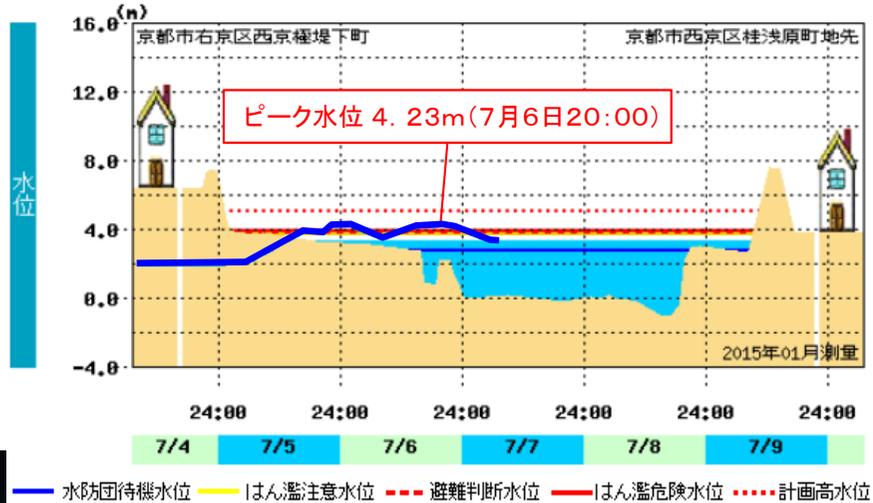
※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 各河川の水位及び被害状況

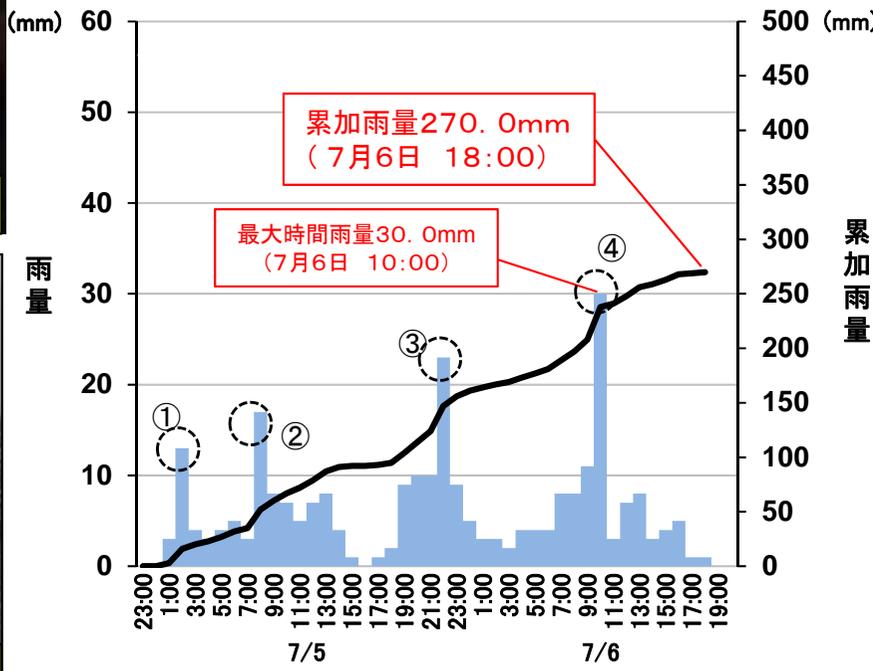
# 流域の概要①(淀川水系 桂川)



## ■水位の状況(桂水位観測所)【7月7日 7時時点】



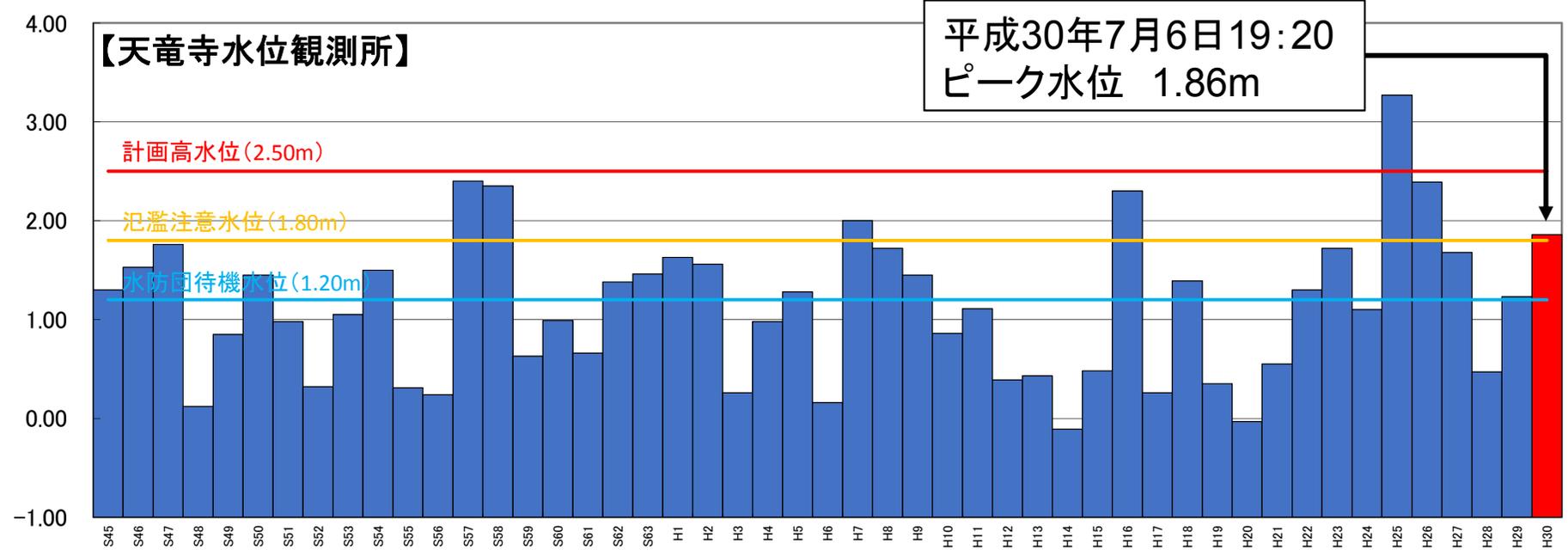
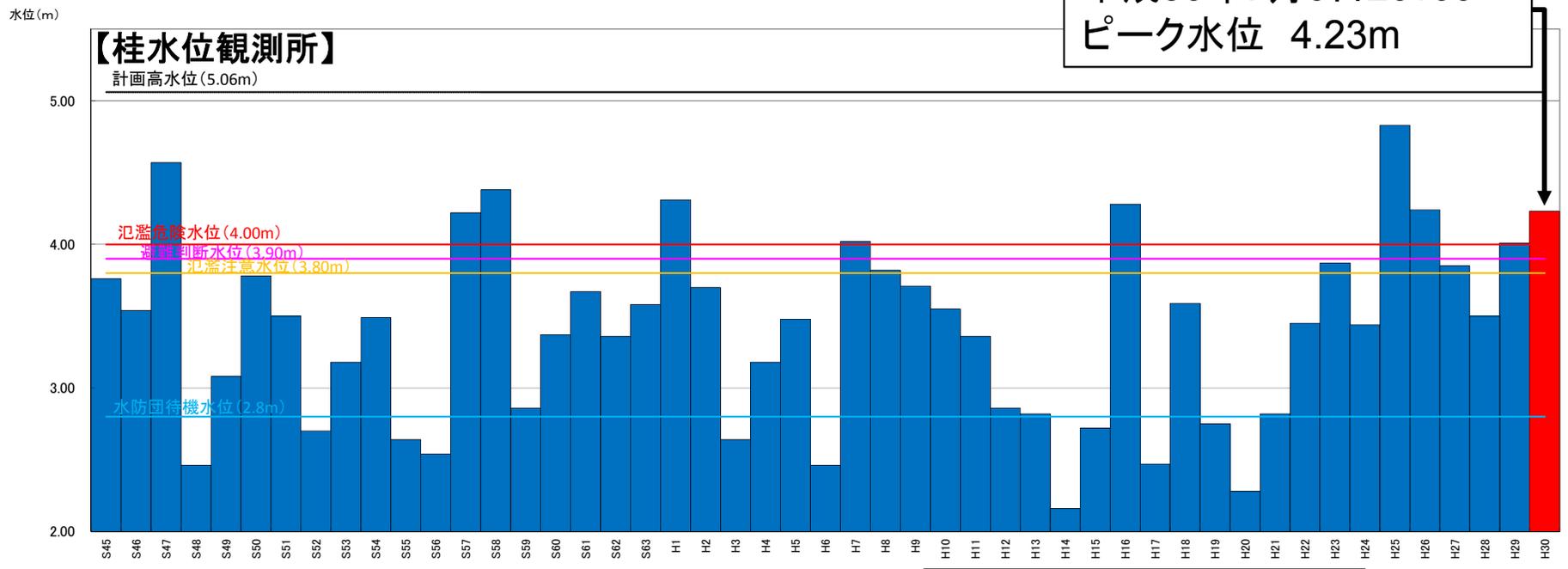
## ■降雨の状況(桂雨量観測所)【7月7日 7時時点】



桂川では4つの降雨ピークにより断続的に水位が上昇

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

## ■ 既往洪水での桂川(桂・天竜寺水位観測所)における水位



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 被害の概要①(淀川水系桂川 京都府京都市右京区嵐山地先)

○嵐山地区において溢水による浸水被害が発生。  
(※床上浸水1戸、床下浸水1戸※店舗の浸水戸数)

写真① 7/6 20時頃



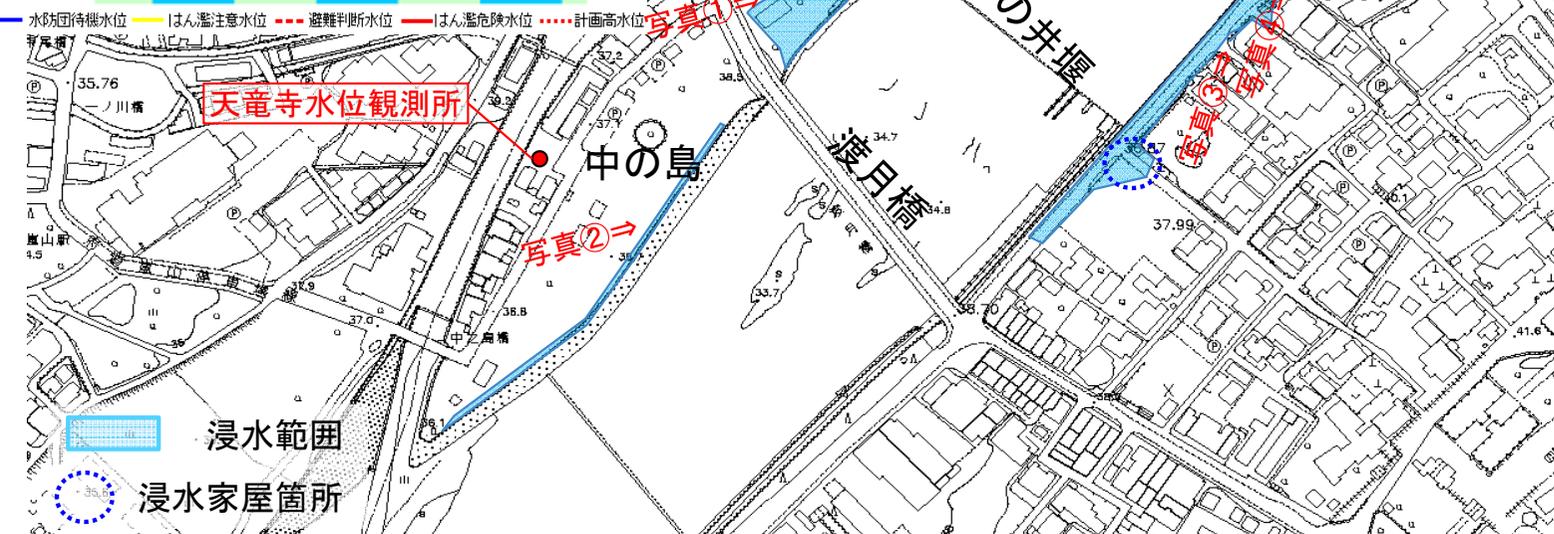
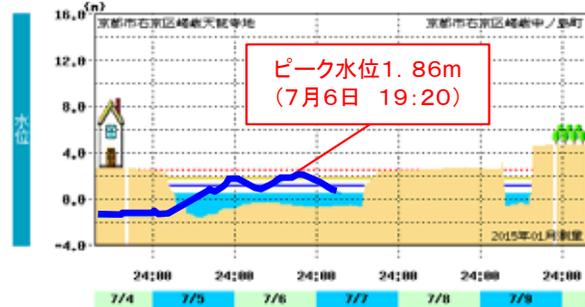
写真② 7/6 20時頃



写真⑤ 7/9 10時頃(痕跡調査)



■水位の状況(天竜寺水位観測所)【7/7 7時時点】



写真④ 7/6 20時頃



写真③ 7/6 14時頃



# 被害の概要②(淀川水系桂川 京都府京都市右京区嵐山地先)

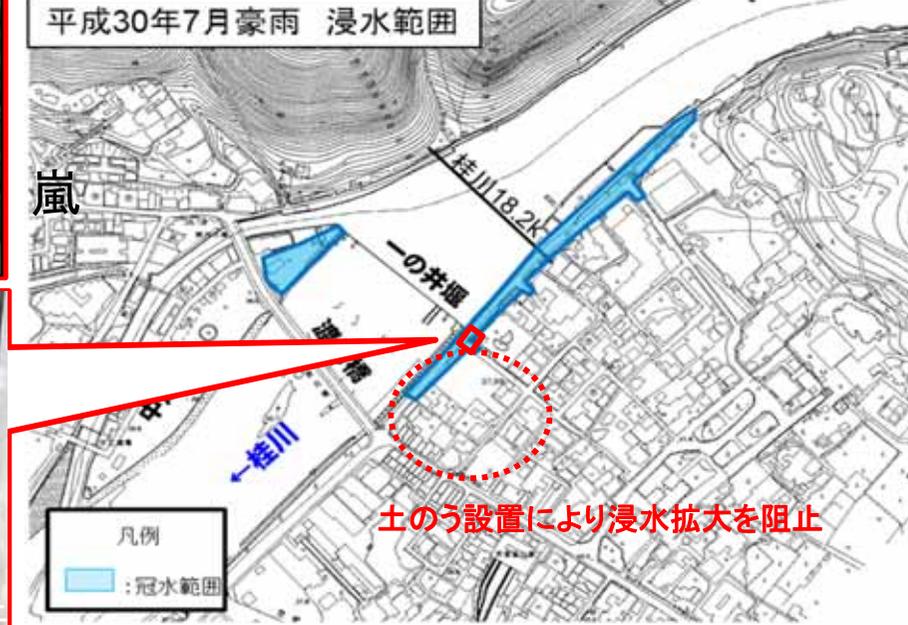
○嵐山地区においては、平成25年洪水における周辺への浸水被害拡大を阻止する対応を実施。

○嵐山地区における浸水拡大の回避

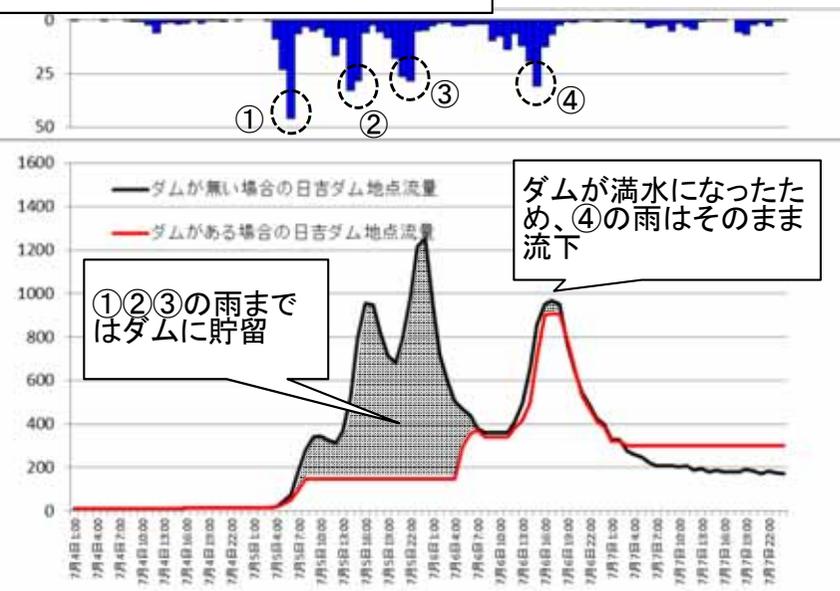
平成25年台風18号 浸水範囲



平成30年7月豪雨 浸水範囲



○日吉ダムによる流入量の低減



- ・平成30年7月豪雨では、2日間に渡り、30mm/h近い降雨が断続的に4回発生。
- ・このため、河川の洪水としては4つのピークをもつ洪水が発生するものの、日吉ダムにより洪水調節を行う事で、洪水のピークを1つにした。
- ・嵐山地区では日吉ダム下流で合流する園部川や清滝川の合流もあり、日吉ダム洪水中にも一度洪水ピークが発生したものの、ダムによる洪水調節効果により浸水被害を大幅に軽減。

### 日吉ダム操作に関する情報提供

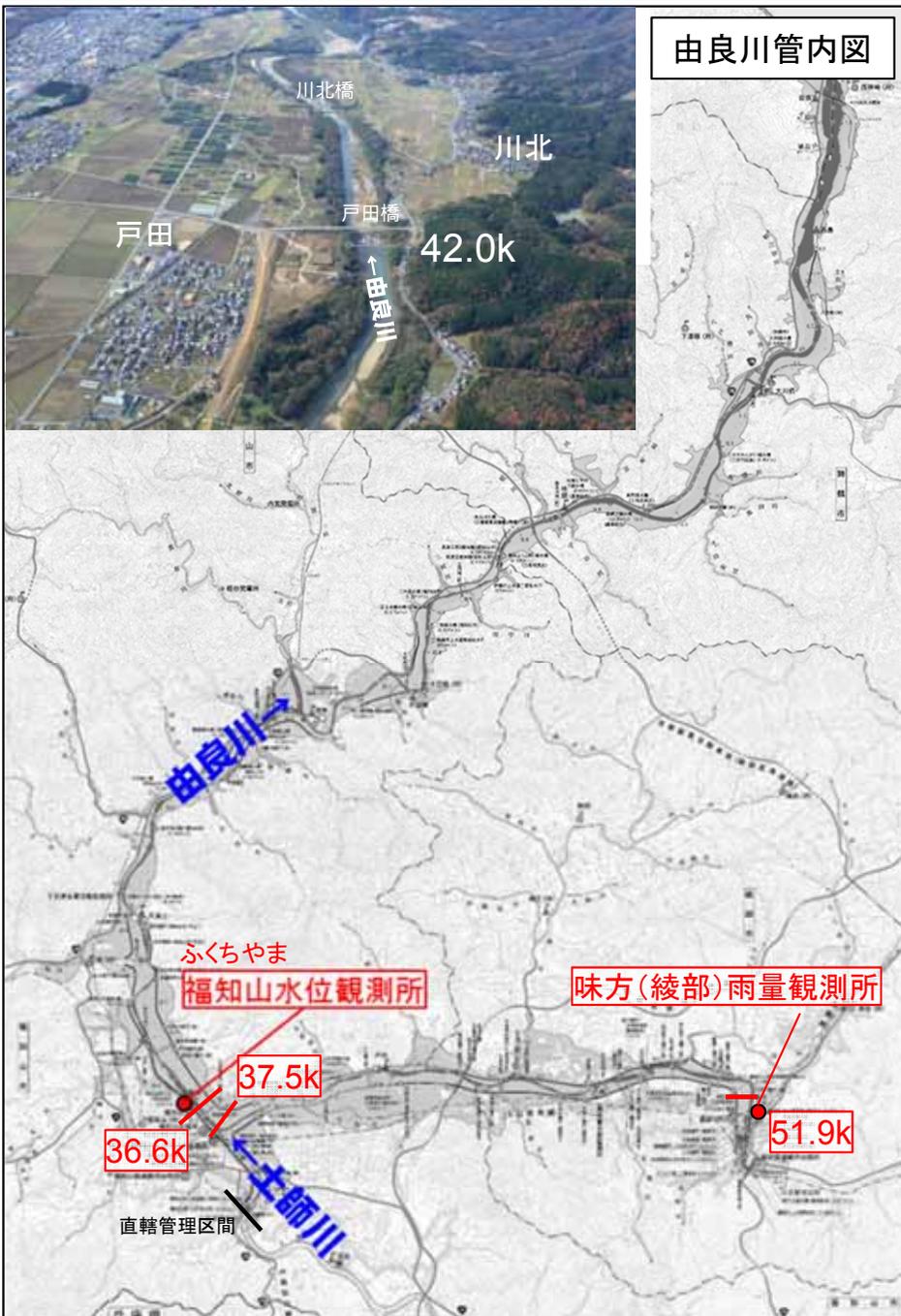
日吉ダムでは3回目の雨のピークまでダムに貯留し、ダム下流の水位を低減してきたが、ダムがほぼ満水となっており、4回目のピークとなる雨が予測されたため、流入量と同量を流すこととなり、ダム下流の水位が上昇する恐れがあることから、事前に下流市町への情報提供を実施。(緊急記者会見も開催)



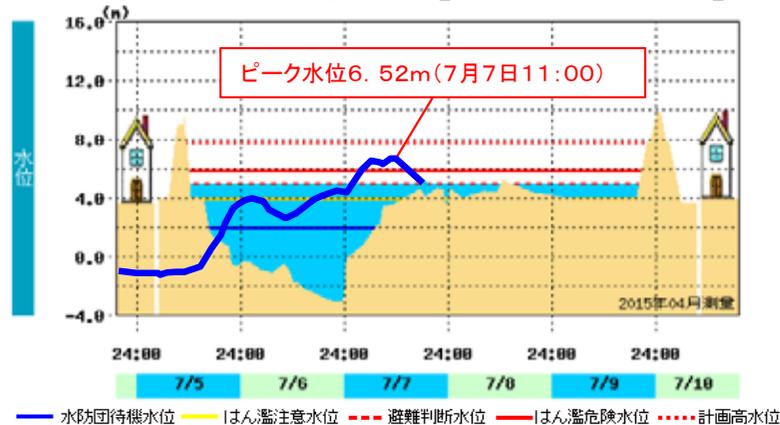
# 流域の概要②(由良川水系由良川)

ゆらがわ

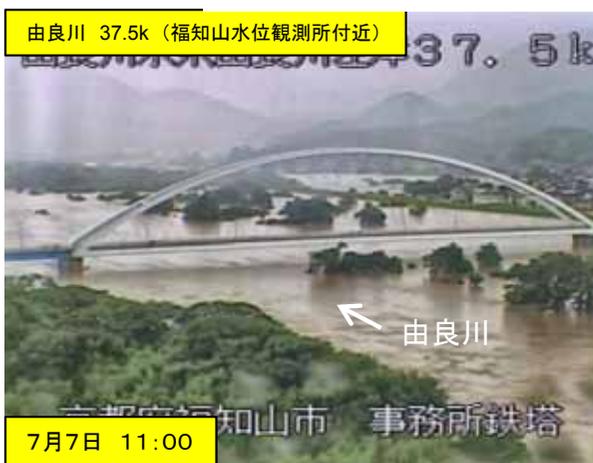
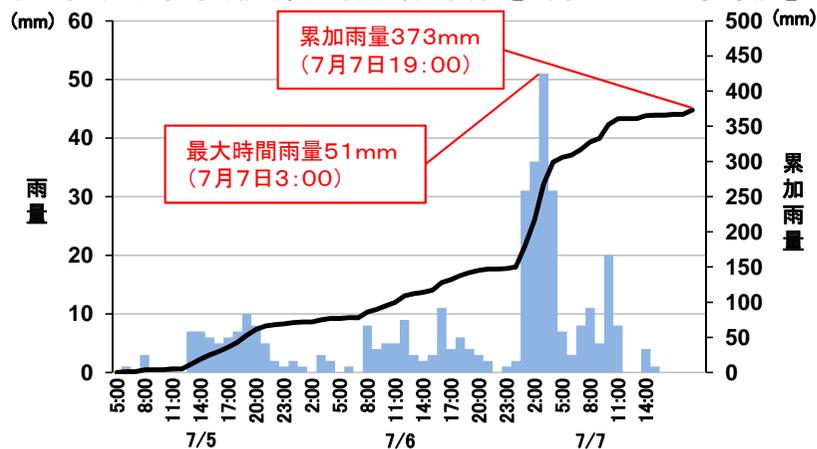
ゆらがわ



## ■水位の状況(福知山水位観測所)【7月7日19時時点】



## ■降雨の状況(味方(綾部)雨量観測所)【7月7日19時時点】

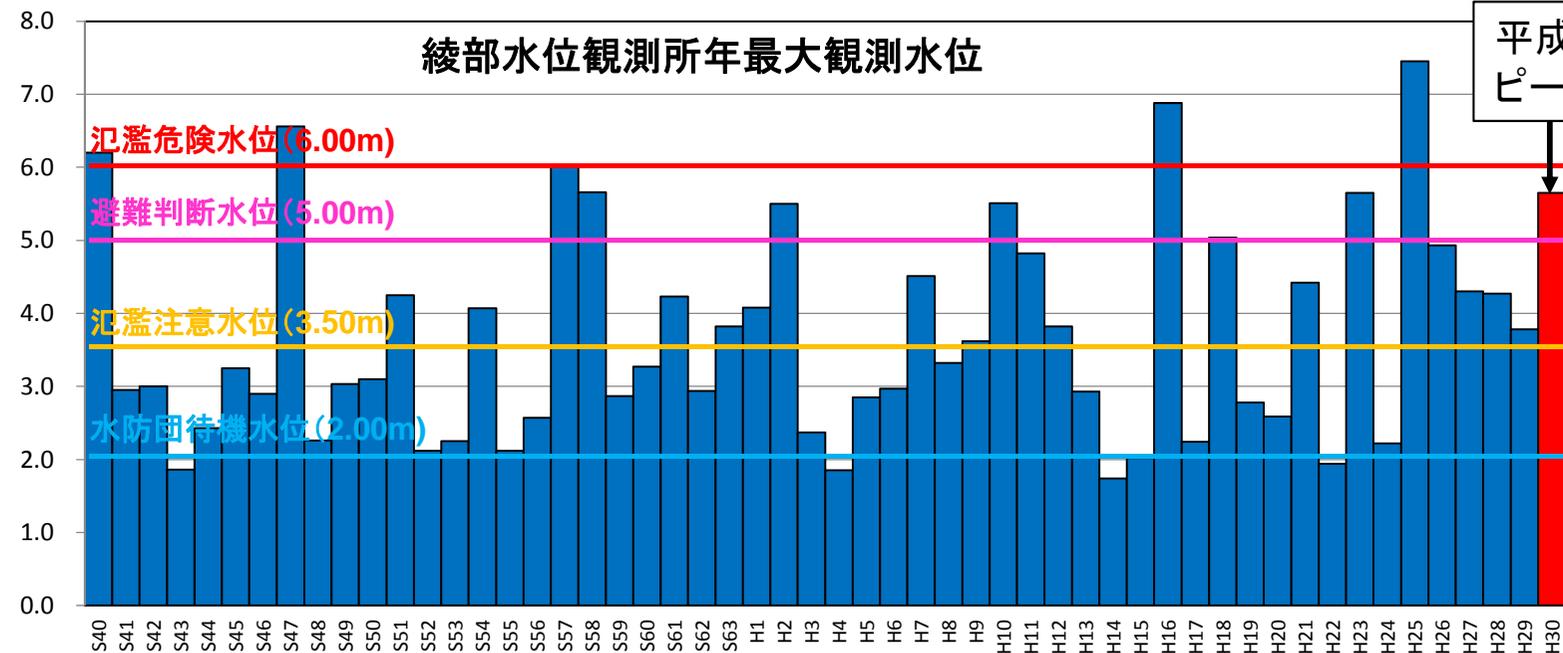
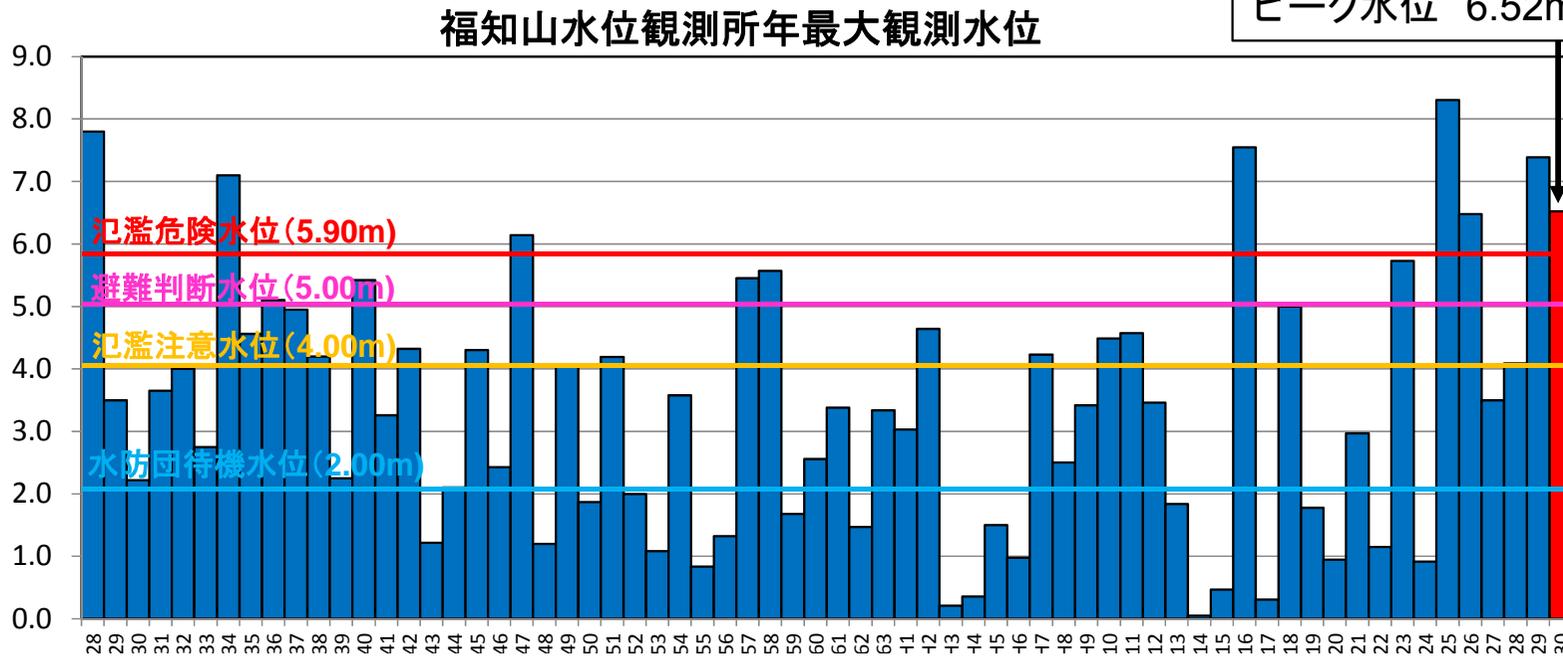


※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 水位の概要② (由良川水系由良川)

## ■ 既往洪水での由良川(福知山・綾部水位観測所)における水位

平成30年7月7日11:00  
ピーク水位 6.52m



平成30年7月7日8:30  
ピーク水位 5.65m

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 被害の概要②(由良川水系由良川)

○由良川沿川の舞鶴市、福知山市において浸水被害が発生。

(※床上浸水 合計約170戸、床下浸水 合計約600戸)

浸水範囲、浸水戸数は、詳細調査中のため今後変更することがあります。



ゆらがわ

ゆらがわ

とだ

かわきた

# 被害の概要②(由良川水系由良川 京都府福知山市戸田、川北地先)

○戸田地区、川北地区において浸水被害が発生。

(※浸水家屋なし)

7月7日 6:53



7月7日 8:11



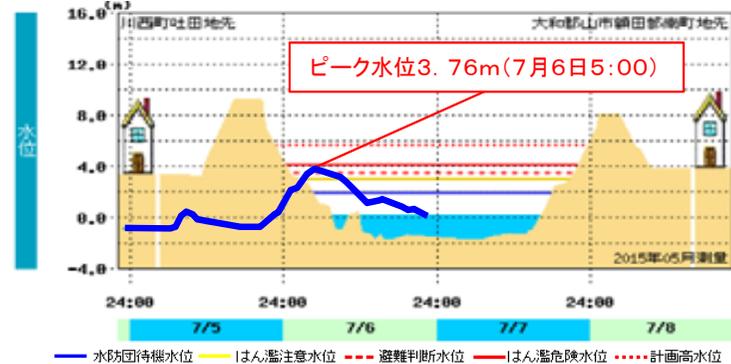
浸水の範囲は、詳細調査中のため今後変更することがあります。

# 流域の概要③(大和川水系 大和川)

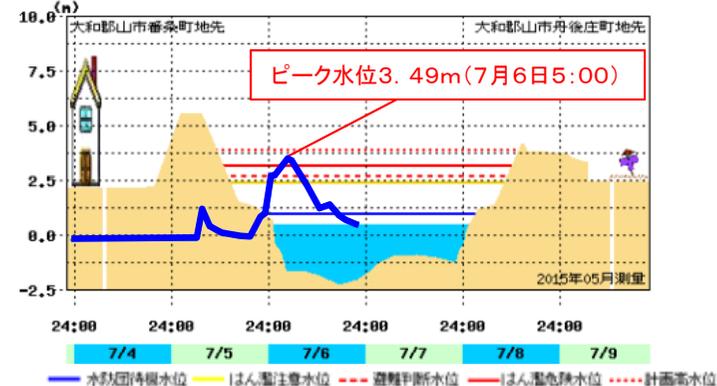
大和川管内図



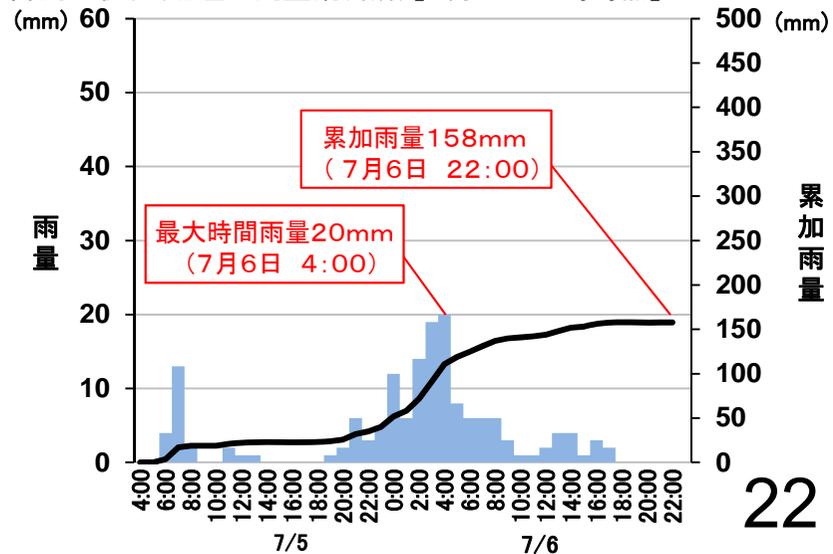
■水位の状況(板東水位観測所)【7月6日22時時点】



■水位の状況(番条水位観測所)【7月6日22時時点】



■降雨の状況(北窪田雨量観測所)【7月6日22時時点】



板東地先 系 大和川 右岸 35.8K 7月6日 5:00



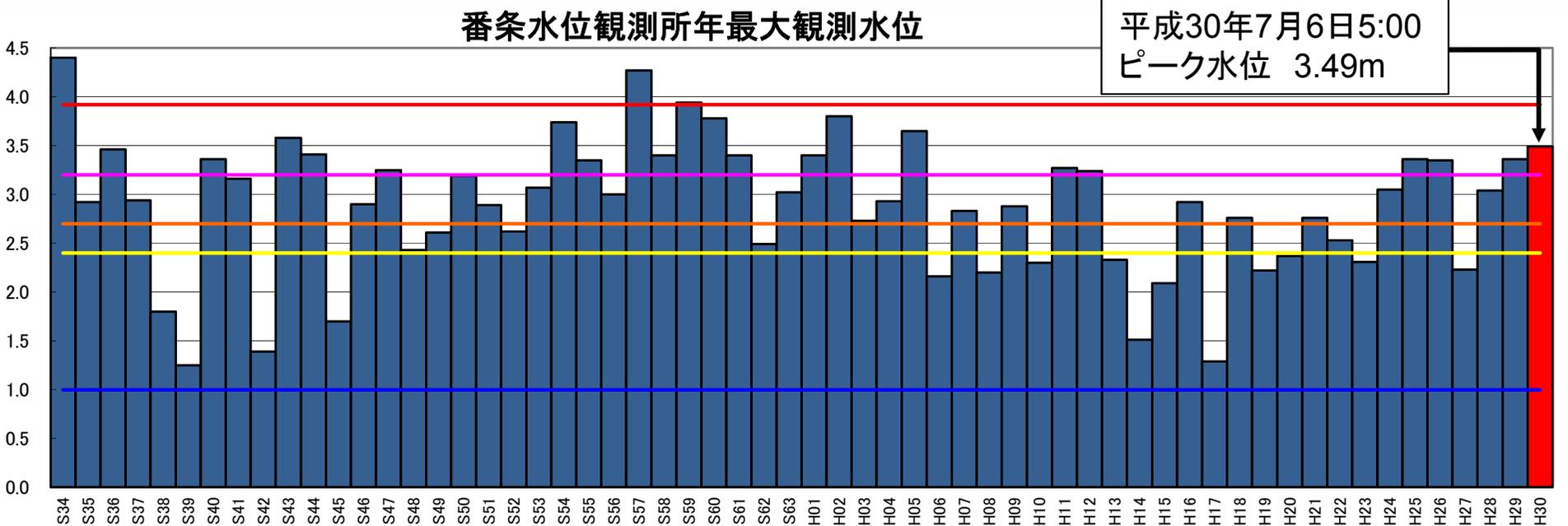
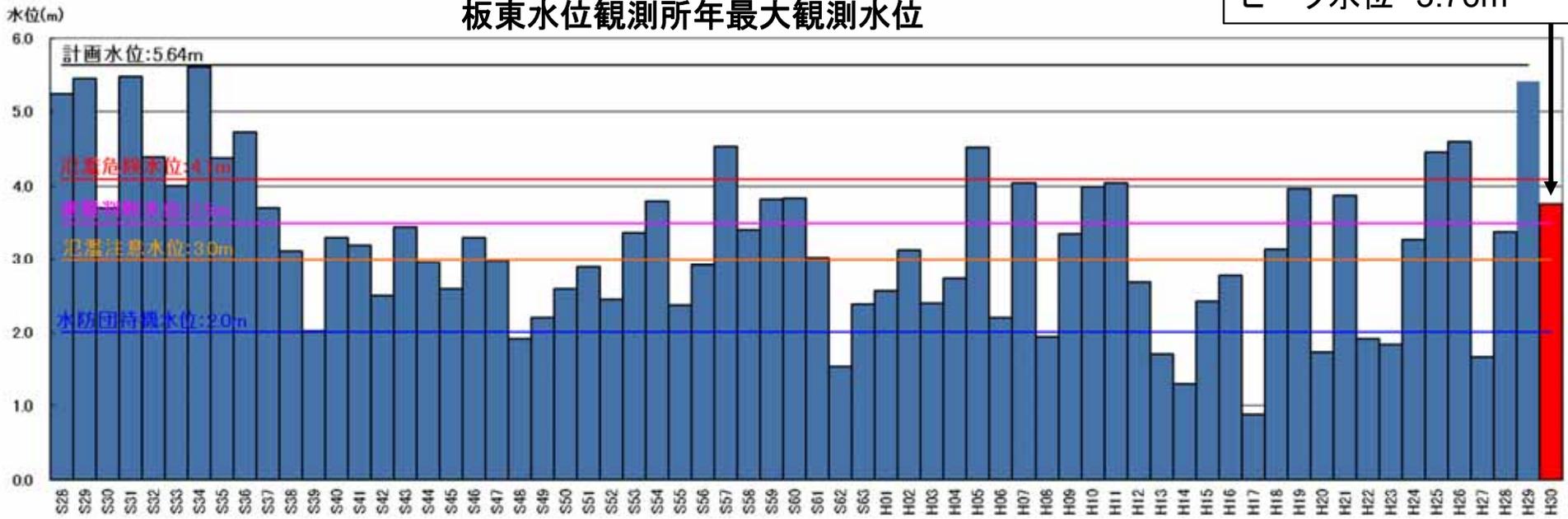
番条町地先 系 佐保川 左岸 4.1K 7月6日 5:00



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

## ■ 既往洪水での大和川(板東・番条水位観測所)における水位

平成30年7月6日5:00  
ピーク水位 3.76m



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。



# 被害の概要③(大和川水系佐保川 大和郡山市)

やまとがわ

さほがわ

やまとこおりやま

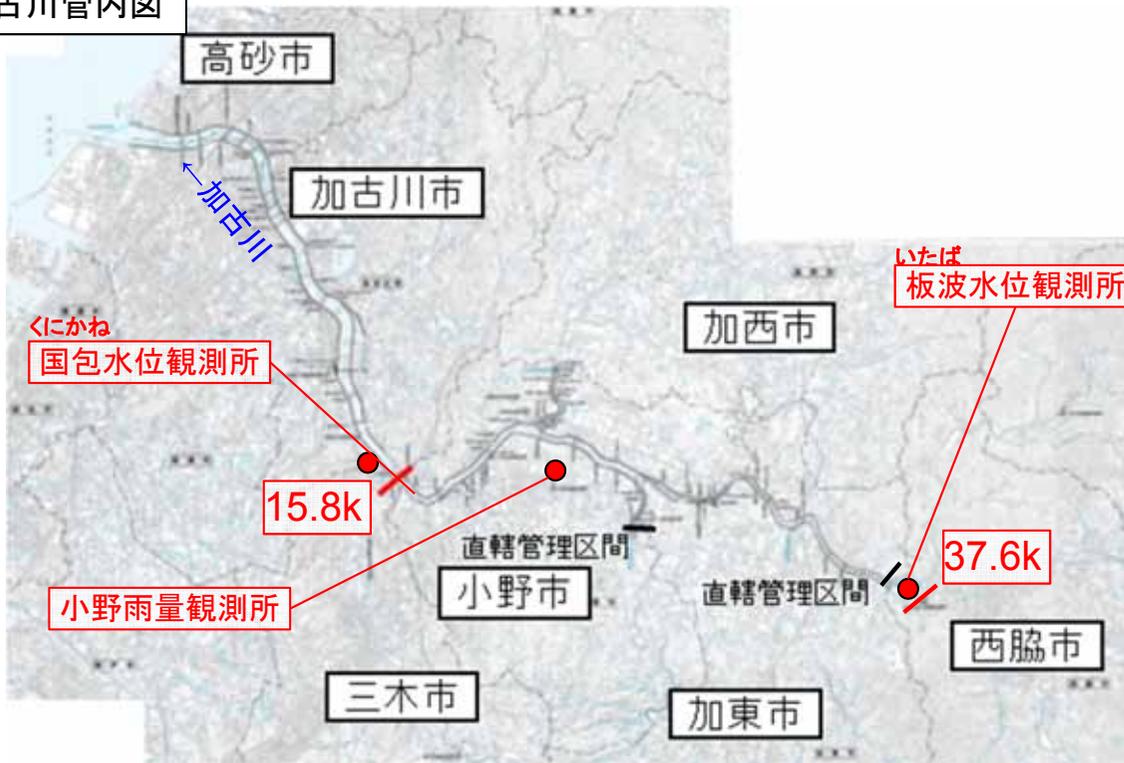
○大和郡山市丹後庄町地区、稗田町地区、杉町地区において内水による浸水被害が発生。  
(※床下浸水15戸、内水浸水面積 合計約31ha)



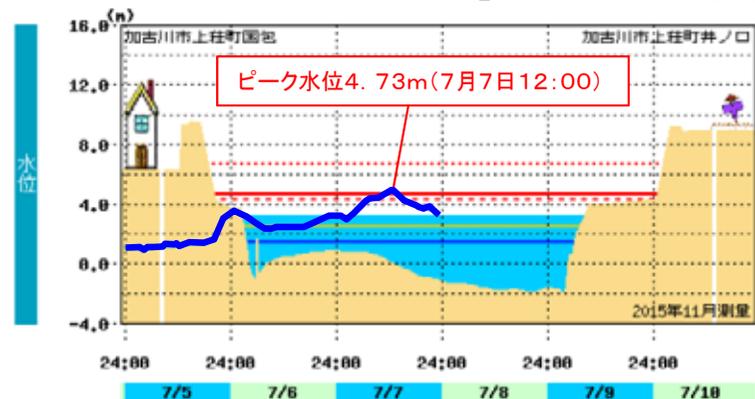
内水浸水の範囲は、詳細調査中のため今後変更することがあります。

# 流域の状況④(加古川水系加古川)

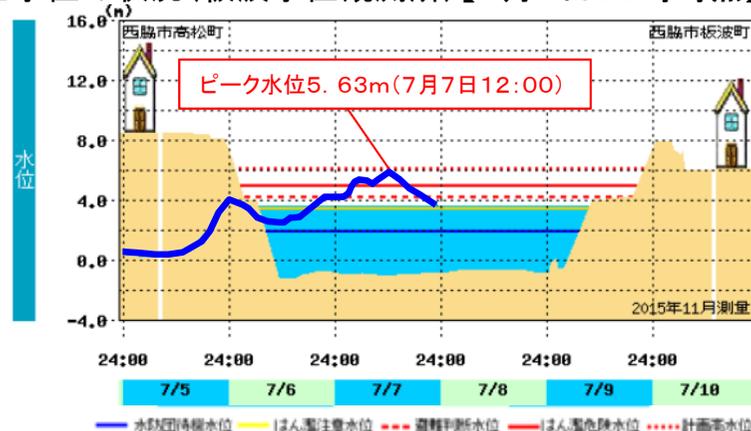
加古川管内図



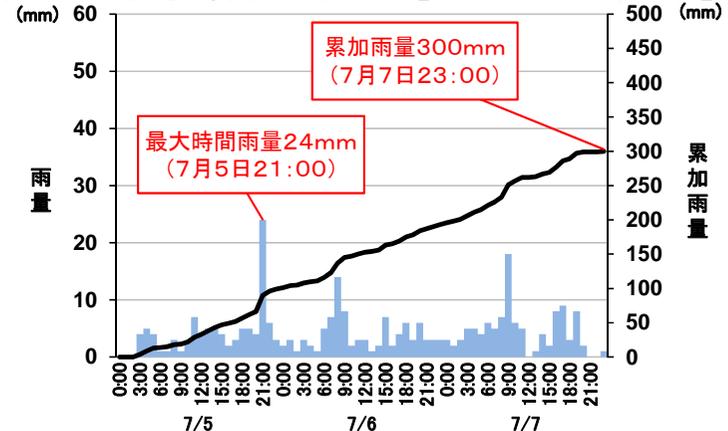
■水位の状況(国包水位観測所)【7月7日23時時点】



■水位の状況(板波水位観測所)【7月7日23時時点】



■降雨の状況(小野雨量観測所)【7月7日23時時点】



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

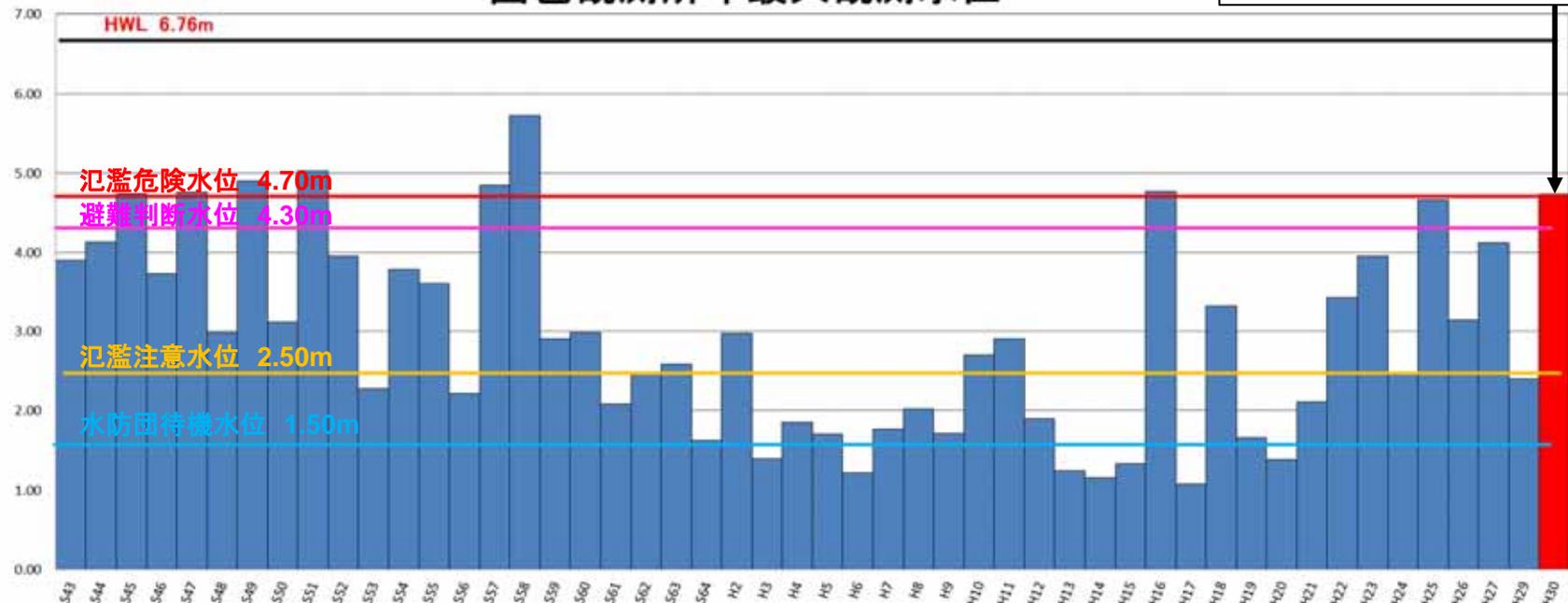
# 水位の概要④(加古川水系加古川)

## ■ 既往洪水での加古川(国包・板波水位観測所)における水位

水位(m)

国包観測所年最大観測水位

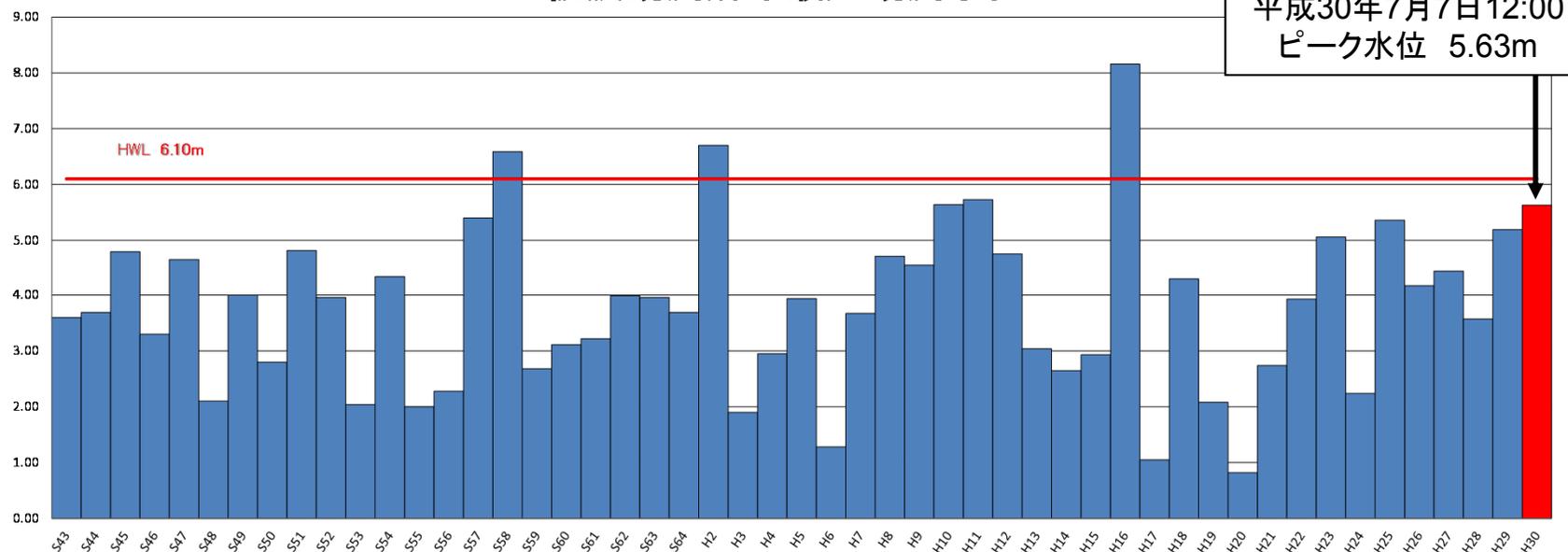
平成30年7月7日12:00  
ピーク水位 4.73m



水位(m)

板波観測所年最大観測水位

平成30年7月7日12:00  
ピーク水位 5.63m



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

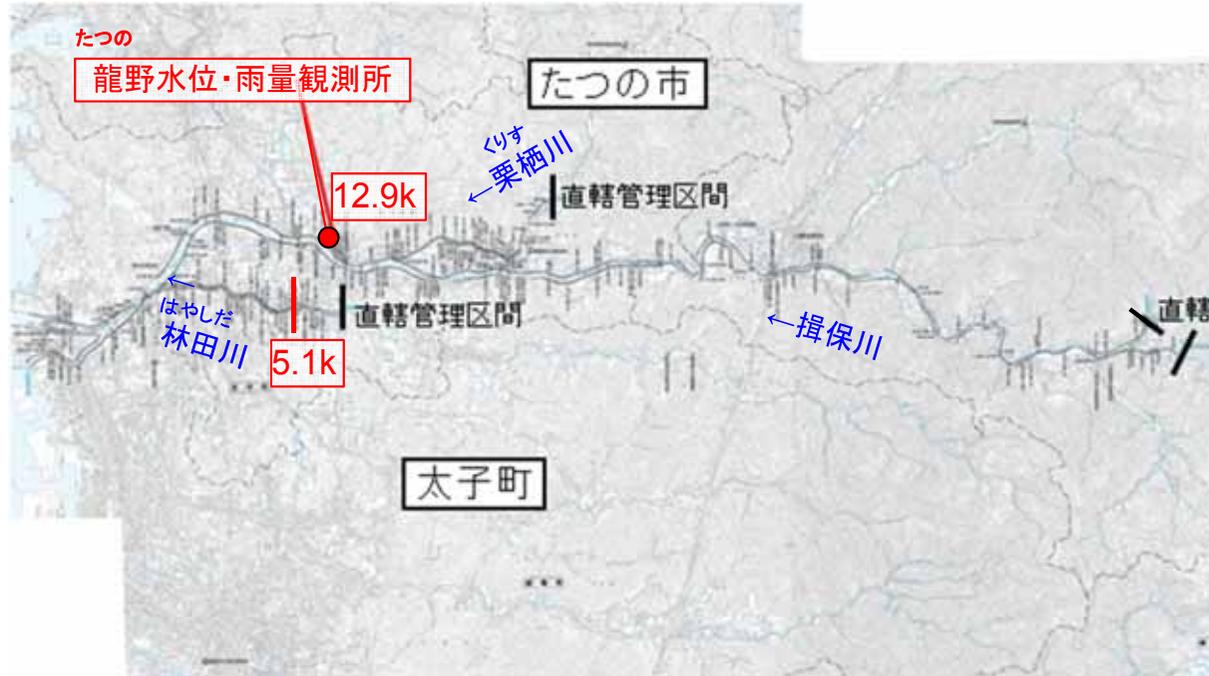
○河高地区、下滝野地区、上滝野地区において溢水による浸水被害が発生。  
 (床上浸水3戸、床下浸水5戸) ※平成16年洪水時は滝野周辺において135件の浸水被害が発生



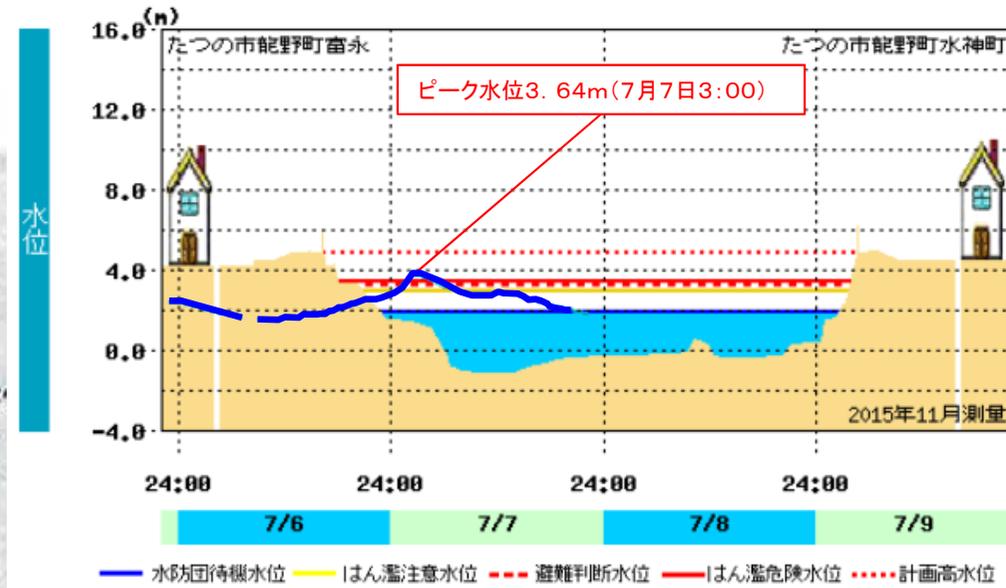
浸水の範囲は、詳細調査中のため今後変更することがあります。

# 流域の状況⑤(揖保川水系揖保川)

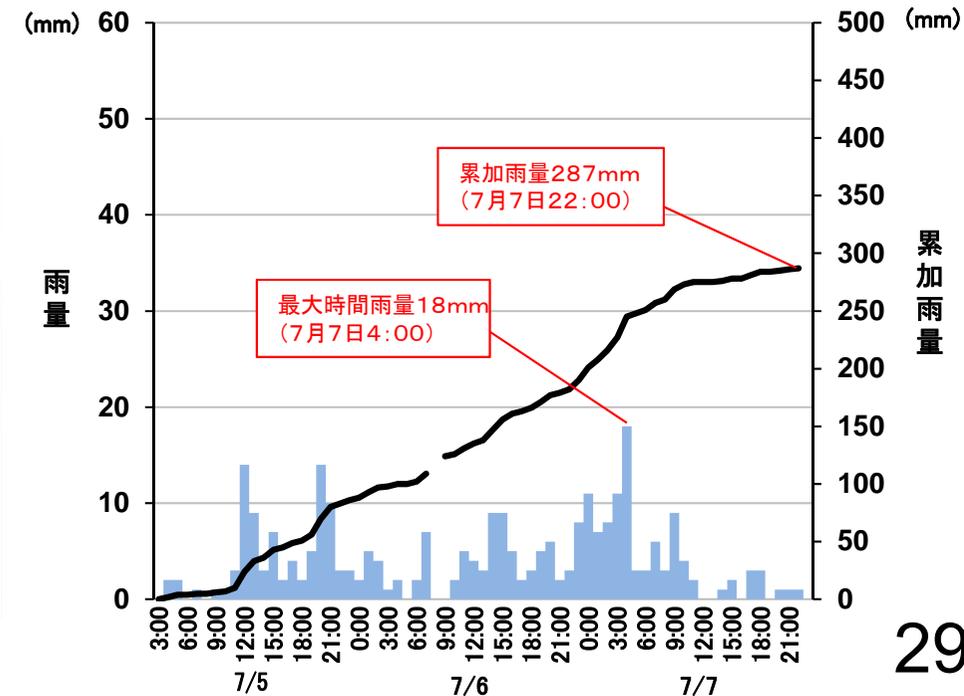
## 揖保川管内図



## ■水位の状況(龍野水位観測所)【7月7日22時時点】



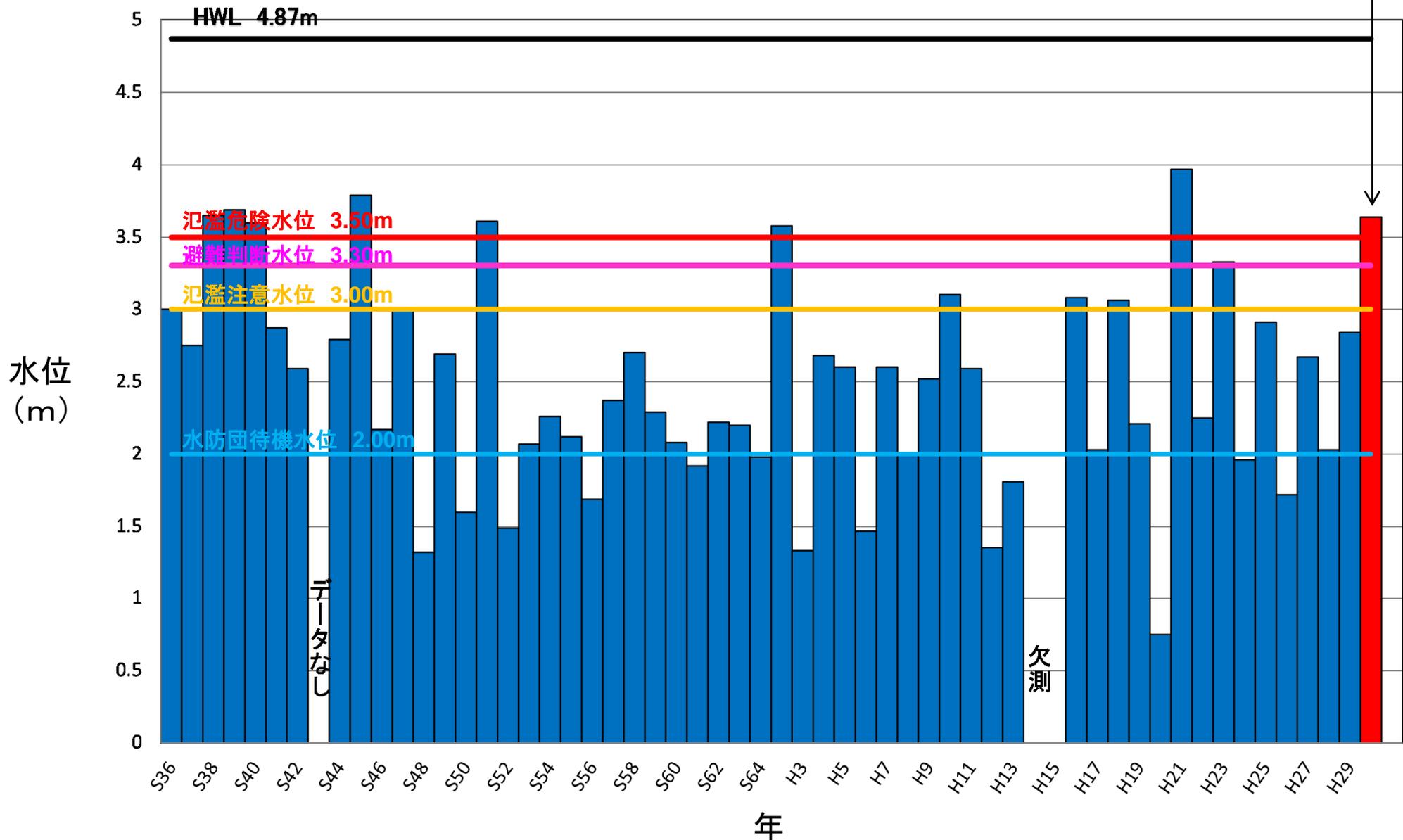
## ■降雨の状況(龍野雨量観測所)【7月7日22時時点】



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

## ■既往洪水での揖保川(龍野水位観測所)における水位

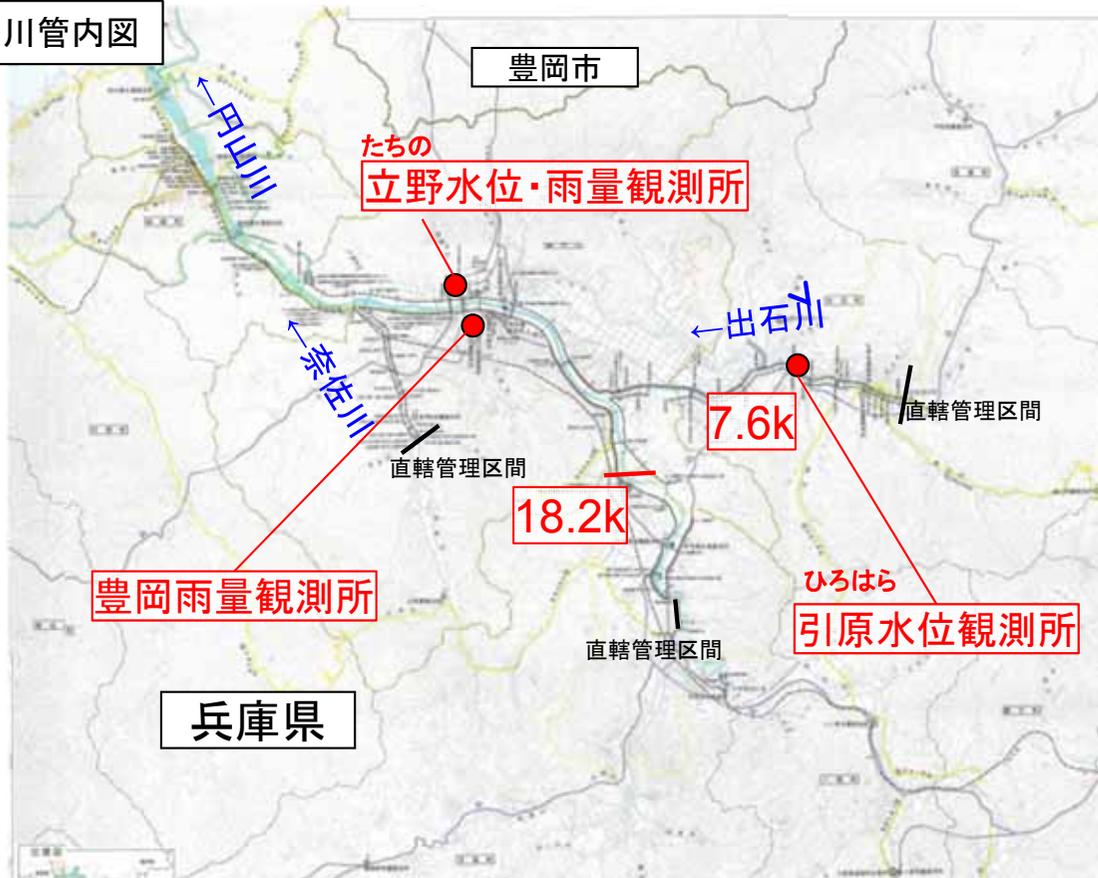
平成30年7月7日3:00  
ピーク水位 3.64m



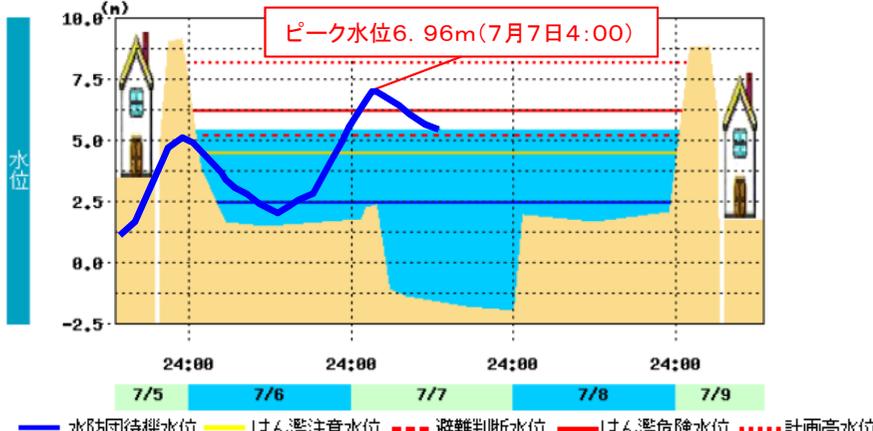
※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

流域の概要⑥(円山川水系円山川)

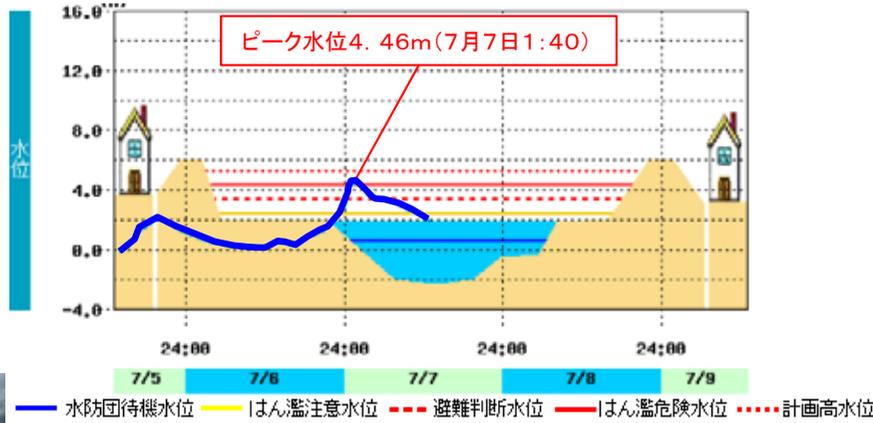
円山川管内図



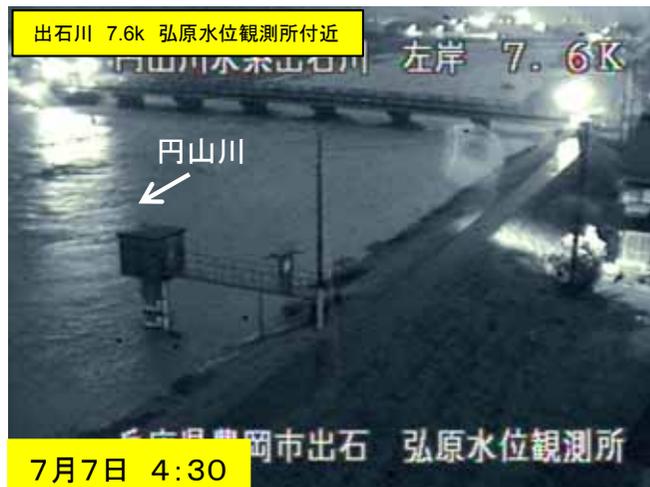
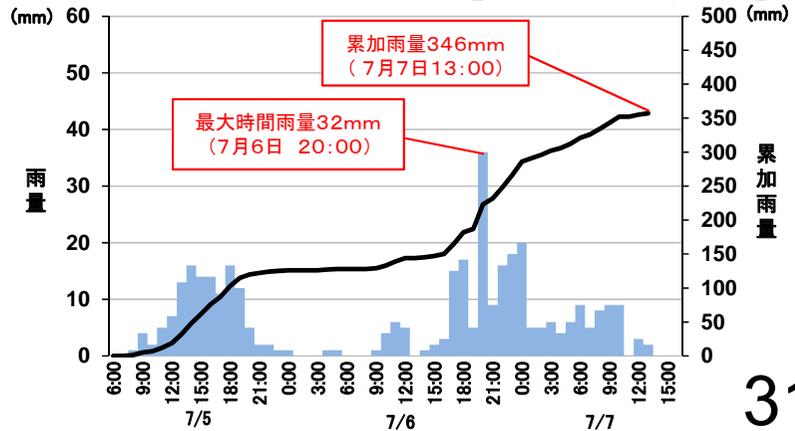
■水位の状況(立野水位観測所)【7月7日13時時点】



■水位の状況(弘原水位観測所)【7月7日13時時点】

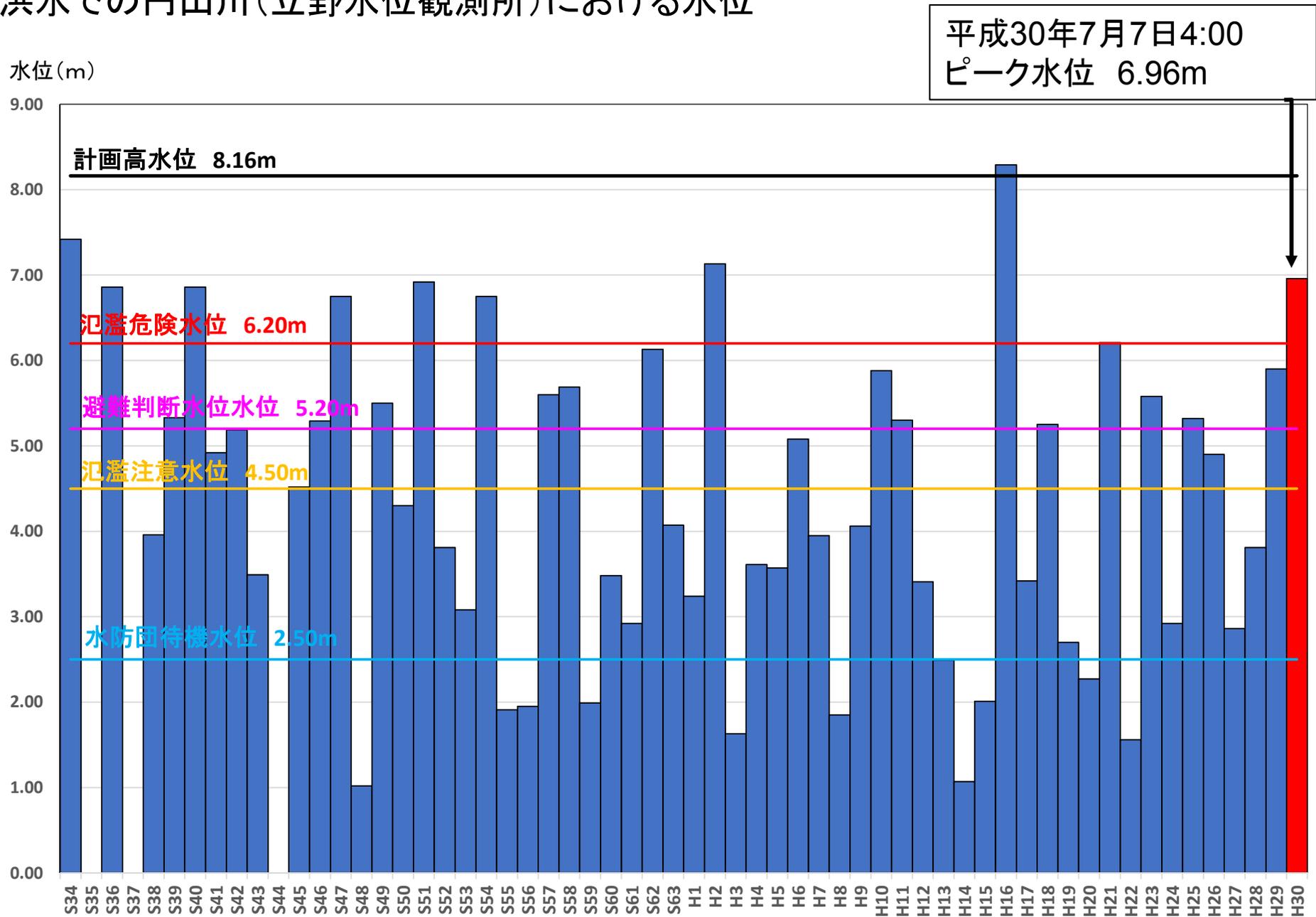


■雨量の状況(豊岡雨量観測所)【7月7日13時時点】



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

## ■ 既往洪水での丸山川(立野水位観測所)における水位



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

被害の概要⑥(丸山川水系丸山川)

○ひのそ地区において溢水・内水による浸水被害が発生。  
(※床上浸水1戸、床下浸水9戸)



# ダム等の操作状況および効果

# 淀川水系 瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダム

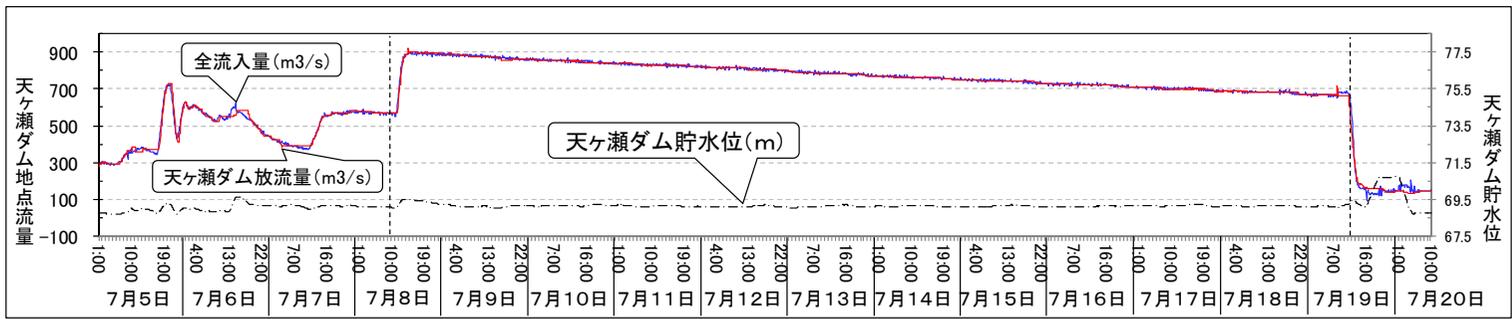
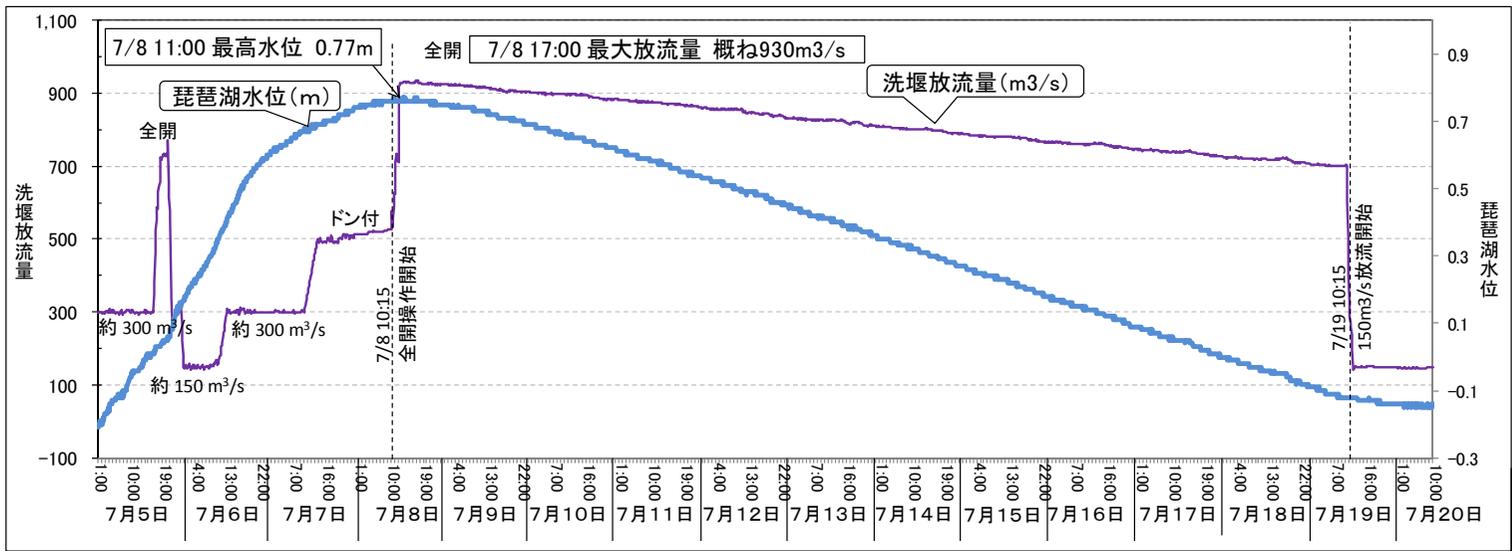
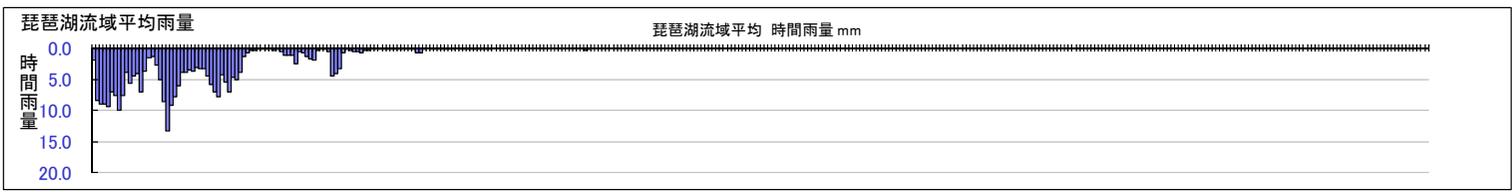
- 琵琶湖流域の西側を中心に降った雨により、天ヶ瀬ダムは洪水調整に至らなかったものの、琵琶湖では最大約77cmまで水位が上昇。
- 降雨が止んだ7月8日10時15分から瀬田川洗堰のゲートを全開し、琵琶湖水位の低減を実施。
- 7月19日10時15分から瀬田川洗堰の放流量を150m<sup>3</sup>/sへ減量。



瀬田川洗堰全開放流状況(7月8日13時頃)



天ヶ瀬ダム放流状況(7月8日13時頃)

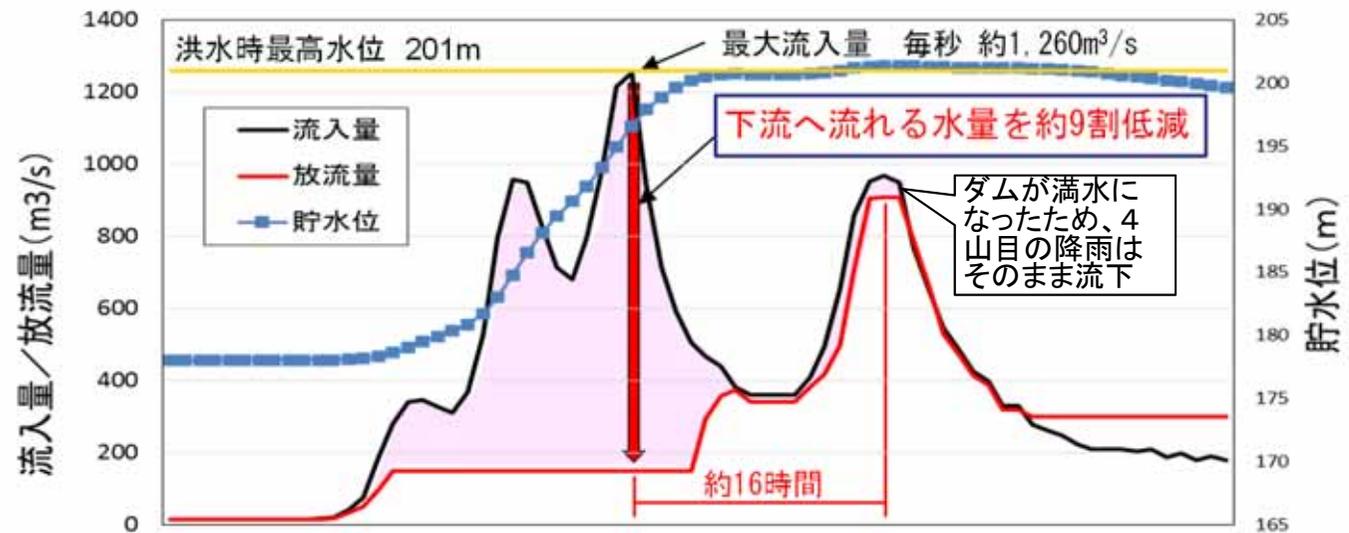
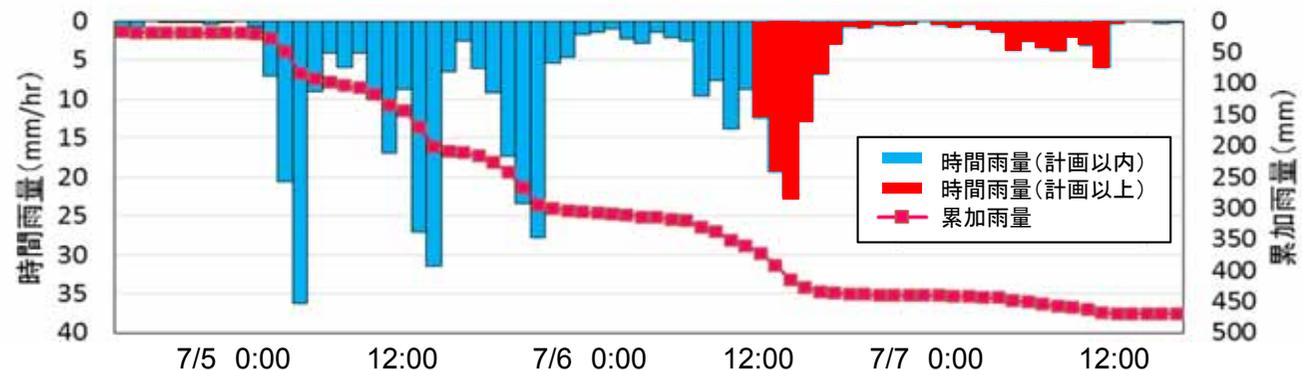


※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 淀川水系 日吉ダム

- 活発な梅雨前線の停滞により桂川流域においては、繰り返し降雨が発生。
- 日吉ダムにおいて、洪水時の流量調節を行うにあたり、今回は、日吉ダムの流入ピーク時(3回目の雨のピーク)に下流へ流れる水量を約9割低減。また、下流の流量ピーク時間を16時間遅らせ、避難時間を確保。
- 日吉ダムでは3回目の雨のピークまで、洪水調節を実施し、ダム下流の水位を低減してきたが、長期化する降雨によりダムがほぼ満水となったため、その後、異常洪水時防災操作を実施。

※異常洪水時防災操作とは、ダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じたため、放流量を徐々に増加させ、流入量と同じ流量を放流する操作



洪水貯留開始直後の貯水池の状況 (7月5日8時頃)

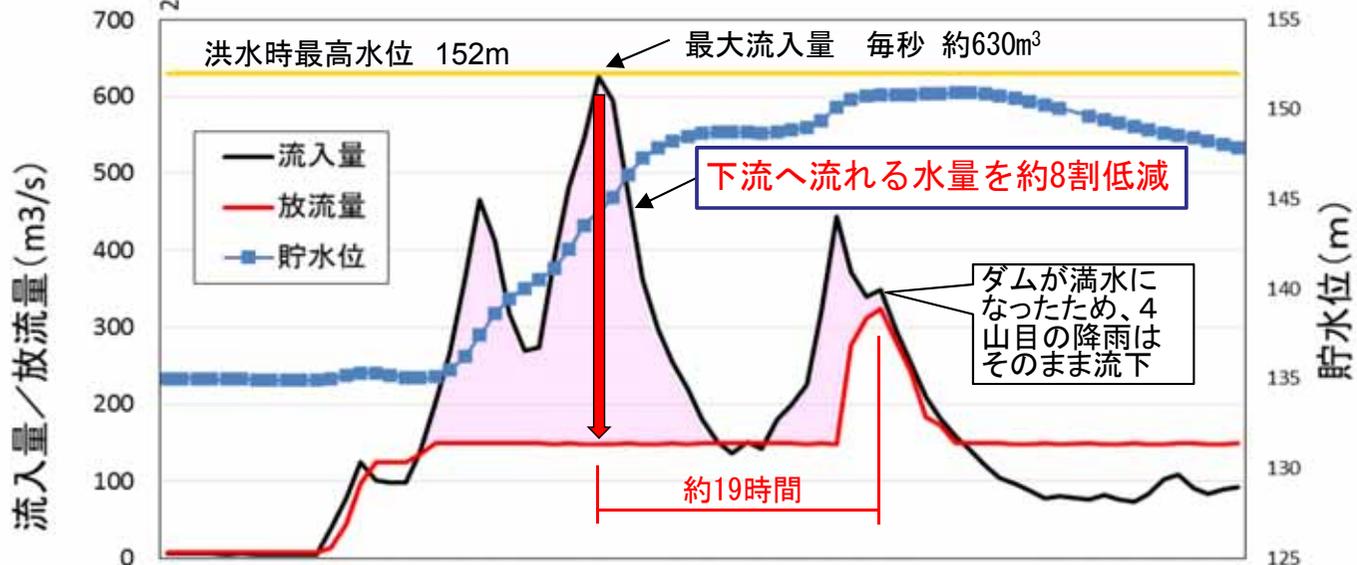
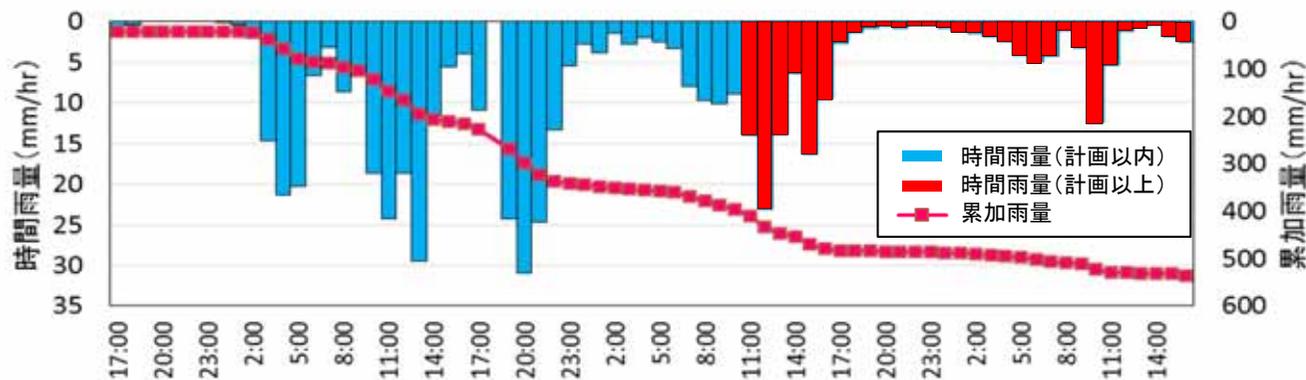


洪水時最高水位に近づく貯水池の状況 (7月6日10時頃)

# 淀川水系 一庫ダム

- 活発な梅雨前線の停滞により猪名川流域においては、繰り返し降雨が発生。
- 一庫ダムにおいて、洪水時の流量調節を行うにあたり、今回は、一庫ダムの流入ピーク時(3山目の雨のピーク)に下流へ流れる水量を約8割低減。また、下流の流量ピーク時間を19時間遅らせ、避難時間を確保。
- 一庫ダムでは4回目の雨まで、洪水調節を実施し、ダム下流の水位を低減してきたが、長期化する降雨によりダムがほぼ満水となったため、その後、異常洪水時防災操作を実施。

※異常洪水時防災操作とは、ダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じたため、放流量を徐々に増加させ、流入量と同じ流量を放流する操作



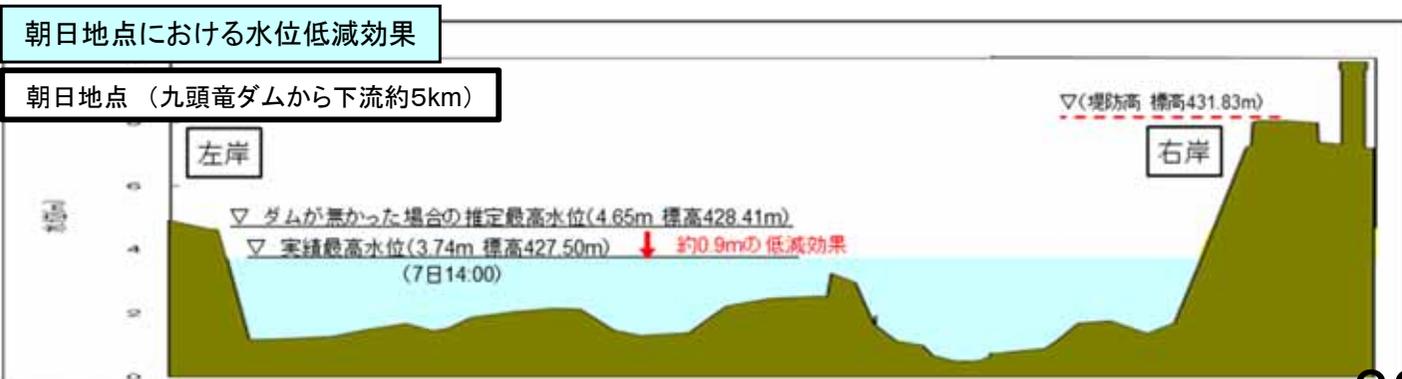
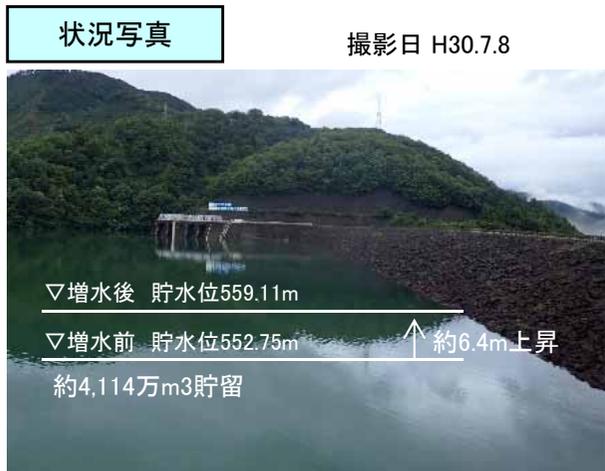
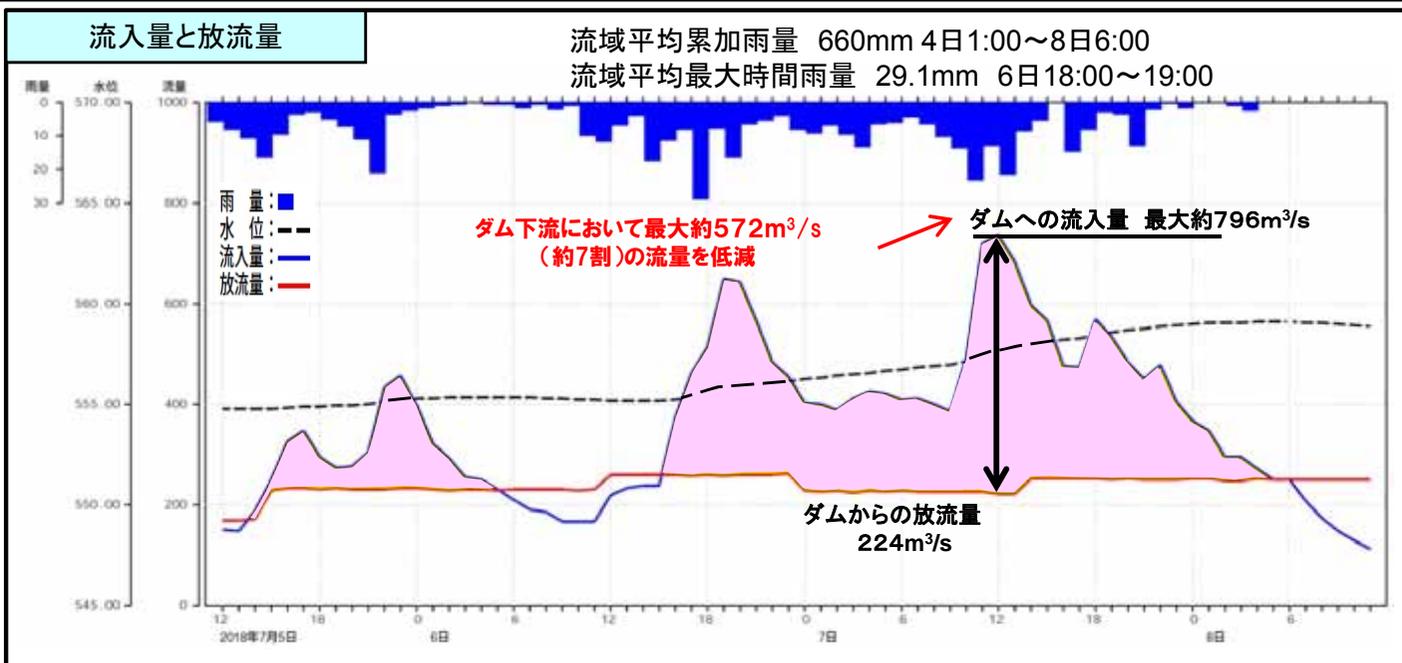
洪水貯留開始前の貯水池の状況 (7月2日10時頃)



洪水時最高水位に近く貯水池の状況 (7月6日17時頃)

# 九頭竜川水系 九頭竜ダム

- 平成30年台風7号および発達した梅雨前線に伴う豪雨により九頭竜川上流域では、7月4日から7月8日にかけて、総雨量が660mmを超える降雨となり、九頭竜ダムへの流入量が今年度最大となる約796m<sup>3</sup>/sを記録。
- 九頭竜ダムでは約4,114万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、ダム下流朝日地点(大野市 朝日付近)の河川の流量を約1/3に低減し、最高水位を約0.9m低減。



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 排水ポンプ車による排水活動状況

# 排水ポンプ車による排水活動状況

○近畿管内から11台の排水ポンプ車が活動し、5箇所で行排水作業を実施。



## ■昼夜間通しての排水作業(荒河排水機場:福知山市)



7日18時頃



7日24時頃

配置場所	派遣事務所	台数
西谷川樋門(福知山市)	福知山河川国道	1台
池部樋門(福知山市) →荒河排水機場(福知山市)	福知山河川国道	1台
法川排水機場(福知山市) →荒河排水機場(福知山市)	福知山河川国道	1台
荒河排水機場(福知山市)	福知山河川国道	2台
	近畿技術	3台
	和歌山河川国道	1台
揖保川水系蟠洞川(姫路市) →土砂ダム(宍粟市)	紀南河川国道	1台
	姫路河川国道	1台
計		11台

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。 40

# 水防活動状況

# 桂川における水防活動状況(京都市伏見区、南区)

○久我橋下流において、桂川の水位が上昇し、越水による堤防決壊に繋がるおそれがあるため、水防事務組合、自衛隊、京都市消防局、維持業者により、土のう積み(約100m)を実施。(7月5日23:35～6日1:00に1200個設置、6日4:40～5:55に追加設置)



# 加古川における水防活動状況(小野市)

○加古川の水位が上昇し、溢水の可能性があった為、大門地区(右岸27.8k付近)への浸水を防ぐ目的で、小野市消防職員、消防団(西分団、中分団)や小野市地域振興部職員の延べ計195名が土のう積(約700袋 延長約50m)を実施。

## 位置図



## 時系列(7月7日(土))

- ・11:00  
事務所長から小野市長へホットライン
- ・12:27  
小野市消防職員・西分団・中分団、地域振興部延べ計195名にて積み土のう工を開始
- ・15:53  
積み土のう工(約700袋)完了



積み土のう工実施状況



積み土のう工完了



積み土のう工完了

# 奈佐川における水防活動状況(豊岡市)

○円山川水系奈佐川の水位が上昇し、福田地区の堤防裏法面から漏水が発見される。堤防決壊に繋がるおそれがあるため、豊岡市豊岡消防団50名により決壊を防ぐ水防工法として月の輪工(土のう約200袋)を実施。

## 時系列(7月7日(土))

- ・ 5:30 住民から樋門操作員へ漏水が発生していると連絡があり、その後職員が現地で漏水を確認。
- ・ 7:15 豊岡市豊岡消防団により水防工法として、月の輪工を実施。
- ・ 8:00 月の輪工を設置完了。

## 位置図



H30.7.9

## 水防活動箇所



H30.7.7 6時頃

漏水状況

## 月の輪工 実施状況



H30.7.7 8時頃



H30.7.7 14時頃

# 揖保川における水防活動状況(たつの市)

○揖保川の水位上昇に伴い、正條自主防災組織がたつの市水防倉庫より畳堤を運搬し、約200m設置。

たつの市揖保川町正條地先



円山川の水位が上昇し、豊岡市九日市地区(左岸16.0k付近)で基盤漏水が確認された。今後の再発を防ぐ目的で、豊岡市消防団、自警団計70名が釜段工(土嚢約500袋 直径約4m、高さ約80cm)を実施。

位置図



水防活動状況



## ■時系列(7月10日～15日)

・7/10

住民から漏水してたと連絡があり、現地立会を実施。噴砂は止まっており緊急性が無い事を確認。豊岡市へ水防活動の実施を要請。

・7/15 12:00

現地での再発防止を目的に、豊岡市消防団、自警団70名において、土嚢500個を用いた直径約4m高さ80cmの釜段工を実施。

噴砂発生箇所



釜段工完了



# 水防活動実施状況①

○水防団等による水防活動の実施状況

<国管理河川>

7水系の24団体が水防活動を実施

<都道府県管理河川等>

35団体が80河川で水防活動を実施

## 国管理河川(近畿地方整備局)

水系	河川	水防管理団体	実施日	主な活動内容
淀川	桂川	桂川・小畑川水防事務組合(京都府)	7月5~6日	巡視、土のう積み
淀川	桂川	澱川右岸水防事務組合(京都府)	7月5~6日	巡視
大和川	大和川	大和川右岸水防事務組合(大阪府)	7月6日	巡視
大和川	大和川	松原市(大阪府)	7月5~6日	巡視
大和川	大和川	安堵町(奈良県)	7月6日	巡視、通行規制
大和川	大和川	川西町(奈良県)	7月6日	巡視
大和川	大和川	斑鳩町(奈良県)	7月6日	巡視
大和川	大和川	河合町(奈良県)	7月6日	巡視
大和川	曾我川	広陵町(奈良県)	7月6日	巡視
大和川	佐保川	大和郡山市(奈良県)	7月6日	巡視
円山川	円山川、奈佐川、出石川	豊岡市(兵庫県)	7月5~7日、12日	巡視、月の輪工、内水排水、釜段工
由良川	由良川	福知山市(京都府)	7月5~7日	巡視、避難誘導
由良川	由良川	綾部市(京都府)	7月7日	巡視、避難誘導

水系	河川	水防管理団体	実施日	主な活動内容
由良川	由良川	舞鶴市(京都府)	7月5日	巡視、避難誘導
由良川	由良川	宮津市(京都府)	7月6日	巡視、避難誘導
北川	北川	若狭町(福井県)	7月6~7日	巡視
揖保川	揖保川、中川、林田川	姫路市(兵庫県)	7月5~7日	巡視
揖保川	揖保川、中川、林田川、元川、栗栖川	たつの市(兵庫県)	7月5~7日	巡視
揖保川	揖保川	太子町(兵庫県)	7月6~7日	巡視
揖保川	揖保川	宍粟市(兵庫県)	7月6日	巡視
加古川	加古川	小野市(兵庫県)	7月7日	巡視、土のう積み
加古川	加古川	加東市(兵庫県)	7月5~7日	巡視
加古川	加古川	高砂市(兵庫県)	7月7日	巡視
加古川	加古川	加古川市(兵庫県)	7月5~8日	巡視

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 水防活動実施状況②

## 都道府県管理河川等

府県名	水系	河川	水防管理団体	実施日	主な活動内容
福井	九頭竜川	河和田川	鯖江市	7月5日	土のう積み
福井	九頭竜川	天王川、和田川	越前市	7月5日	土のう積み
福井	笙の川	笙の川	敦賀市	7月5日	土のう積み
滋賀	淀川	姉川、高時川	長浜市	7月5日～6日	巡視
滋賀	淀川	芹川、犬上川	多賀町	7月5日	巡視
滋賀	淀川	喜撰川、大戸川	大津市	7月5日～6日	巡視、土のう積み、避難誘導
滋賀	淀川	野瀬川、江面川	彦根市	7月5日～6日	土のう積み
滋賀	淀川	野洲川、日野川、光善寺川、穴田川	野洲市	7月6日～7日	巡視
滋賀	淀川	百瀬川、知内川、石田川、安曇川、鴨川他	高島市	7月5日～6日	巡視、土のう積み
滋賀	淀川	大同川	東近江市	7月5日	土のう積み
滋賀	淀川	佐久良川	日野町	7月6日	巡視
滋賀	淀川	姉川、天野川	米原市	7月5日～7日	巡視、土のう積み、排水

府県名	水系	河川	水防管理団体	実施日	主な活動内容
滋賀	淀川	愛知川、宇曾川	愛荘町	7月5日～6日	巡視
奈良	大和川	地藏院川、能登川、秋篠川、富雄川、佐保川	奈良市	7月6日	巡視
奈良	大和川	岡崎川	安堵町	7月6日	巡視
奈良	大和川	葛下川	香芝市	7月6日	巡視
奈良	大和川	竜田川	生駒市	7月6日	巡視
奈良	大和川	曾我川、飛鳥川、寺川、高取川、米川、葛城川、住吉川、小金打川、中の橋川、屋敷川、坊城川、桜川	橿原市	7月6日	巡視
奈良	大和川	大和川、寺川、飛鳥川、曾我川	川西町	7月6日	巡視、通行止措置
奈良	大和川	葛下川	王寺町	7月6日	巡視、ポンプ場、樋門活動、バリケード、避難誘導
奈良	大和川	曾我川	高取町	7月6日	巡視
奈良	大和川	曾我川	広陵町	7月6日	巡視

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 水防活動実施状況③

## 都道府県管理河川等

府県名	水系	河川	水防管理団体	実施日	主な活動内容
奈良	大和川	大和川、佐保川、高瀬川、布留川、寺川、櫛川、菩提仙川、珊瑚珠川、真目堂川、西門川、布目川	天理市	7月6日	巡視
奈良	大和川	佐保川、富雄川、地藏院川、蟹川、量川、前川、菩提仙川、高瀬川、正田川、中川	大和郡山市	7月6日	巡視
大阪府	大和川	西除川、東除川	松原市	7月5～6日	巡視
大阪府	淀川	穂谷川	淀川左岸水防事務組合	7月5～6日	巡視
大阪府	淀川	安威川、檜尾川	淀川右岸水防事務組合	7月5～6日	巡視
大阪府	芦田川、王子川	芦田川、王子川	高石市	7月5～6日	巡視、土のう積み
京都府	野田川	岩屋川	与謝野町	7月6～7日	巡視、土のう積み
兵庫県	加古川	西川	加古川市	7月5～7日	巡視、土のう積み、排水
兵庫県	加古川	篠山川	篠山市	7月5～8日	巡視、土のう積み
兵庫県	加古川	杉原川	多可町	7月6～7日	巡視、土のう積み、排水
兵庫県	加古川	水田川	播磨町	7月5～6日	巡視、土のう積み
兵庫県	大津茂川	大津茂川	太子町	7月6～7日	巡視、土のう積み
兵庫県	千種川	鞍居川、安室川、梨ヶ原川、大富川、千種川、高田川、岩木川	上郡町	7月5～7日	巡視、土のう積み

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

ホットライン  
洪水情報のプッシュ型配信  
実施状況

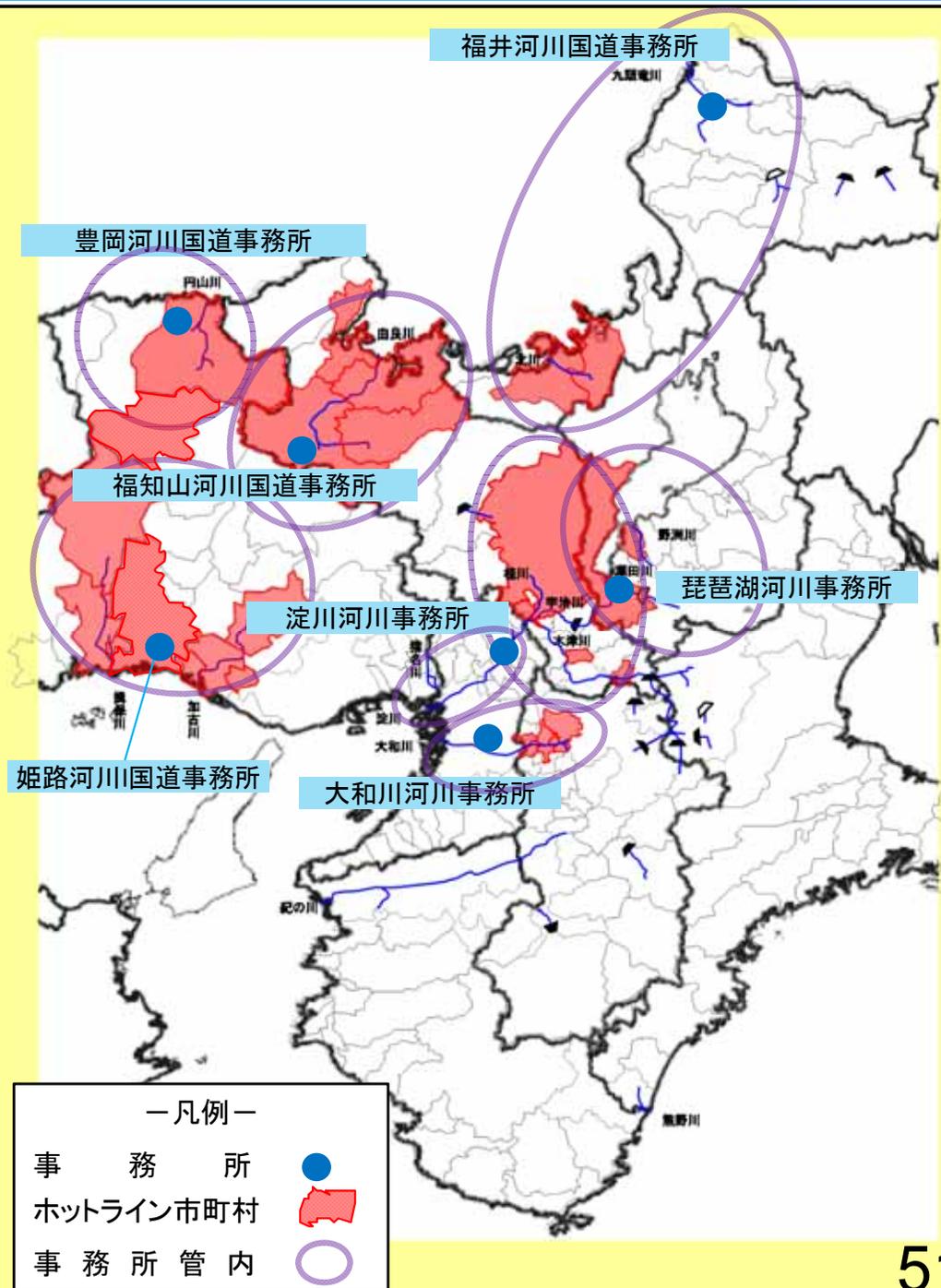
# ホットライン 実施状況

 事務所と市町間で避難判断に繋がる情報連絡を合計30市町、延べ142回実施。

事務所	実施市町	実施回数
大和川河川	7 (大和郡山市、安堵町、川西町、三郷町、王寺町、河合町、斑鳩町)	9
福知山河川国道	4 (福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市)	34
福井河川国道	2 (小浜市、若狭町)	2
淀川河川	4 (京都市、長岡京市、井手町、大山崎町)	8
淀川ダム統合管理	1 (宇治市)	2
琵琶湖河川	2 (大津市、守山市)	6
姫路河川国道	8 (加古川市、加東市、たつの市、宍粟市、太子町、小野市、高砂市、姫路市)	52
豊岡河川国道	2 (豊岡市、養父市)	29
合計	30	142

・協議会により顔の見える関係を築き、避難勧告・指示に繋がるホットラインを実施。

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。



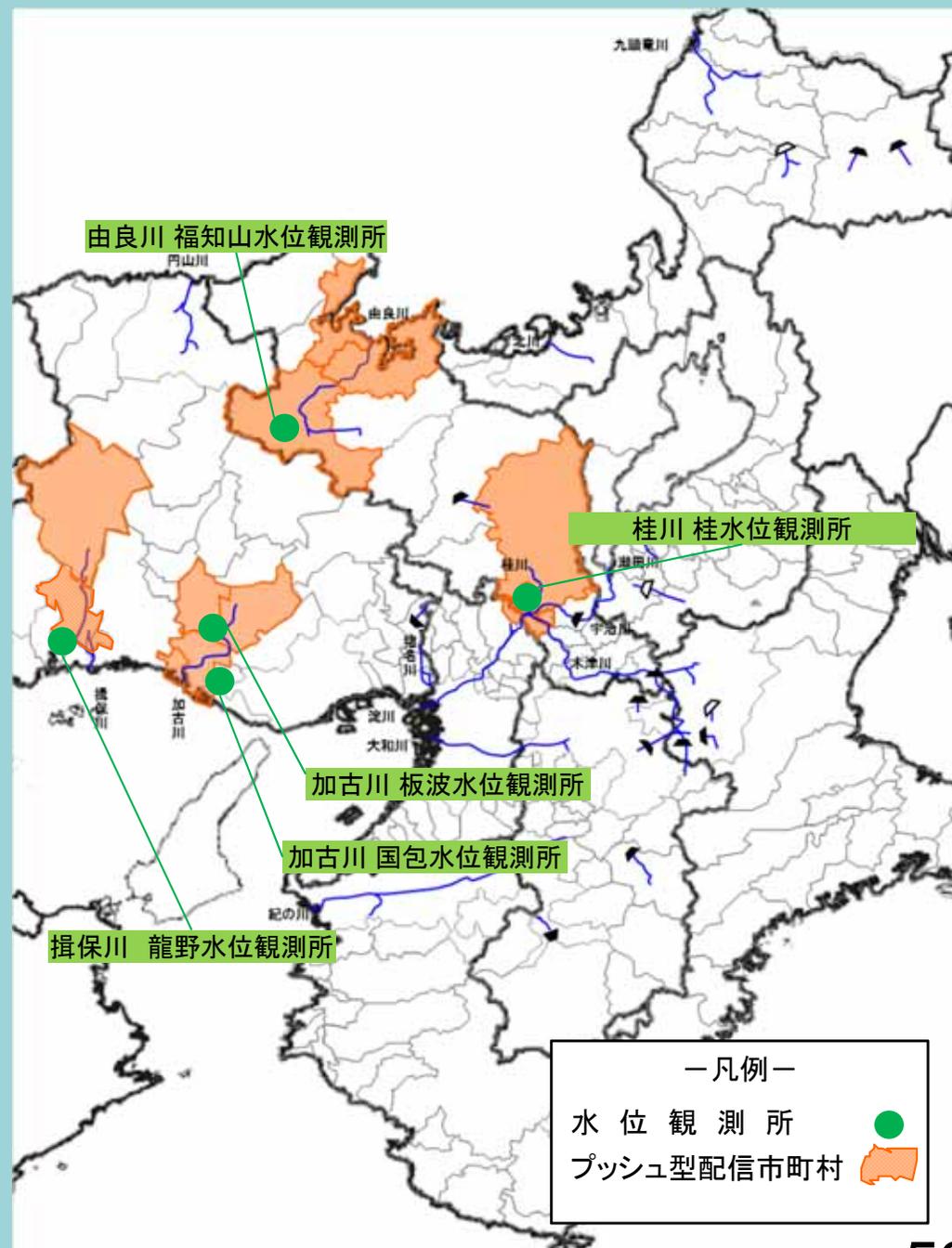
— 凡例 —

- 事務所 
- ホットライン市町村 
- 事務所管内 

# 洪水情報のプッシュ型配信 実施状況

洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、緊急速報メールを活用した洪水情報(河川氾濫のおそれ)のプッシュ型配信を6回実施。(19市町へ配信)

河川名	観測所名	プッシュ型配信	対象市区町村
		日時	
桂川	桂水位観測所	H30.7.5 22:30	大阪府島本町、京都府京都市(下京区、南区、右京区、伏見区、西京区)、向日市、長岡京市、八幡市、大山崎町、久御山町
桂川	桂水位観測所	H30.7.6 14:20	大阪府島本町、京都府京都市(下京区、南区、右京区、伏見区、西京区)、向日市、長岡京市、八幡市、大山崎町、久御山町
揖保川 中川・元川	龍野水位観測所	H30.7.7 2:35	兵庫県宍粟市、たつの市、太子町
由良川 土師川	福知山水位観測所	H30.7.7 4:45	京都府福知山市、舞鶴市、宮津市
加古川	板波水位観測所	H30.7.7 4:55	兵庫県加東市、小野市、加西市
加古川	国包水位観測所	H30.7.7 12:10	兵庫県加古川市、高砂市、播磨町



—凡例—  
 水位観測所 ●  
 プッシュ型配信市町村 ■



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 水防災意識社会再構築ビジョンの 取組による効果

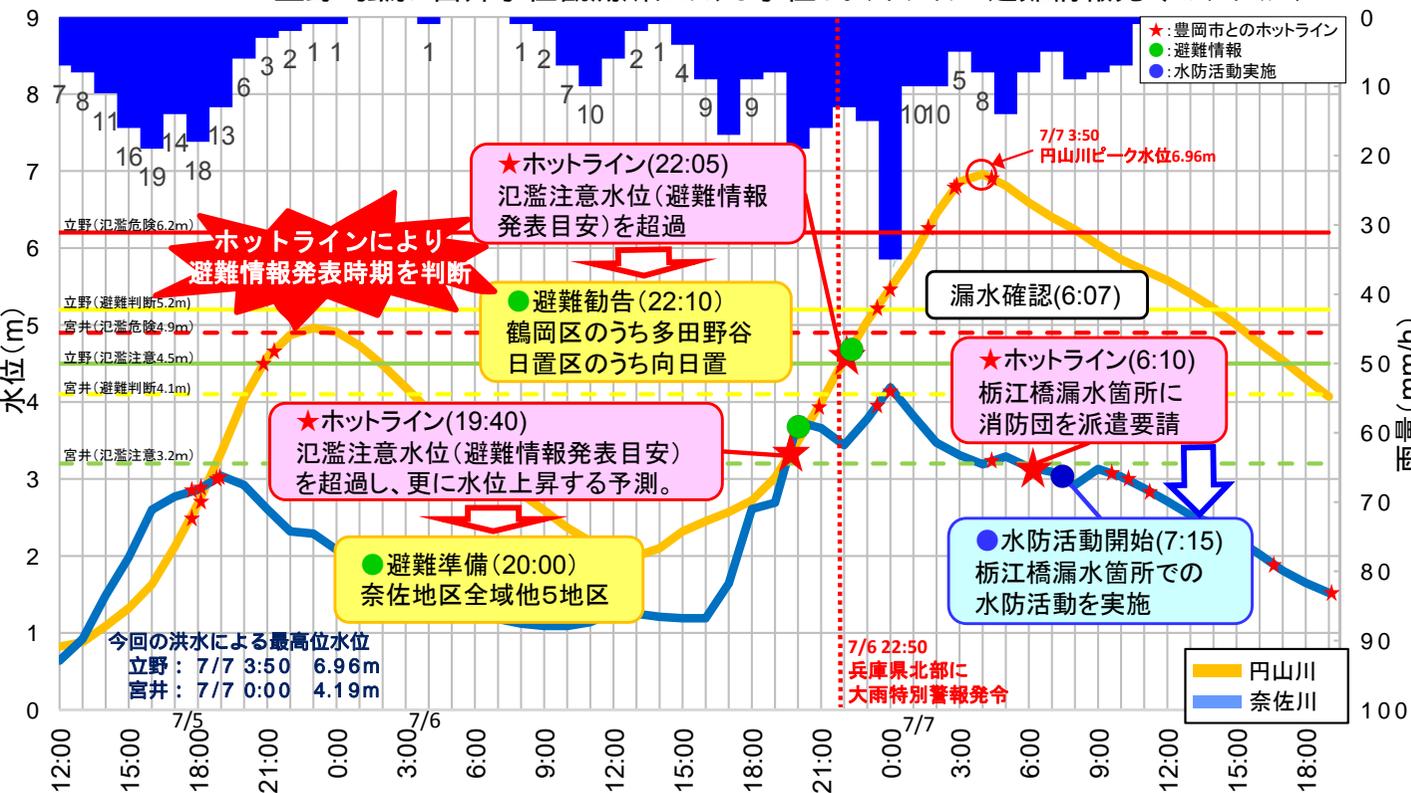
○円山川・奈佐川の直轄管理区間では、河川国道事務所と豊岡市で作成していた水害対応タイムラインに基づき、事務所長と市長等間のホットラインを7月5日から7日にかけて延べ27回実施。

○避難の目安となる水位到達情報等の河川状況を緊密に伝えたこと(現況水位と4時間後迄の予測水位等)により、豊岡市は、十分な余裕(リードタイム)をもって、豊岡地域(奈佐地区全域他5地区)において避難準備、日高地区において避難勧告を発令し、住民へ避難を呼びかけ。また、奈佐川の桁江橋下流で発生した漏水への水防活動においても安全確保できる指示を実施。

○スムーズな避難準備及び避難勧告発令により、人的被害が発生することなく、豊岡市長からホットラインによる情報提供に対して感謝の声を頂いた。

## 豊岡河川国道事務所から豊岡市へのホットラインの実績

立野・弘原・宮井水位観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



## 【位置図】



豊岡消防団 水防活動状況(奈佐川右岸2.4k付近)



### 豊岡市長のコメント

円山川の水位が、排水ポンプの停止基準である7.16mにあと20cmまで迫った。H16年台風23号において、ポンプ停止を命じ、街中が泥水で溢れた辛い記憶がよみがえった。当時と違うのは、豊岡河川国道事務所長と27回に渡りホットラインで情報を交換し、細やかなアドバイスを受けたことだった。とても心強かった。

### <被害状況(7/19現在)(豊岡市役所調べ)>

人的被害 なし  
浸水家屋 163 戸

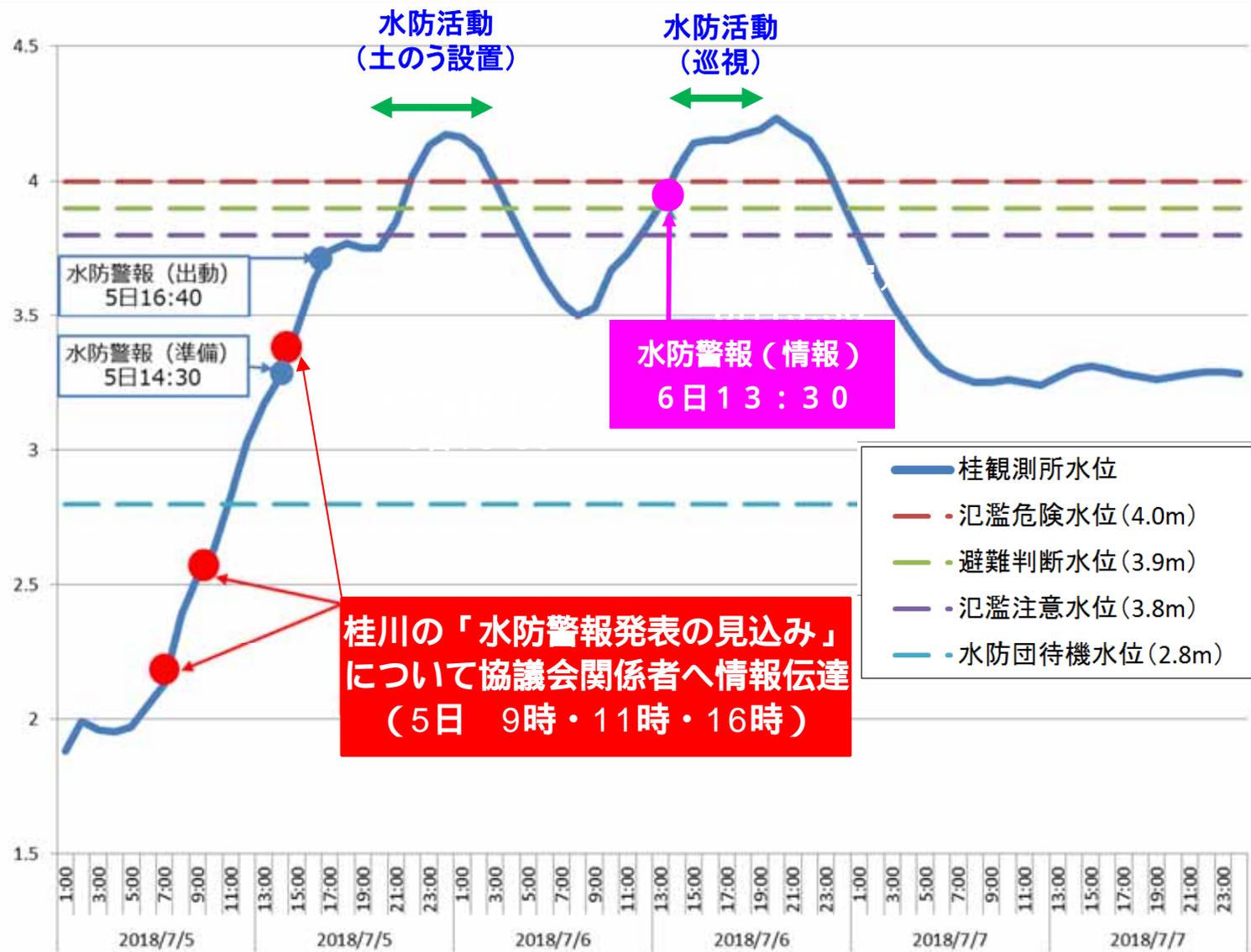
### <避難情報発令状況(豊岡市役所調べ)>

避難勧告 33,173世帯 82,624人  
避難準備 22,970世帯 57,564人

※被害状況、避難情報発令状況は円山川水系全体数値であり、速報値であるため今後変わる可能性があります。

○大規模氾濫減災協議会の「水防団等への情報伝達体制強化」の取組として、水防警報発表前において、水防管理者を含む協議会関係者に対し、水位上昇が著しい桂川の「水防警報発表の見込み」等の情報提供(3回)をしたことにより、速やかに水防活動が実施された。

○また、一旦水位低下後に再び氾濫注意水位を超過し氾濫危険水位に到達する見込みとなったため、「水防警報(情報)」を活用し、改めて水防管理者へ「水位が再上昇し危険が迫る状況であること」を周知し「体制強化」を促した。



### 水防警報 (情報)

発令河川	基準水位観測所	発表番号
桂川	桂水位観測所	第3号

平成30年07月06日13時30分 国土交通省 淀川河川事務所発令

**【現況】**  
 桂川の桂水位観測所(京都市)の水位は、6日13時30分現在3.98mです。  
 桂川の桂水位観測所(京都市)の水位は、避難判断水位に達し、上昇しています。  
 桂川の桂水位観測所(京都市)の水位は、氾濫危険水位を上回る見込みです。

**【発表】**  
水防機関は体制を強化してください。  
水防警報(出動)を5日16時40分に発表<継続中>

基準水位観測所/情報種別	待機	準備	出動	解除
加茂			○	
桂				
枚方				
向島		○		

(参考)  
 桂川 桂水位観測所(京都市)  
 (受け持ち区間は 桂川左岸:京都市右京区嵯峨亀の尾町から幹川合流点、右岸:京都市西京区元録町国有林38林小斑地先から合流点)

問い合わせ先  
 国土交通省 淀川河川事務所 電話:072-843-2861(内線)500



近畿管内の国管理河川における  
主な堤防・護岸等の被害と復旧状況

# 近畿管内の国管理河川における主な堤防・護岸等の被害と復旧状況

○6水系10河川で堤防・護岸等の被災が発生。



## 近畿管内における主な堤防・護岸等の被害と対応

堤防法崩れ<大和川左岸7.2k~7.4k(堺市北区)>



堤体漏水<奈佐川右岸2.4k(豊岡市)>



護岸損傷<揖保川右岸10.2k(たつの市)>



点検結果は、詳細調査中のため今後変更することがあります。

# 近畿管内の国管理河川における主な堤防・護岸等の被害と復旧状況

## 堤防法崩れ<佐保川右岸2.2~2.3k(大和郡山市)>



## 護岸損傷<佐保川右岸4.2k(大和郡山市)>



## 護岸損傷<佐保川右岸7.4k(大和郡山市)>



## 護岸損傷<猪名川右岸6.5k~6.7k(伊丹市)>



## 基盤漏水<円山川右岸19.2k(豊岡市)>



## 基盤漏水<円山川左岸16.0k(豊岡市)>



# 近畿管内の国管理河川における主な堤防・護岸等の被害と復旧状況

## 護岸損傷<由良川右岸7.3k(舞鶴市)>



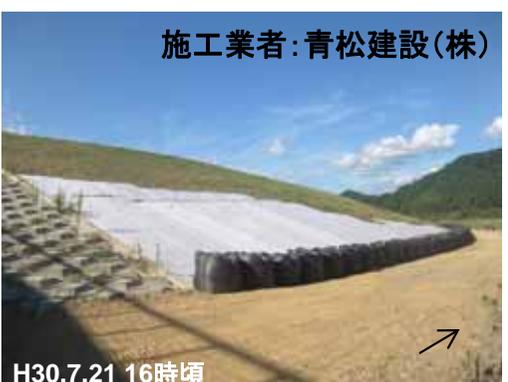
## 護岸損傷<由良川右岸9.8k(舞鶴市)>



## その他(管理用通路)<由良川右岸11.0k(舞鶴市)>



## 堤防法崩れ<由良川左岸21.3k(福知山市)>



## 堤防法崩れ<由良川左岸39.1k(福知山市)>



## 護岸損傷<由良川左岸52.9k(福知山市)>

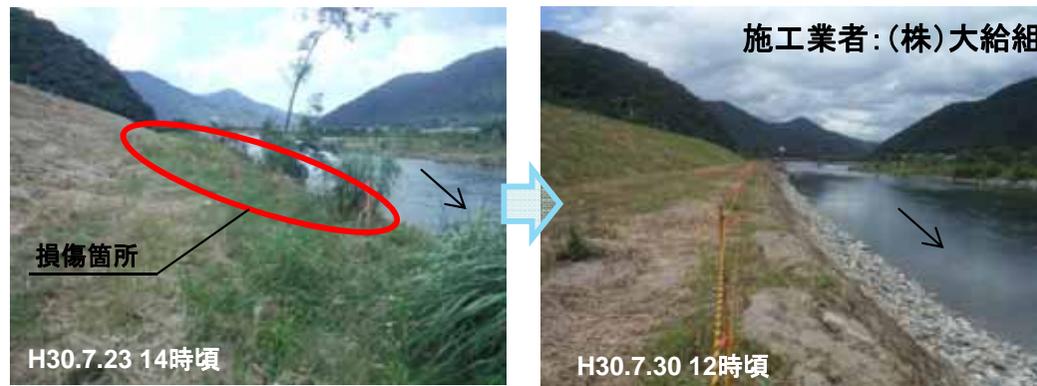


# 近畿管内の国管理河川における主な堤防・護岸等の被害と復旧状況

## 護岸損傷<揖保川左岸13.2k(たつの市)>



## 護岸損傷<揖保川右岸21.6k(たつの市)>



## 護岸損傷<揖保川左岸36.4k(宍粟市)>



## 護岸損傷<揖保川左岸44.1k(宍粟市)>



## 護岸損傷<加古川左岸18.4k(小野市)>



## 護岸損傷<加古川右岸32.4k~32.6k(加東市)>



# 内水浸水箇所における取組状況

# 【由良川】内水浸水箇所における取組状況



福知山市大江町河守地区  
7月7日10時

- ・平成30年7月豪雨では、由良川沿川において内水浸水による家屋浸水が発生。
- ・今出水では、樋門操作時間が最大60時間に及び、排水ポンプ車の現場への進入が出来なかったことや、排水機場の不具合等が生じた。
- ・次の出水に備え、排水ポンプ車の前進配置、樋門操作環境の改善等を実施。

## 排水ポンプ車の輪中堤地区への前進配置

- ・福知山河川国道事務所保有の排水ポンプ車5台のうち4台を孤立する下流部の輪中堤に前進配置  
(舞鶴市志高・福知山市大江町河守に各2台配置)
- ・ポンプ車のオペレーションは自治体での運用を想定し事前訓練を実施
- ・中流部の対応能力を維持するため近畿地方整備局保有の2台を福知山河川国道に前進配置

福知山市大江町への事前配置  
7月28日



## 樋門周辺の土砂・流木の除去等

- ・樋門周辺に堆積した土砂・流木を除去済み  
\* 18樋門で約5千m<sup>3</sup>を除去
- ・土砂ダム下流部の樋門については、土砂・流木の流下に備え、点検・監視体制を強化



蓼原川樋門の土砂除去(H30.7.15)

## 排水ポンプ車のアクセス性の確保・向上

- ・排水ポンプ車の現地へのアクセス路に砕石を敷設  
(7地区・7月末完了)
- ・現場状況に応じ堤防天端にアスファルト舗装を実施  
(8月末メド)



ぬかるみの発生



砕石舗装の実施



改善

## 樋門操作環境の改善(操作支援等)

- ・長時間操作に備え、29箇所の直轄樋門等において遠隔監視体制の強化、応援等の支援体制を確保
- ・あわせて、操作員の待機場所や操作室の食料備蓄等の操作環境を整備  
(8月末目処)



樋門操作室(現状)  
【谷河川樋門】

## 排水機場の緊急点検・修繕

- ・3箇所の排水機場の緊急点検を実施
- ・制御部品等の交換、土のう等による浸水対策(暫定)を実施済



土のうによる浸水対策

## 関係機関による内水対策の取り組み

- ・由良川減災対策協議会に「由良川大規模内水対策部会(仮称)」を設置、国・府・市が連携した取り組みを開始

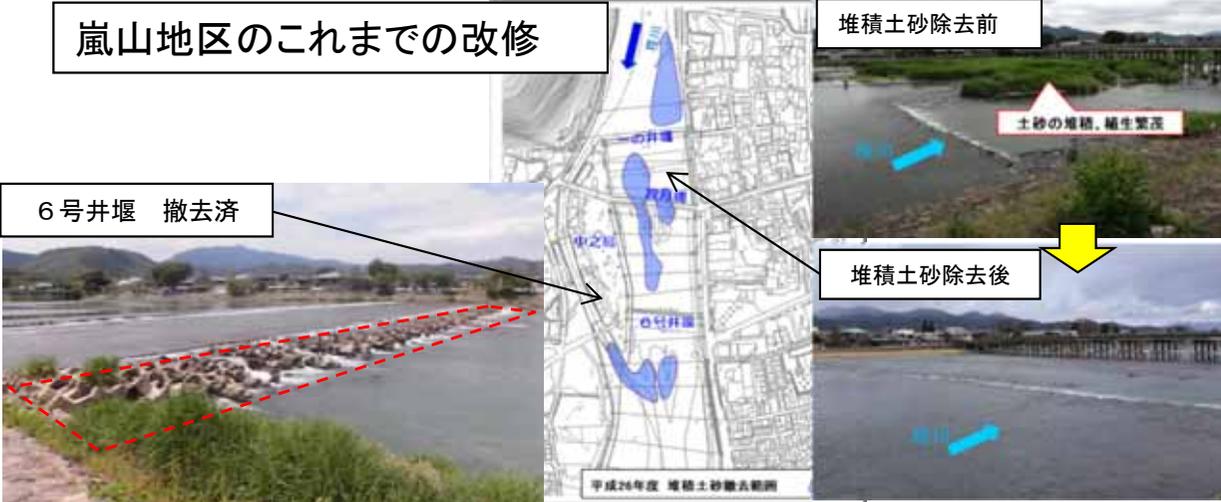
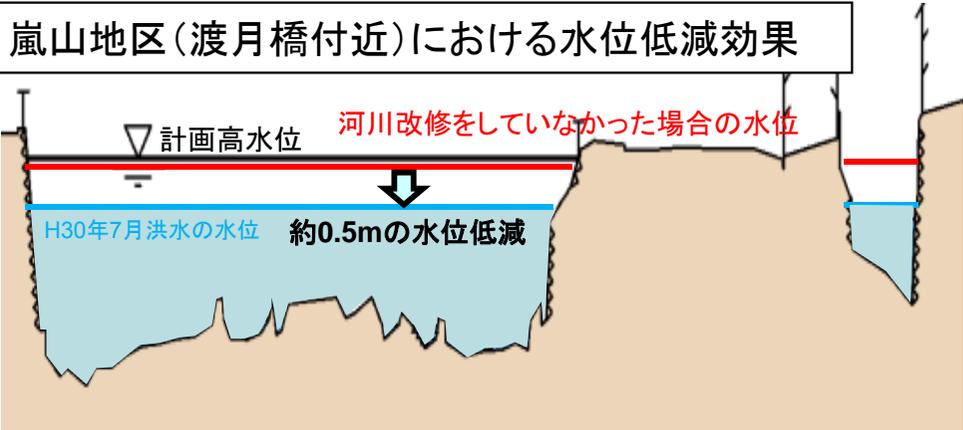


第4回由良川減災対策協議会

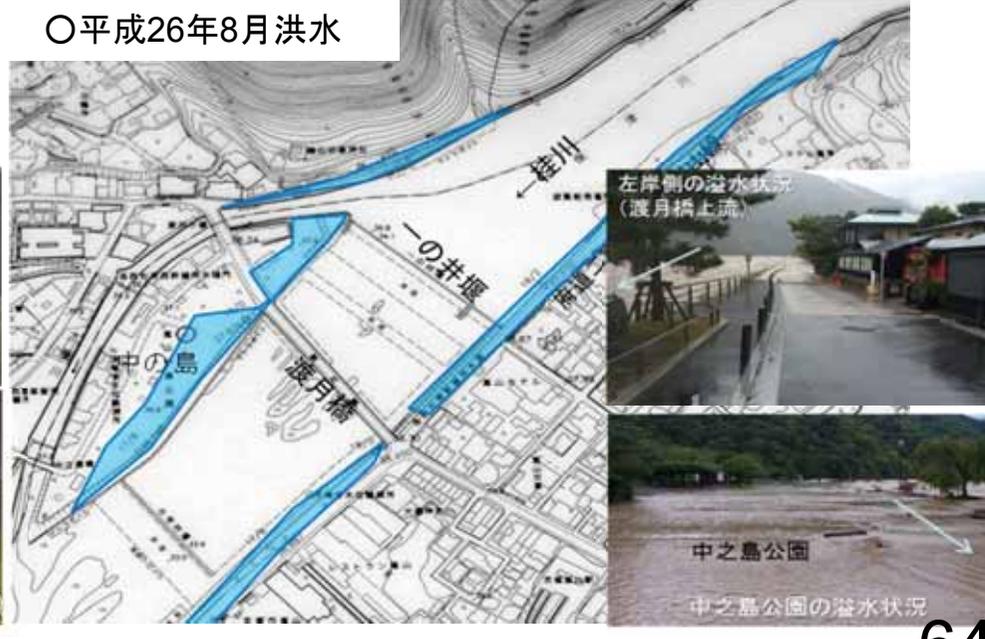
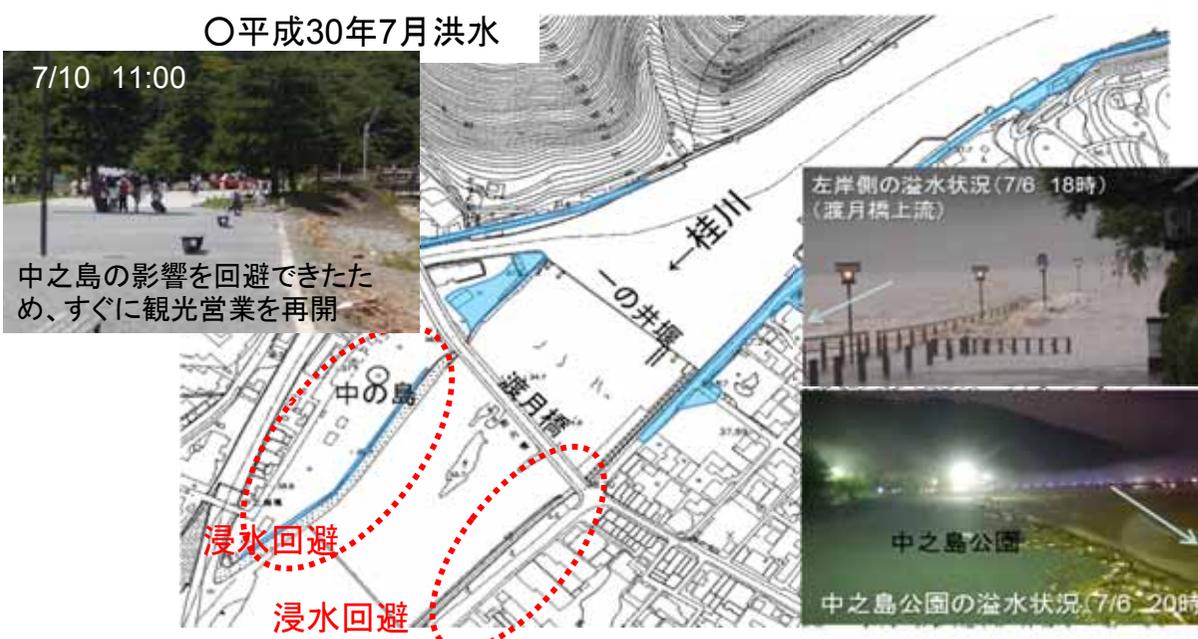
# 河川整備・ダム・排水機場等による効果

# これまでの河川整備による効果(桂川 嵐山地区)

- 桂川嵐山地区では、平成25年台風18号を契機に「桂川緊急治水対策」を実施し、河道掘削及び6号井堰撤去を実施。
- これまでに実施した河川整備により、渡月橋下流において約0.5mの水位を低減。
- 4年前に今回と匹敵する豪雨が発生し、嵐山地区では中の島浸水等の被害が発生したが、この効果により、右岸中之島公園の浸水被害が大幅に減少し、嵐山観光への影響を大幅に低減。



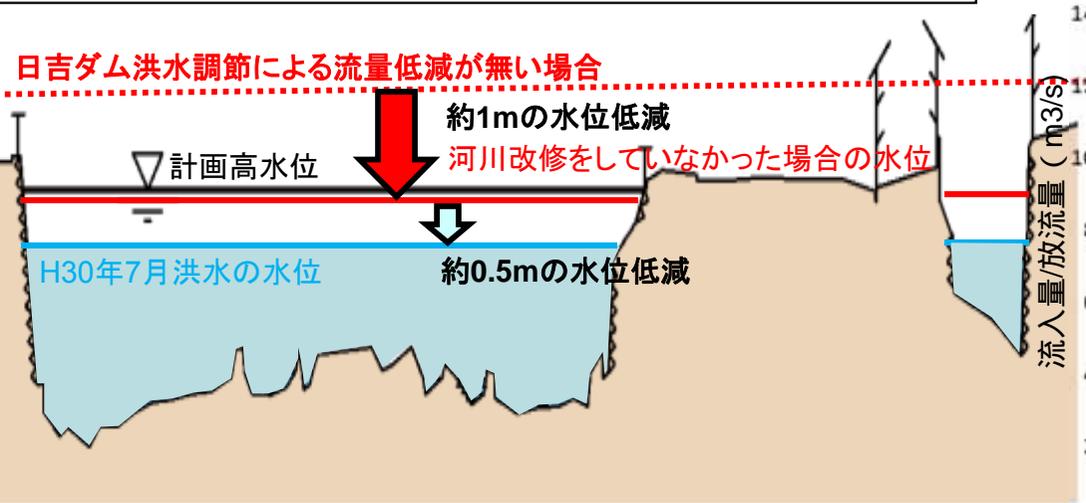
### 嵐山地区(渡月橋付近)における浸水範囲低減効果



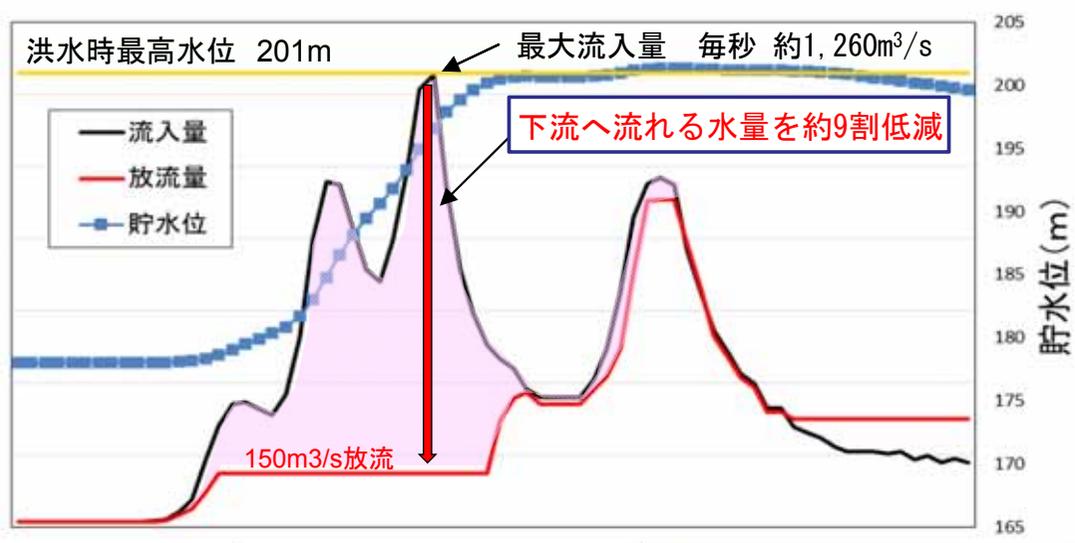
# これまでの河川整備及び日吉ダムによる効果(桂川 嵐山地区)

- 日吉ダムでは、流域全体の安全を確保するため、最大流入時に下流の河川へ流す水量を約150m<sup>3</sup>/sとし、下流へ流れる流量を約9割低減。
- ダム下流の嵐山付近では、これまでの河川整備と日吉ダムの効果により洪水水位を最大約1.5m低下させる効果があったと推定。
- この結果、嵐山では日吉ダム等の水位低減がなければ、平成25年同様の浸水となり、3ha以上の浸水被害が発生したと推定。

## 嵐山地区(渡月橋付近)における水位低減効果



## (日吉ダム)降雨量/流入量・放流量



## 嵐山地区(渡月橋付近)における浸水範囲低減効果



※本資料の数値等は速報であるため今後の精査により変更となる場合があります。

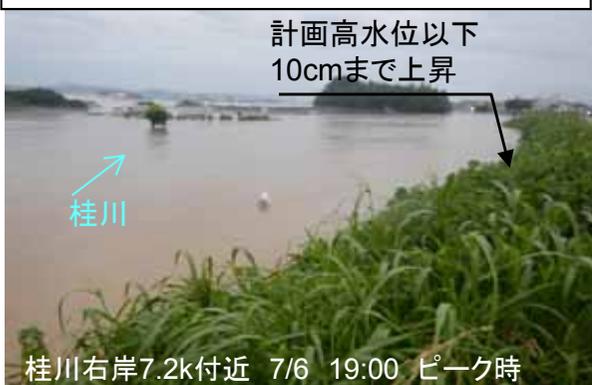
# これまでの河川整備による効果(桂川 久我地区)

- 桂川では、平成25年台風18号を契機に「桂川緊急治水対策」を実施し、約64万m<sup>3</sup>の掘削を実施。
- これまでに実施した河道掘削により、久我地区(桂川7.0k)において約0.5m水位が低減。
- 河道掘削が出来ていなかった場合、約3kmにわたり、計画高水位を0.4m超過し、非常に危険な状態であったと推測。

## 位置図



## 平成30年7月豪雨のピーク時写真



## 羽束師橋下流の掘削状況



## 羽束師橋上流の掘削状況



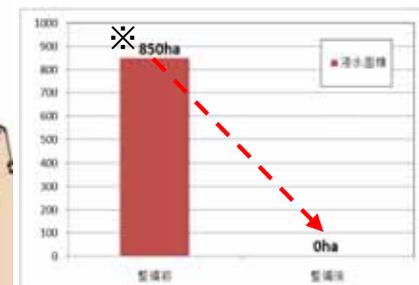
## 久我地区下流



## 水位低減効果



## 浸水被害効果

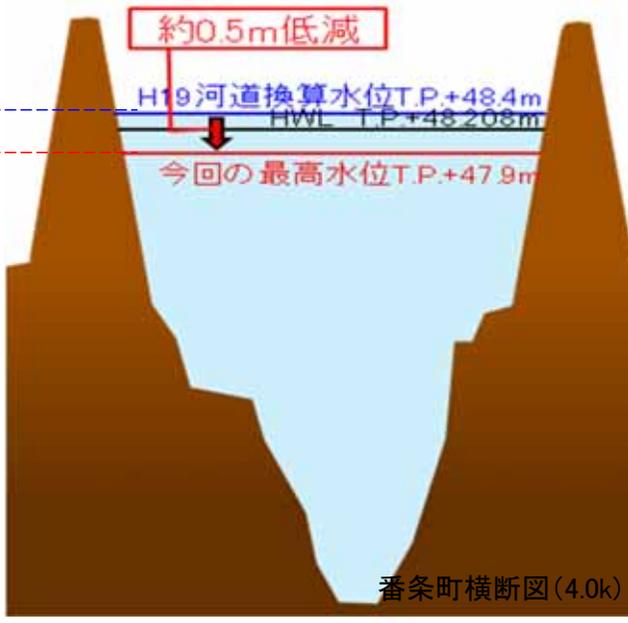
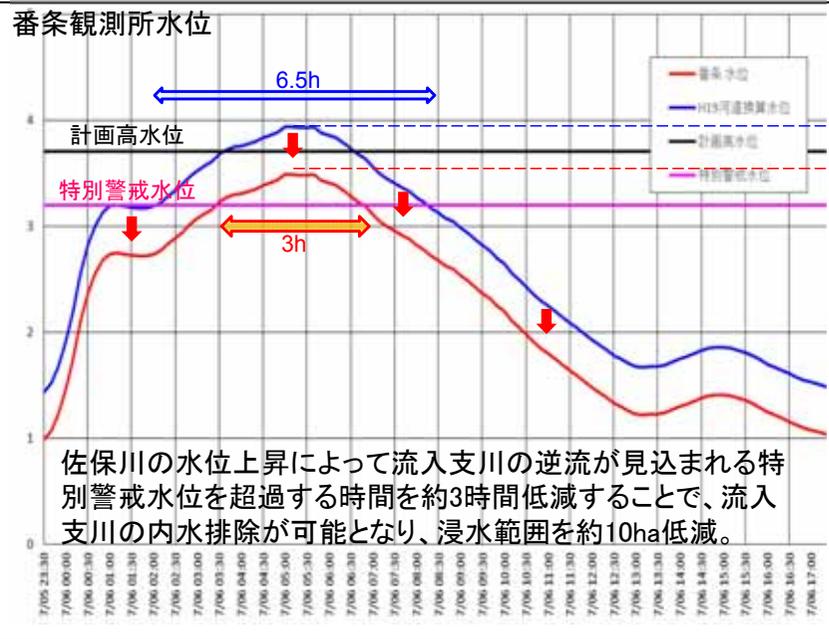
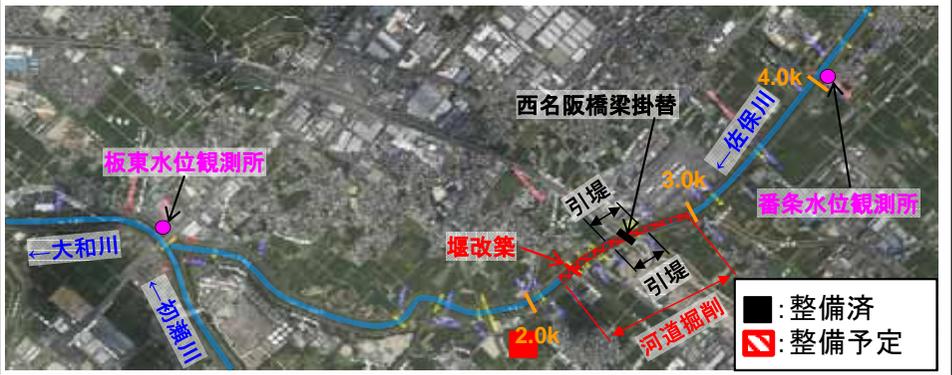


※計画高水位で堤防が決壊した場合の浸水被害を推定

# これまでの河川整備及び今後の河川整備による効果(大和川長安寺地区)

- 大和川支川佐保川では、長安寺地区の流下能力向上のため平成21年度から、引堤や河道掘削を実施。
- これまでに実施した河川整備により、佐保川の水位を約0.5m低減し、大和郡山市番条町地先の浸水範囲を半減させ、周辺の学校や工場等の浸水被害を回避。
- 引き続き、改修事業を推進することで、今次出水による浸水被害を回避可能。

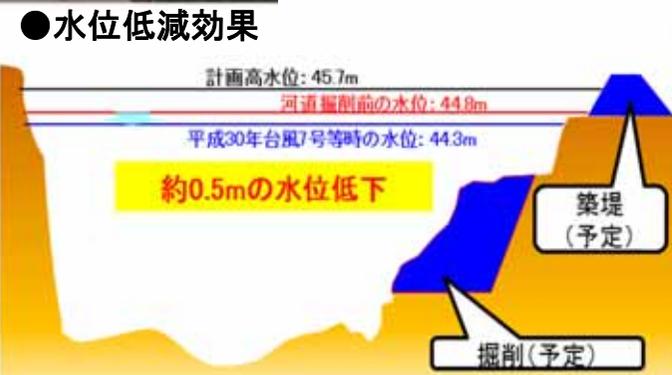
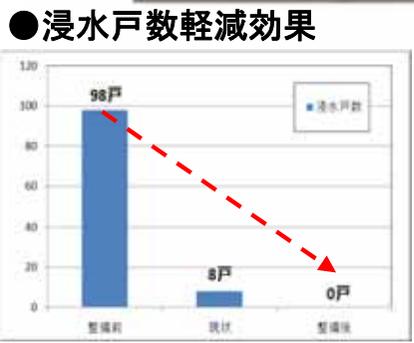
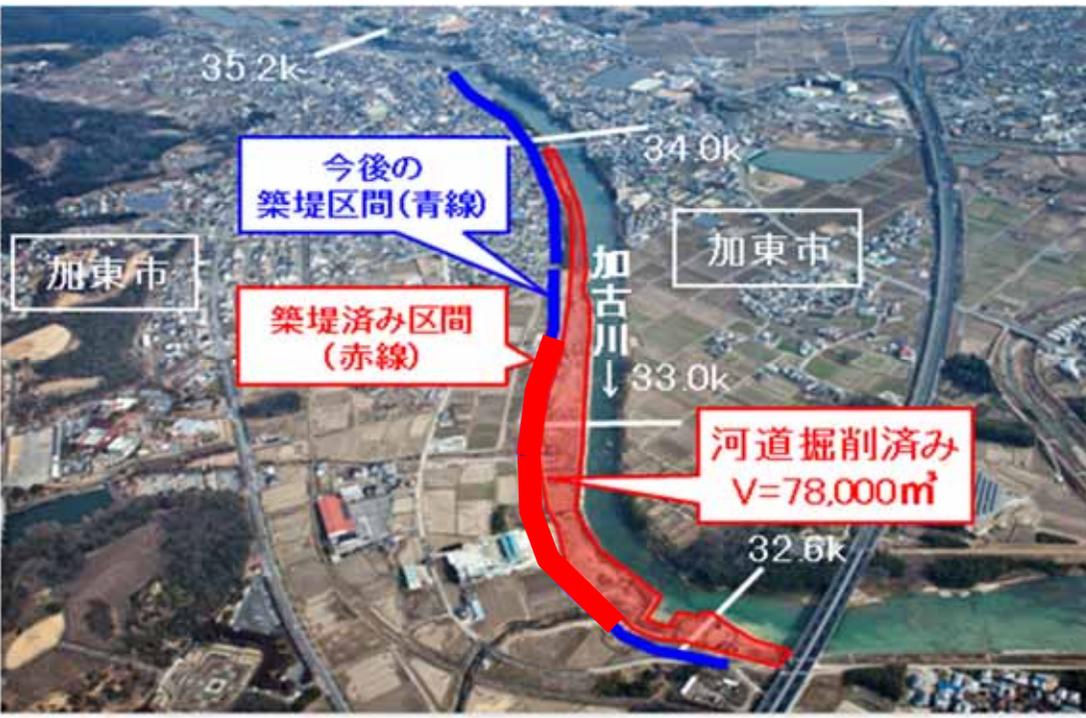
## ○平面図



※本資料中の数値は速報値であり、今後の精査により変更することがあります。

# これまでの河川整備及び今後の河川整備による効果(加古川 滝野地区)

- 加古川では、平成29年度より滝野地区を緊急特定区間として位置付け、事業を推進。
- これまでに実施した河川整備により、約0.5mの水位低減効果を発揮したため、滝野地区の浸水被害を軽減。
- 引き続き、築堤事業を推進することで、今次出水による浸水被害を回避可能。



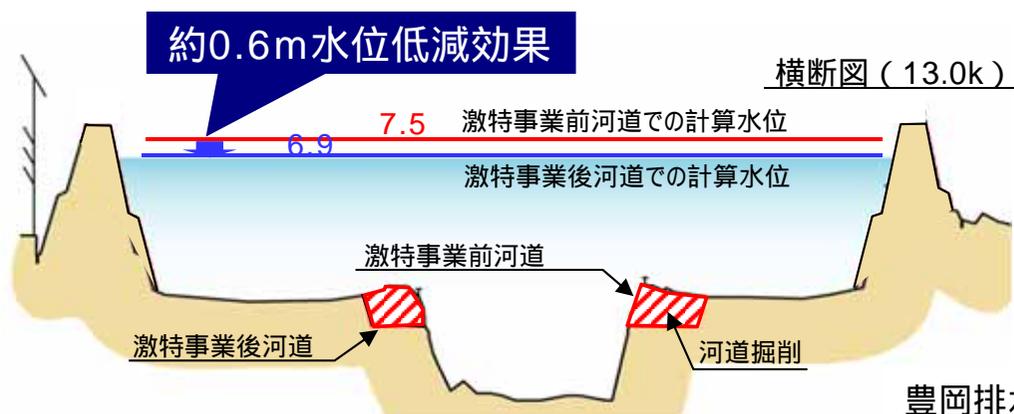
今回は8戸の浸水被害が発生したが、河川整備前は約100戸の浸水被害が発生したと推定され、整備後は浸水を回避可能。

※本資料中の数値は速報値であり、今後の精査により変更することがあります。

# これまでの河川整備による効果(円山川 豊岡市内)

- 円山川では、平成16年台風23号洪水により甚大な被害が発生し、平成16年度から激特事業を実施(H22完)。
- これまでに実施した河川整備により、立野地点では約0.6mの水位を低減。
- この結果、豊岡市内の排水機場ポンプ停止水位を下回ることが可能となり、5箇所の排水機場のポンプを断続的に運転できたため、豊岡市内中心部の内水被害を回避したと推定。

平成30年7月豪雨よる洪水における河川改修の効果(立野地点)



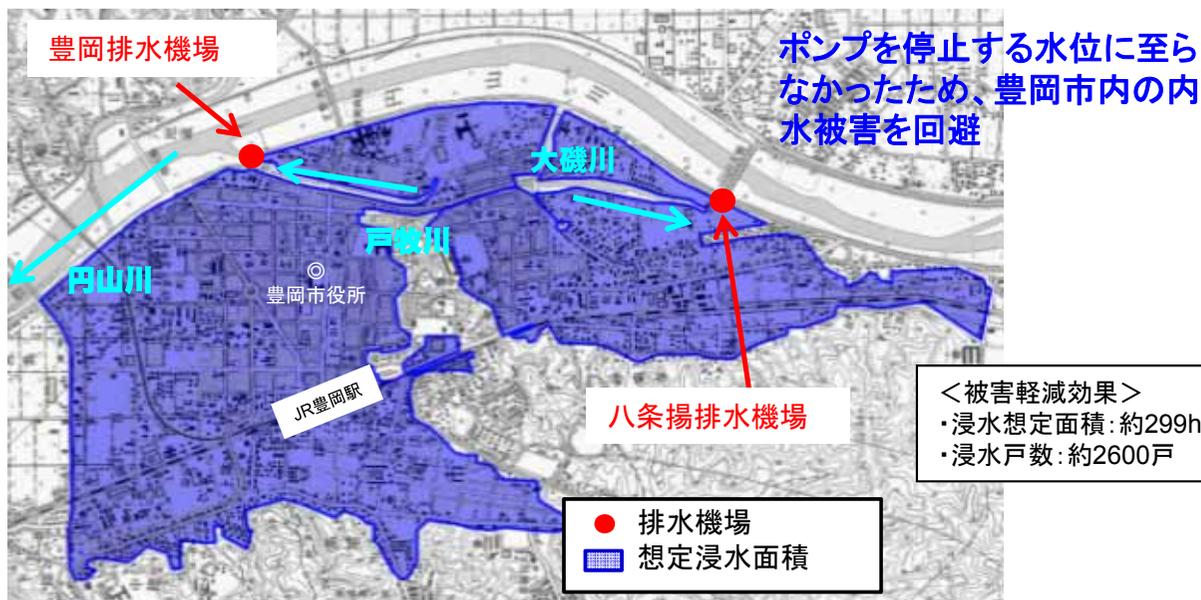
豊岡排水機場



平成16年台風23号洪水の浸水状況

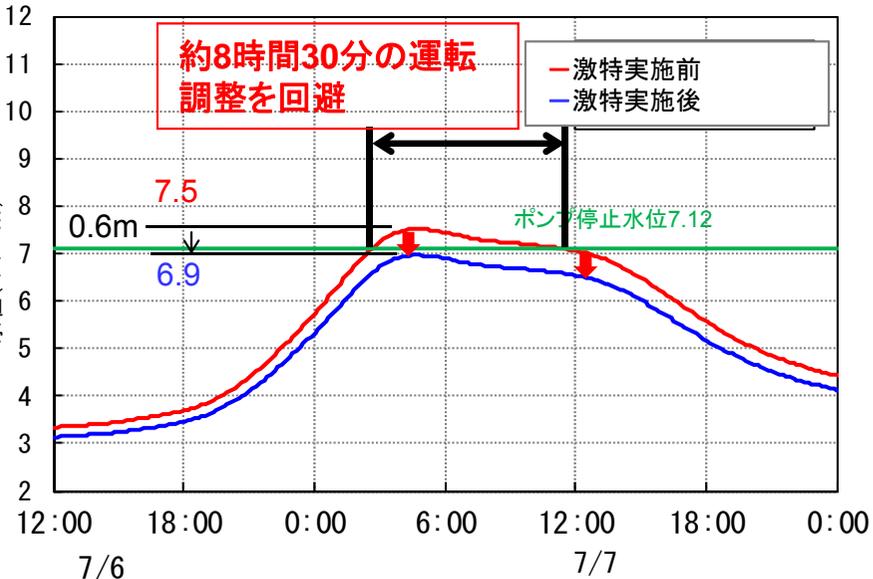


豊岡排水機場の内水排除区域



<被害軽減効果>  
 ・浸水想定面積:約299ha  
 ・浸水戸数:約2600戸

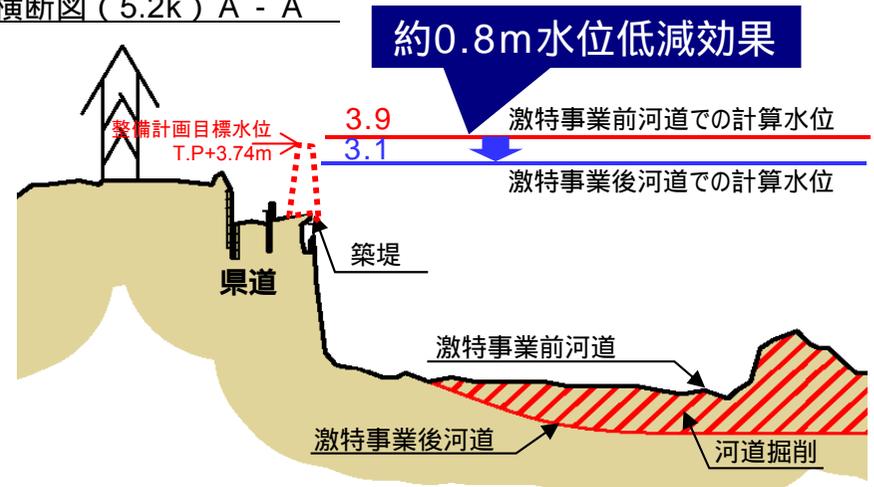
激特事業前後比較  
 平成30年7月豪雨における豊岡排水機場の運転時間



# これまでの河川整備及び今後の河川整備による効果(円山川 下流部)

- 円山川では、平成16年台風23号洪水により甚大な被害が発生し、平成16年度から激特事業を実施(H22完)。
- これまでに実施した河川整備により、結和橋地点では約0.8mの水位を低減となったため、浸水範囲を約10ha、床上浸水を約50戸軽減したと推定。
- 下流部では、引き続き、河川整備計画に基づく特殊堤事業を推進する事で、浸水被害を回避可能。

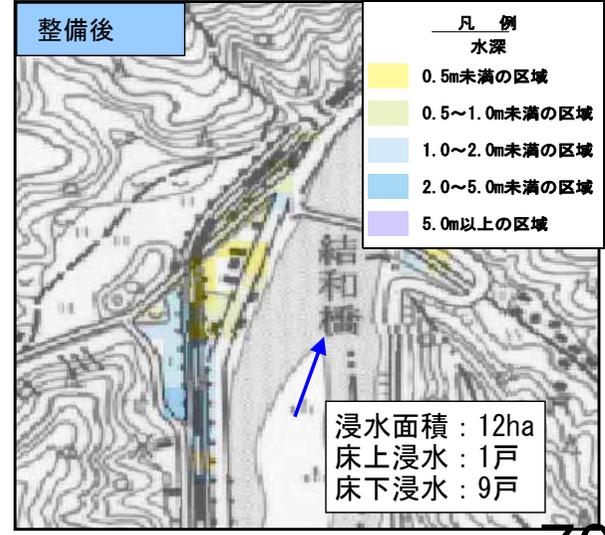
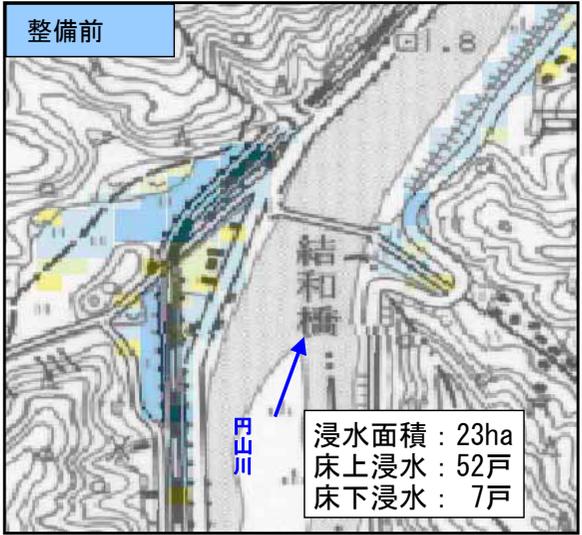
平成30年7月豪雨による  
洪水における河川改修の効果(下流部)  
横断面図(5.2k) A-A



平成30年7月豪雨による下流部の浸水状況



今次出水による浸水範囲(来日地区)



凡例  
水深

0.5m未満の区域
0.5~1.0m未満の区域
1.0~2.0m未満の区域
2.0~5.0m未満の区域
5.0m以上の区域

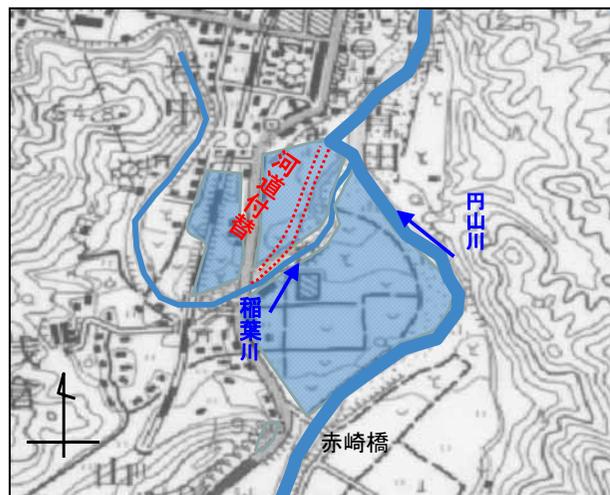
# これまでの河川整備による効果(円山川 上流部)

- 円山川では、平成16年台風23号洪水により甚大な被害が発生し、平成16年度から激特事業を実施。
- これまでに実施した河川整備により、稲葉川合流部等において浸水被害を回避。

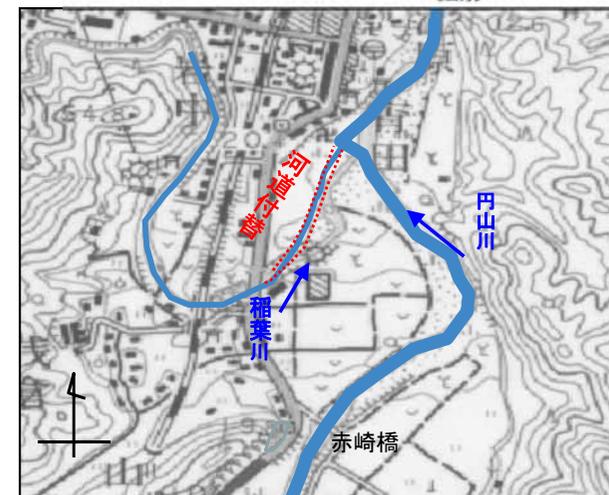
整備前(稲葉川合流点)



整備後(稲葉川合流点)



浸水面積：11ha  
床上浸水：7戸  
床下浸水：0戸



浸水面積：0ha  
床上浸水：0戸  
床下浸水：0戸

※本資料中の数値は速報値であり、今後の精査により変更することがあります。

# これまでの河川整備による効果（由良川 私市地区）

- 由良川では、平成25年台風18号を契機に平成26年度より「緊急的な治水対策」を実施。
- これまでに実施した中流域の河道掘削及び私市地区の堤防整備により、由良川からの浸水被害を回避。

※内水被害は発生。

## 私市地区 (H25台風18号)



舞鶴若狭自動車道  
由良川橋梁



私市地区堤防整備 (H29完)

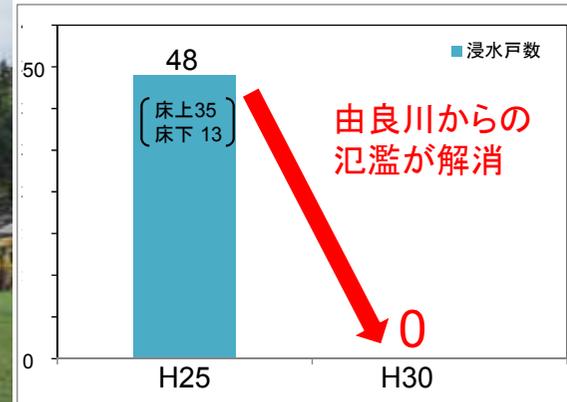
## 私市地区 (H30年7月豪雨)



— 整備済の連続堤



7/7 13:00



※本資料中の数値は速報値であり、今後の精査により変更することがあります。

# 既存排水機場等の効果 淀川水系宇治川 [針ノ木排水機場]

○針ノ木排水機場では、平成30年7月6日1時～6日16時にかけて、沿川での浸水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量3.4万m<sup>3</sup>の内水**を排出

## ■針ノ木排水機場の位置・全景



## ■岡本川の水位低減効果

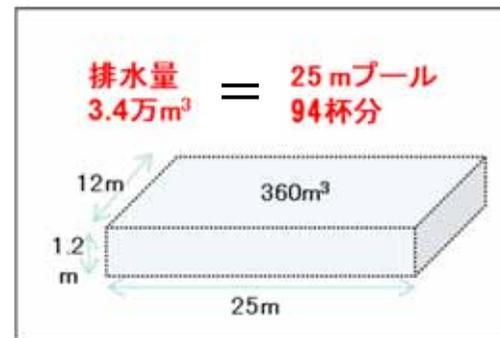
今回のポンプの稼働により、**総排水量3.4万m<sup>3</sup>の内水を排出**し、岡本川の水位が**約1.8m低下**、浸水面積が**約8ha**、浸水家屋が**約80戸減少**



## ■針ノ木排水機場の役割

- 岡本川の内水被害を軽減するため、針ノ木排水機場を建設
- 宇治川洪水の岡本川への逆流防止と岡本川の洪水を宇治川へ排水する役割を担う
- 宇治市内に広がる浸水被害を軽減

ポンプが無かった場合の浸水被害



## ■針ノ木排水機場の諸元

- S51年完成 3.0m<sup>3</sup>/sポンプ×1台
- 合計排水能力3.0m<sup>3</sup>/s
- ※完成からすでに40年以上経過

※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

# 既存排水機場等の効果 淀川水系宇治川 [大島排水機場]

○大島排水機場では、平成30年7月5日6時～6日21時にかけて、沿川での浸水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量71.3万m<sup>3</sup>の内水**を排出

## ■大島排水機場の位置・全景



## ■堂の川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量71.3万m<sup>3</sup>の内水を排出**し、堂の川の水位が**約2.7m低下**、浸水面積が**約43ha**、浸水家屋が**約1,060戸減少**



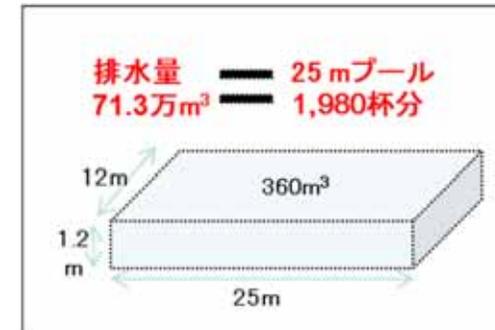
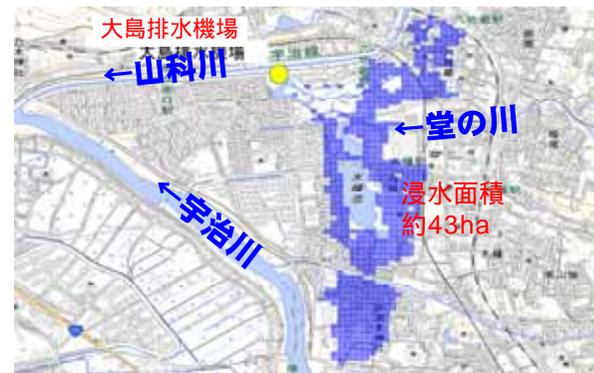
## ■大島排水機場の役割

- 堂の川の内水被害を軽減するため、大島排水機場を建設
- 山科川洪水の堂の川への逆流防止と堂の川の洪水を山科川へ排水する役割を担う
- 宇治市内に拡がる浸水被害を軽減

## ■大島排水機場の諸元

- S43年完成 3.0m<sup>3</sup>/sポンプ × 1台
- S49年増設 3.0m<sup>3</sup>/sポンプ × 1台増設
- 合計排水能力6.0m<sup>3</sup>/s**
- ※完成からすでに**50年以上経過**

ポンプが無かった場合の浸水被害

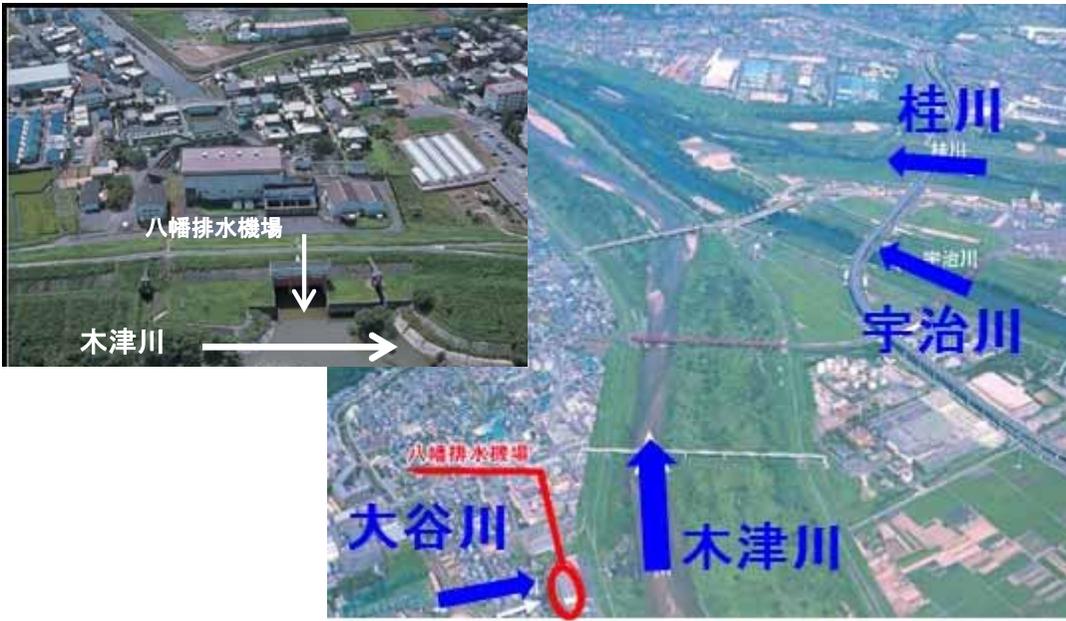


※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

# 既存排水機場等の効果 淀川水系木津川下流〔八幡排水機場〕

○八幡排水機場では、平成30年7月5日23時～7日6時にかけて、沿川での浸水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量198.9万m<sup>3</sup>の内水**を排出

## ■八幡排水機場の位置・全景



## ■大谷川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量198.9万m<sup>3</sup>の内水を排出**し、大谷川の水位が**約1.8m低下**、浸水面積が**約299ha**、浸水家屋が**約2,180戸減少**



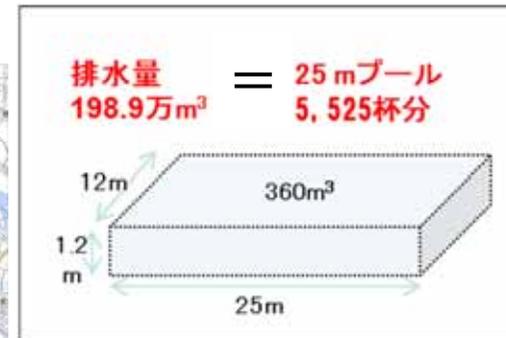
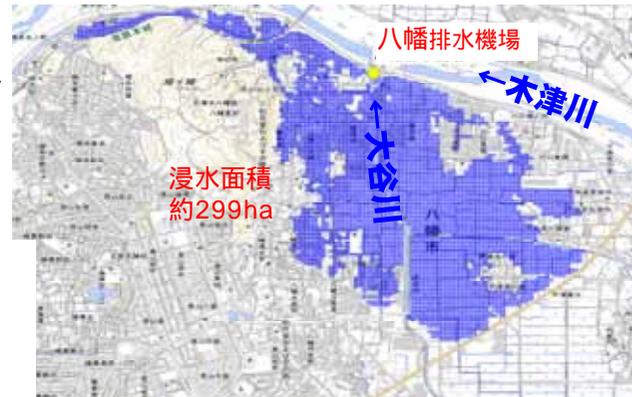
## ■八幡排水機場の役割

- 大谷川の内水被害を軽減するため、八幡排水機場を建設。
- 木津川洪水の大谷川への逆流防止と大谷川の洪水を木津川へ排水する役割を担う
- 八幡市内に拡がる浸水被害を軽減

## ■八幡排水機場の諸元

- S40年完成 3.0m<sup>3</sup>/sポンプ × 2台
- S63年ポンプ増設 12.5m<sup>3</sup>/sポンプ × 3台増設
- H4年ポンプ増設 12.5m<sup>3</sup>/sポンプ × 1台増設
- 合計排水能力56.0m<sup>3</sup>/s**
- ※完成からすでに**50年以上経過**

## ポンプが無かった場合の浸水被害



※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

# 既存排水機場等の効果 円山川水系円山川〔城崎排水機場〕

○城崎排水機場では、平成30年7月6日22時～7日17時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量44.2万m<sup>3</sup>の内水**を排出

## ■城崎排水機場の位置・全景



## ■大谿川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量44.2万m<sup>3</sup>の内水**を排出し、大谿川の水位が**約0.5m低下**、浸水面積が**約4.5ha**、浸水家屋が**約70世帯減少**



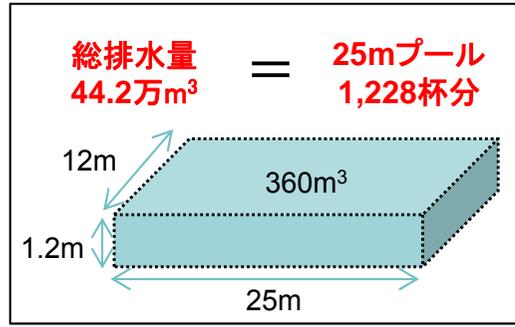
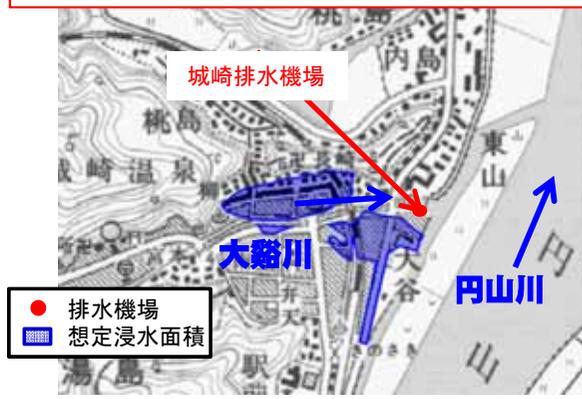
## ■城崎排水機場の役割

- 大谿川の内水被害を軽減するため、城崎排水機場を建設
- 円山川洪水の大谿川への逆流防止と大谿川の洪水を円山川へ排水する役割を担う
- 豊岡盆地の浸水被害を軽減

## ■城崎排水機場の役割

- S49年完成 5.0m<sup>3</sup>/sポンプ × 2台
- H12年増設 5.0m<sup>3</sup>/sポンプ × 1台増設。
- H20年更新 5.0m<sup>3</sup>/sポンプ1台を8.65m<sup>3</sup>/sに更新
- H22年更新 5.0m<sup>3</sup>/sポンプ1台を8.65m<sup>3</sup>/sに更新
- 合計排水能力23.0m<sup>3</sup>/s**
- ※完成からすでに**40年以上経過**

ポンプが稼働しなかった場合の浸水被害



※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

○豊岡市内の内水被害発生に備えて、豊岡排水機場と八条揚排水機場のポンプを操作・運転し、

**総排水量294.1万m<sup>3</sup>の内水を排除しました。**

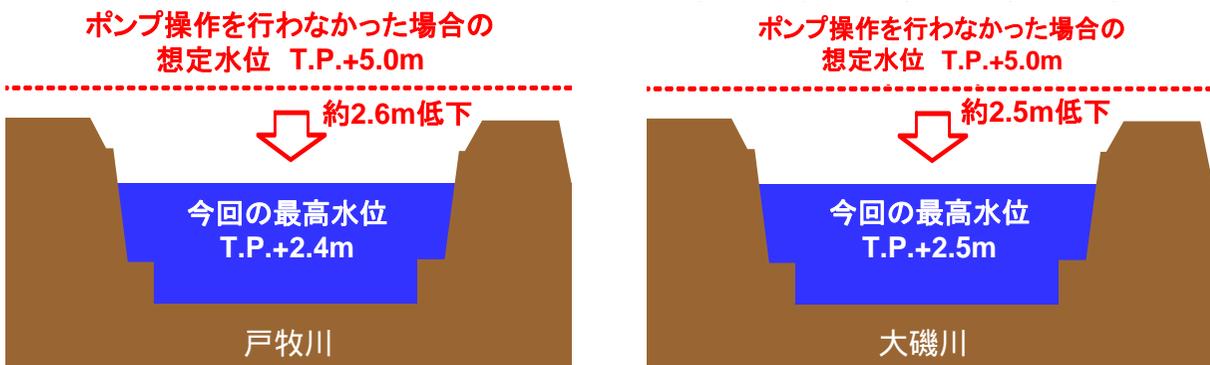
- ・豊岡排水機場では、平成30年7月5日13時～8日17時にかけて、**総排水量205.1万m<sup>3</sup>の内水**を排除。
- ・八条揚排水機場では、平成30年7月5日16時～7日15時にかけて、**総排水量89.0万m<sup>3</sup>の内水**を排除。

## ■豊岡排水機場及び八条揚排水機場の位置・全景



## ■支川(戸牧川及び大磯川)の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**合計総排水量294.1万m<sup>3</sup>の内水を排出し、戸牧川の水位が約2.6m低下、大磯川の水位が約2.5m低下、浸水面積が約440ha、浸水家屋が約5,200世帯減少**



## ■豊岡排水機場の役割

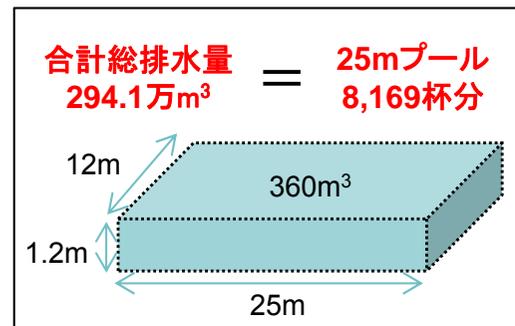
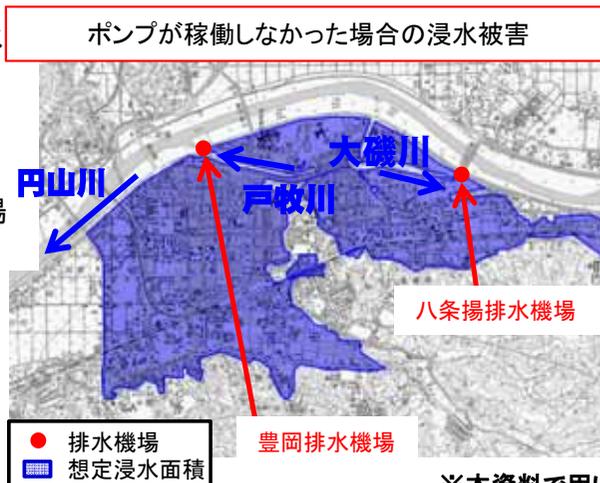
- 豊岡市街地の内水被害を軽減するため、豊岡排水機場は及び八条揚排水機場を建設
- 豊岡排水機場は、円山川洪水の戸牧川への逆流防止と戸牧川の洪水を円山川へ排水する役割を担う
- 八条揚排水機場は、円山川洪水の大磯川への逆流防止と大磯川の洪水を円山川へ排水する役割を担う
- 豊岡盆地に広がる浸水被害を軽減
- 大磯川は流れが緩やかで水が滞留しやすいため、定期的に円山川の水を汲み上げ(揚水運転)、戸牧川(豊岡排水機場)より排出することで水を循環させ水質の悪化を防ぐ

## ■豊岡排水機場の諸元

- S42年完成 4m<sup>3</sup>/sポンプ×2台
- S46年完成 4m<sup>3</sup>/sポンプ×1台
- H22年完成 7.5m<sup>3</sup>/sポンプ×2台
- 合計排水能力15.0m<sup>3</sup>/s**
- ※H22年に旧施設を廃止

## ■八条揚排水機場の諸元

- S53年完成 5.0m<sup>3</sup>/sポンプ×1台
- H13年ポンプ増設 5.0m<sup>3</sup>/sポンプ×1台増設
- 合計排水能力10.0m<sup>3</sup>/s(揚水は5.0m<sup>3</sup>/s)**
- ※完成からすでに**30年以上経過**



※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

# 既存排水機場等の効果 円山川水系円山川〔六方排水機場〕

○六方排水機場では、平成30年7月5日15時～8日2時にかけて、内水被害発生に備えてポンプを操作・運転し、**総排水量667.5万m<sup>3</sup>の内水**を排出  
 (六方川排水機場(県管理)と併せて**総排水量995.4万m<sup>3</sup>の内水**を排出)

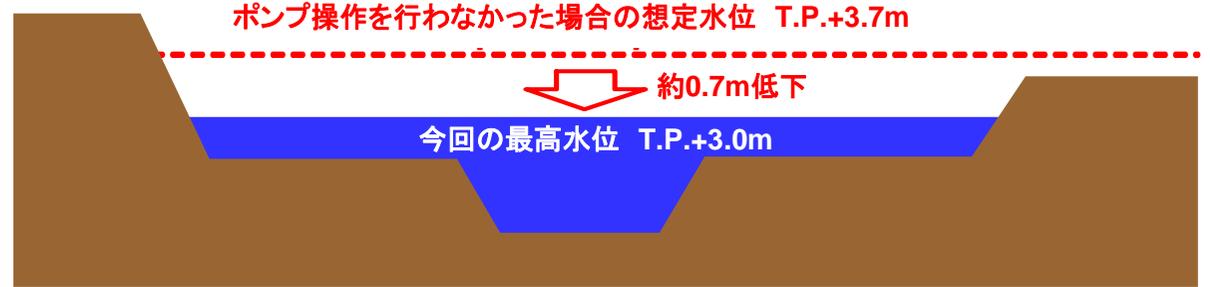
## ■六方排水機場の位置・全景



## ■六方川の水位低減効果

(※六方排水機場(国)、六方川排水機場(県)の併せた効果で算出)

今回のポンプの稼働により、**総排水量994.5万m<sup>3</sup>の内水**を排出し、六方川の水位が**約0.7m低下**、浸水面積が**約747ha**、浸水家屋が**約850世帯減少**

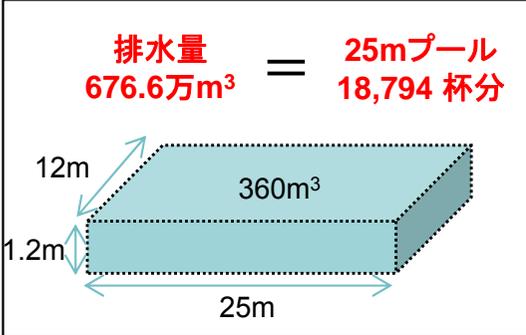
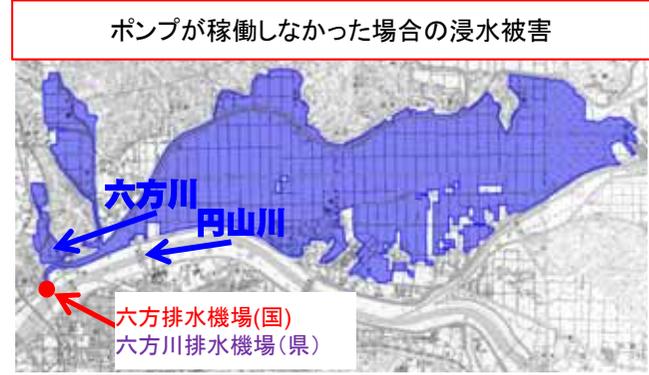


## ■六方排水機場の役割

- 六方川の内水被害を軽減するため、六方排水機場を建設
- 円山川洪水の六方川への逆流防止と六方川の洪水を円山川へ排水する役割を担う
- 豊岡盆地に拡がる浸水被害を軽減

## ■六方排水機場の諸元

- (国管理) H13年完成 15.0m<sup>3</sup>/sポンプ×2台  
**合計排水能力30.0m<sup>3</sup>/s**
- (兵庫県管理) H25年完成 排水能力18m<sup>3</sup>/s



● 排水機場  
 ■ 想定浸水面積

※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

# 既存排水機場等の効果 円山川水系円山川〔八代排水機場〕

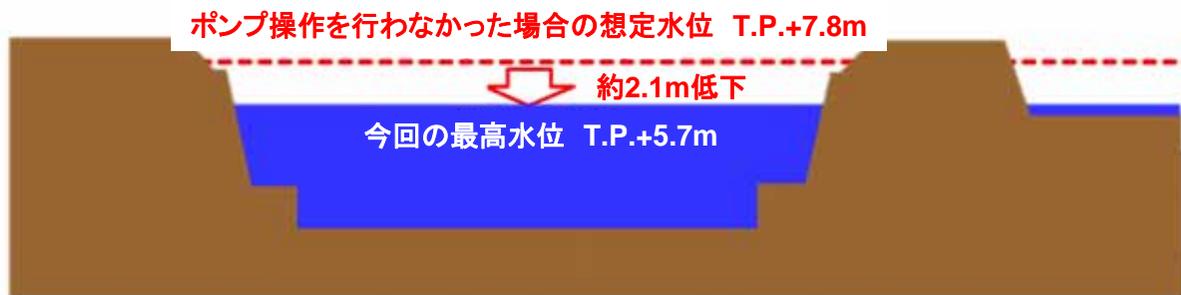
○八代排水機場では、平成30年7月5日18時～7日21時にかけて、内水被害発生に備えてポンプを操作・運転し、**総排水量400.5万m<sup>3</sup>の内水**を排出

## ■八代排水機場の位置・全景



## ■八代川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量400.5万m<sup>3</sup>の内水**を排出し、八代川の水位が**約2.1m低下**、浸水面積が**約217ha**、浸水家屋が**約750世帯減少**



## ■八代排水機場の役割

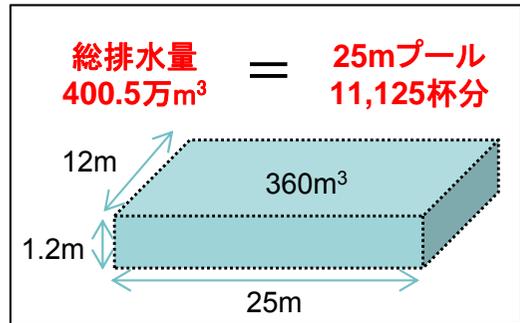
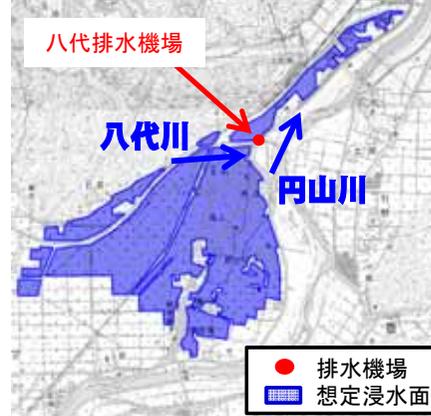
- 八代川の内水被害を軽減するため、八代排水機場を建設
- 円山川洪水の八代川への逆流防止と八代川の洪水を円山川へ排水する役割を担う
- 豊岡盆地に拡がる浸水被害を軽減

## ■八代排水機場の諸元

- H11年完成 1.0m<sup>3</sup>/sポンプ×4台
- H21年完成 4.0m<sup>3</sup>/sポンプ×1台に更新
- H23年更新 9.0m<sup>3</sup>/sポンプ1台、10.35m<sup>3</sup>/sポンプ2台を33.7m<sup>3</sup>/sに更新

合計排水能力33m<sup>3</sup>/s

ポンプが稼働しなかった場合の浸水被害



※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

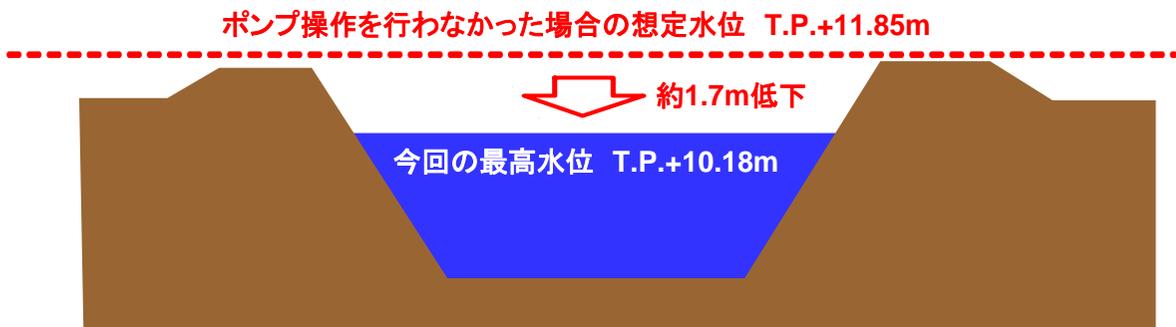
○馬路川排水機場では、平成30年7月6日13時～7月7日23時にかけて、沿川での浸水被害発生に備えてポンプを操作・運転し、総排水量**154.5万m<sup>3</sup>**の内水を排出

## ■馬路川排水機場の位置・全景



## ■馬路川の水位低減効果

今回の排水機場の稼働により、総排水量**154.5万m<sup>3</sup>**の内水を排出し、馬路川の水位が**約1.7m**低下、浸水面積が**約182ha**減少、浸水家屋が**約1,650戸**減少



## ■馬路川排水機場の役割

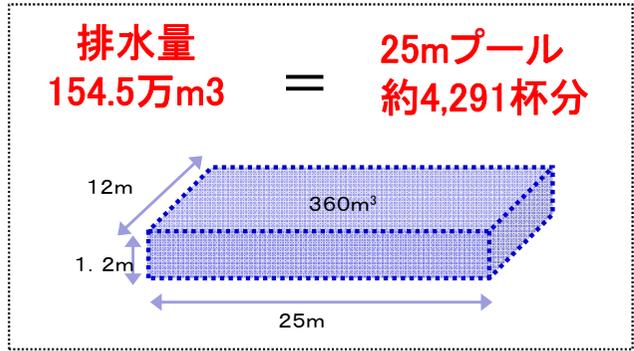
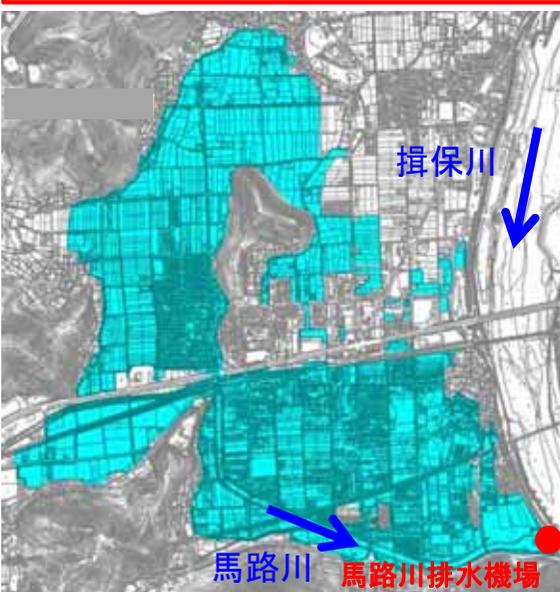
- 馬路川の内水被害を軽減するため、馬路川排水機場を建設
- 馬路川洪水の馬路川への逆流防止、馬路川洪水の揖保川への排水
- たつの市揖保川町内に拡がる浸水被害を軽減

## ■馬路川排水機場の諸元

- S56年完成 5m<sup>3</sup>/sポンプ × 1台
- S63年増設 5m<sup>3</sup>/sポンプ × 1台増設
- H17年改造・増設 既設ポンプを6.5m<sup>3</sup>/s × 2台に改造
- 1.5m<sup>3</sup>/sポンプ × 2台増設

合計排水能力 **16m<sup>3</sup>/s** ※完成からすでに**35年以上経過**

## ポンプがなかった場合の浸水被害



※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

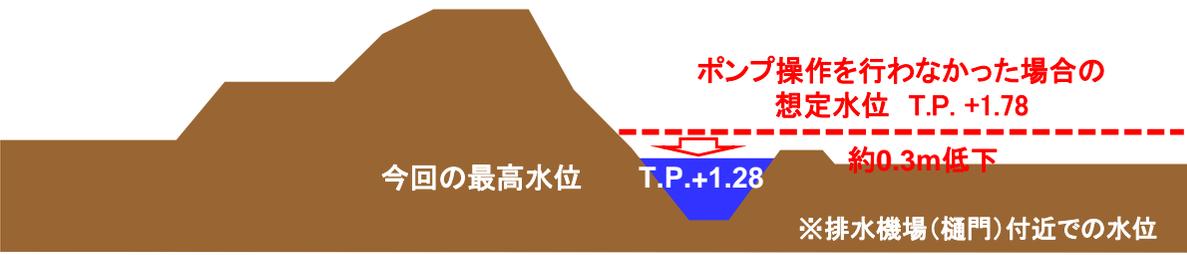
○片川排水機場では、平成30年7月5日21時～6日21時頃にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量約8.7万m<sup>3</sup>の内水**を排出。

## ■片川排水機場の位置・全景



## ■片川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量8.7万m<sup>3</sup>の内水を排出**し、片川の水位が**約0.3m低下**、浸水面積が**約63ha**、浸水家屋が**約3戸減少**



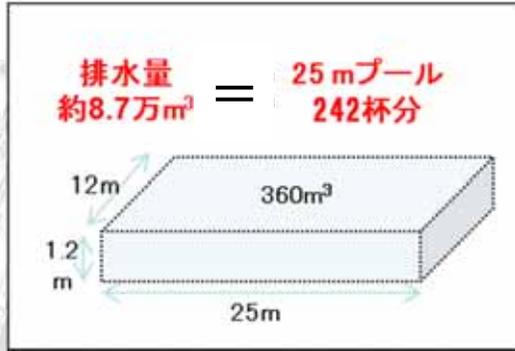
## ■片川排水機場の役割

- 片川の内水被害を軽減するため、片川排水機場を建設
- 九頭竜川洪水の片川への逆流防止と片川の洪水を九頭竜川へ排水する役割を担う
- 坂井市三国町山岸地区他に広がる浸水被害を軽減

## ■片川排水機場の諸元

S53年完成 1.0m<sup>3</sup>/sポンプ×2台  
 合計排水能力2.0m<sup>3</sup>/s  
 ※完成からすでに**40年以上経過**

ポンプが稼働しなかった場合の浸水被害



※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

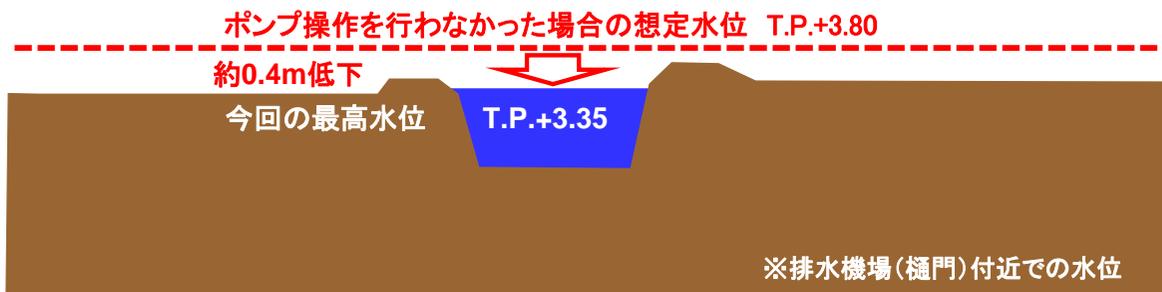
○磯部川排水機場では、平成30年7月5日21時～6日12時頃にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量約24.0万m<sup>3</sup>の内水**を排出。

## ■磯部川排水機場の位置・全景



## ■磯部川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量24.0万m<sup>3</sup>の内水を排出**し、磯部川の水位が**約0.4m低下**、浸水面積が**約88ha**、浸水家屋が**約24戸減少**



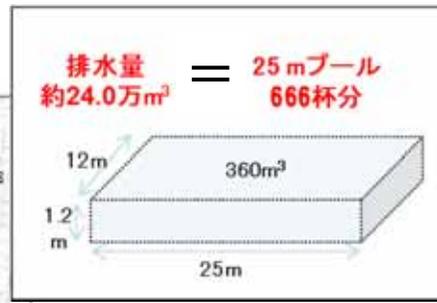
## ■磯部川排水機場の役割

- 磯部川の内水被害を軽減するため、磯部川排水機場を建設
- 九頭竜川洪水の磯部川への逆流防止と磯部川の洪水を九頭竜川へ排水する役割を担う
- 坂井市春江町安沢地区他に拡がる浸水被害を軽減

## ■磯部川排水機場の諸元

S53年完成 2.5m<sup>3</sup>/sポンプ×2台  
 合計排水能力5.0m<sup>3</sup>/s  
 ※完成からすでに**40年以上経過**

ポンプが稼働しなかった場合の浸水被害



※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

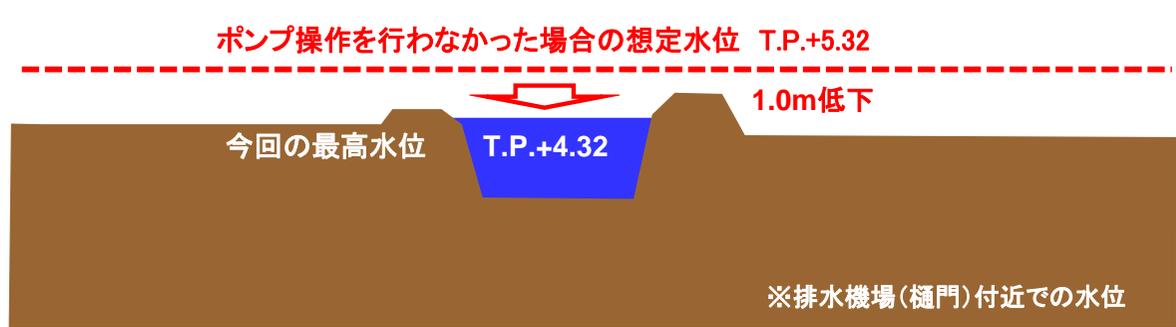
○底喰川排水機場では、平成30年7月5日21時～7日15時頃にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量約2.2万m<sup>3</sup>の内水**を排出。

## ■底喰川排水機場の位置・全景



## ■底喰川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量2.2万m<sup>3</sup>の内水を排出**し、隣接する市の排水施設も含め、底喰川の水位が**約1.0m低下**、浸水面積が**約16ha**、浸水家屋が**約21戸減**



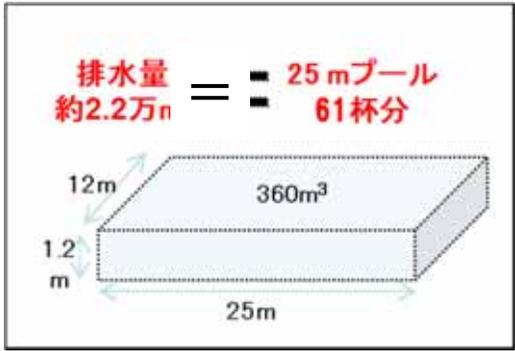
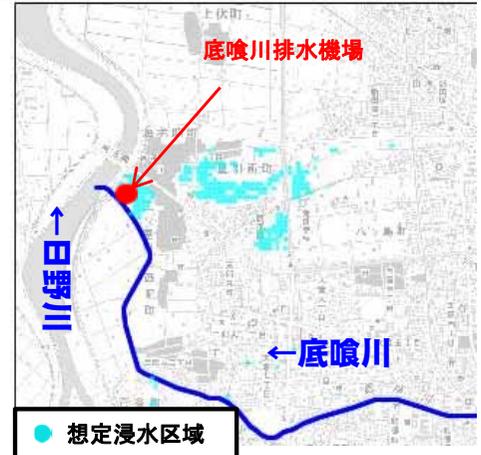
## ■底喰川排水機場の役割

- 底喰川の内水被害を軽減するため、底喰川排水機場を建設
- 日野川洪水の底喰川への逆流防止と底喰川の洪水を日野川へ排水する役割を担う
- 福井市里別所町地区他に広がる浸水被害を軽減

## ■底喰川排水機場の諸元

S62年完成 0.6m<sup>3</sup>/sポンプ×1台  
 合計排水能力0.6m<sup>3</sup>/s  
 ※完成からすでに**30年以上経過**

## ポンプが稼働しなかった場合の浸水被害



※本資料で用いた値は、概略で試算したものです。速報値のため、今後変わる場合があります。

# 土砂崩壊箇所における活動・支援状況

# 六甲砂防事務所管内 災害状況

○六甲砂防事務所管内において、関係市や一般者からの情報提供、陸上およびヘリによる調査(7/5~)により、34箇所の被災箇所を把握。

土砂災害	箇所数
通報等により調査を実施した箇所	34
応急対策を実施又は実施予定の箇所	10
当面、経過観察を続ける箇所	16
他機関等が対応する箇所	8

平成30年8月10日時点  
 数値は速報値のため、今後変更する場合があります。



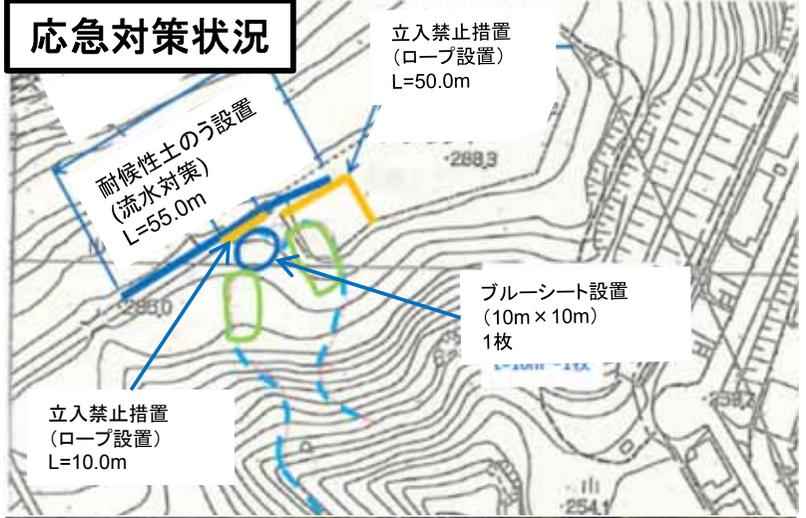
# 六甲砂防事務所管内の主な被害と応急復旧状況(神戸市灘区篠原台)

- 神戸市灘区篠原台で斜面崩壊に伴い住宅地にまで土砂流出が発生(7/6)。
- 六甲砂防事務所において崩壊斜面部の応急対策完了(7/17)。

## 被災状況



## 応急対策状況



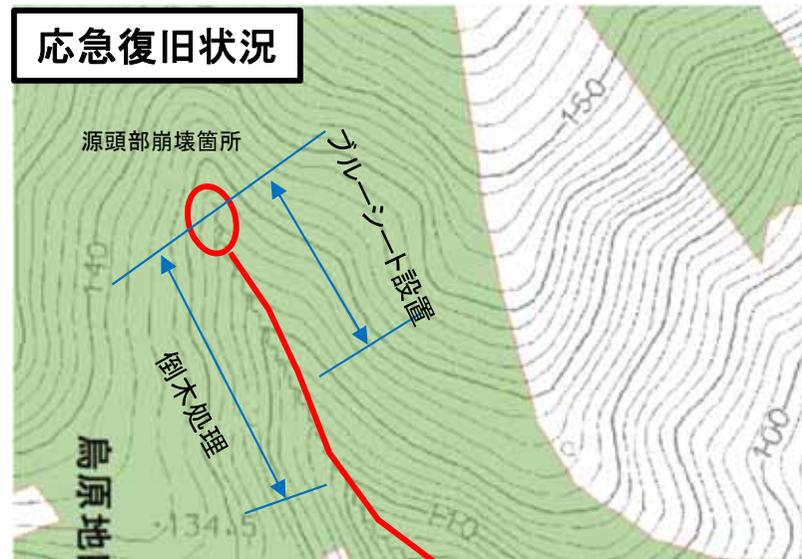
# 六甲砂防事務所管内の主な被害と応急復旧状況(神戸市兵庫区清水町)

- 神戸市兵庫区清水町で斜面崩壊に伴い住宅地にまで土砂流出が発生(7/5)。
- 六甲砂防事務所において崩壊斜面部の応急対策完了(7/27)。

## 被災状況



## 応急復旧状況



# 六甲砂防事務所管内の主な被害と応急復旧状況

【兵庫区清水町(福寿院)】(応急復旧)倒木撤去



【兵庫区山王町(千鳥堰堤上流)】(応急復旧)ブルーシート養生



【兵庫区平野町天王谷】(応急復旧)倒木撤去



【兵庫区天王町3】(応急復旧)大型土のう設置



【有野町唐櫃(水無川西堰堤予定地)】(応急復旧)土のう設置



【長田区一里山町】(応急復旧)土のう設置



# 六甲砂防事務所管内 施設効果

○既設の砂防堰堤が設置されていた箇所について、砂防堰堤により土砂を捕捉し、下流への被害を防いだ。



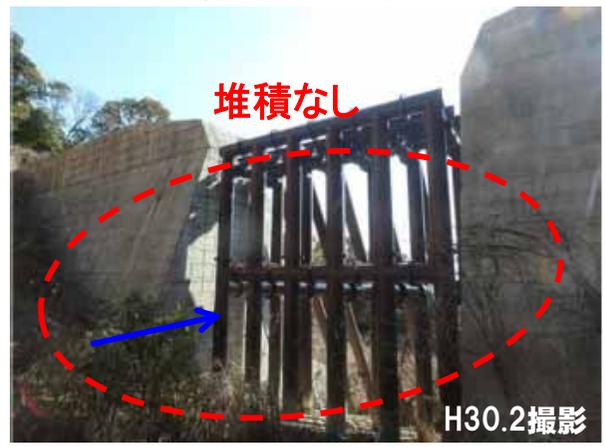
三の谷1号堰堤  
(神戸市須磨区  
西須磨鉄拐)



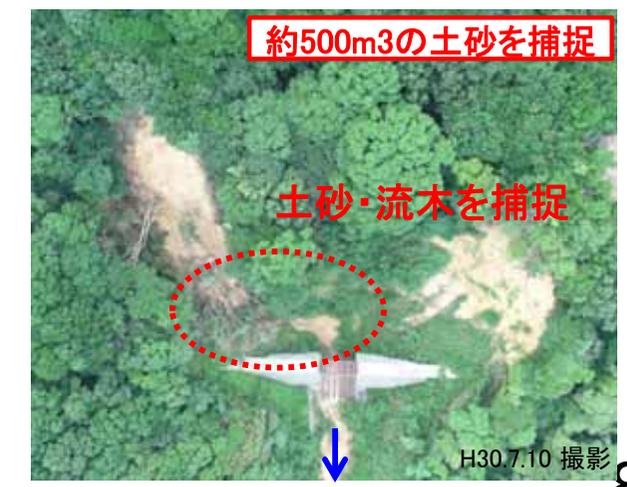
## 土石流発生前



背面の状況



## 土石流発生直後



# 六甲砂防事務所管内 施設効果

○既設の砂防堰堤が設置されていた箇所について、砂防堰堤により土砂を捕捉し、下流への被害を防いだ。

位置図

水晶谷第四堰堤  
(神戸市灘区  
六甲山町北六甲)

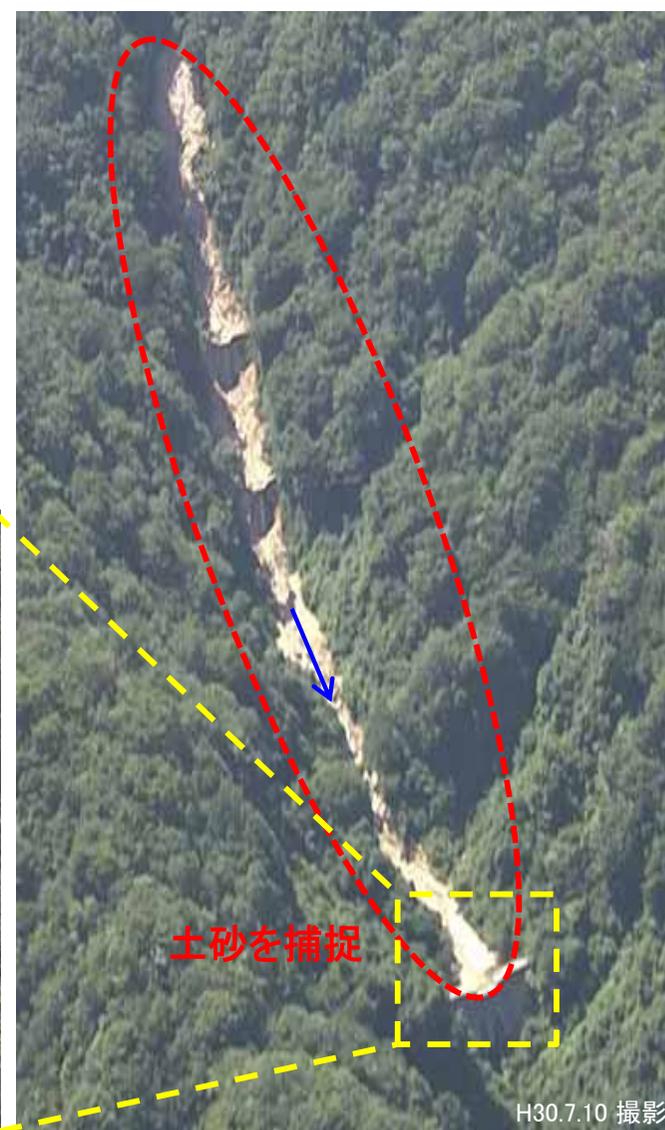
水晶谷第四堰堤

市街地

### 土石流発生前



### 土石流発生直後



約4600m<sup>3</sup>の土砂を捕捉



# 天然ダム(兵庫県宍粟市波賀町道谷)の状況

- 7月7日、兵庫県宍粟市波賀町道谷において、天然ダムが発生。
- 土石流が流出する恐れがあったため、国道29号は通行止め実施。(7/6 21:00 ~ 7/9 12:30)

天然ダム  
しろうし はがちょう どうたに  
兵庫県宍粟市波賀町道谷



<河道閉塞の規模>  
幅:約25m、高さ:約7m



- 兵庫県の要請により、天然ダムの状況調査を支援するため、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)砂防班を4名派遣。
- 現地調査(7/9)において、土砂崩れの被災規模・状況等を把握。



7月9日17時47分撮影



7月9日17時36分撮影

# 天然ダム(兵庫県宍粟市波賀町道谷)に対する支援<排水ポンプ車>

しそく はがちょうどうたに

- 兵庫県の要請により、天然ダムの湛水池の水位低下のため、排水ポンプ車を派遣。
- 早期水位低下に向け、夜間作業も行うために照明車も派遣し、昼夜におよぶ排水作業を実施。  
(排水ポンプ車稼働時間:7/10 11:15 ~ 7/11 12:10)



○天然ダム発生から現在に至るまで、天然ダムおよび崩壊斜面の状況を把握するため、ヘリによる定点調査を実施(7/8~17、20、25、31) ※7/8以降、特に大きな変動なし

①斜面正面より撮影

②斜面上部より撮影

③天然ダム下流側より撮影

<7月8日>



<7月20日>



<7月31日>



# 天然ダム(京都府福知山市大江町公庄)の状況

- 7月8日、京都府福知山市大江町公庄において、天然ダムが発生。
- 土石流が流出する恐れがあるため、7月10日から7月13日まで、国道175号は通行止め、京都丹後鉄道は運行停止。(現在は通行止め、運行停止解除)
- 福知山市は公庄地区17世帯39人に対して、土砂災害警戒のため避難勧告を発令(発令期間:7/9 11:15~7/14 10:00)



- 京都府の要請により、天然ダムの状況調査を支援するため、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)砂防班を4名派遣。
- 現地調査(7/10~7/13)において、土砂崩れの被災規模・状況等を把握。



- 京都府福知山市大江町公庄で京都府福知山市で発生した天然ダムに関して、京都府の要請により、危険性等の調査及び応急対策等に関する技術的助言を行うため、7月10日、土砂災害専門家(TEC-FORCE高度技術指導班)が現地調査を実施。
- 調査結果を踏まえ、京都府、福知山市に対し、今後の警戒避難体制に関する考え方や応急対策・恒久対策について助言。

現地調査箇所  
(京都府福知山市大江町)



#### 【記者会見における土砂災害専門家 見解】

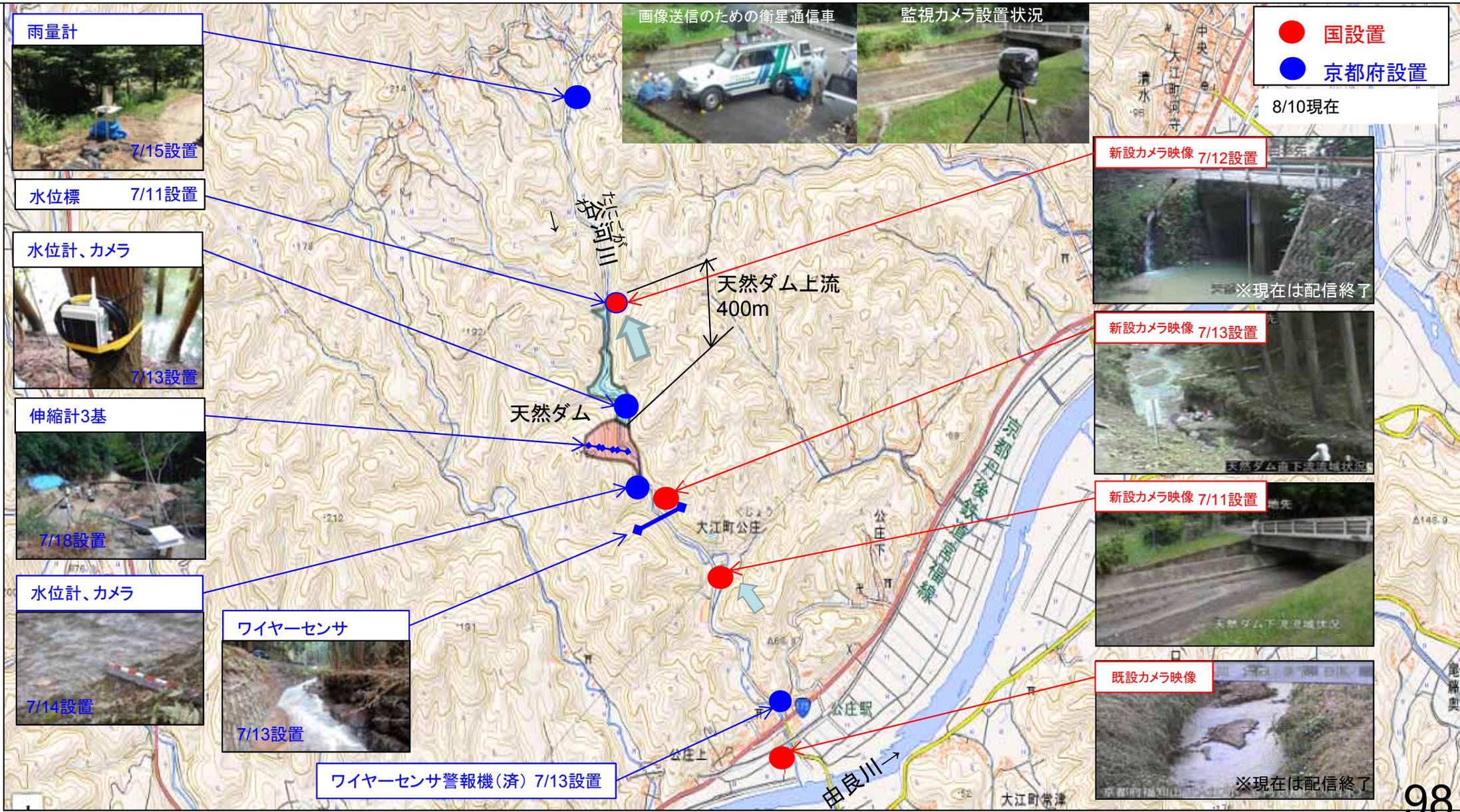
- ・天然ダムの現況について、湛水長は最大時(400m)の1/3くらいになっており、越流はしていないが浸透により水位が下がっている。
- ・ただちに決壊するおそれはないが、再び雨が降ると水が増える可能性がある。今後、ポンプを使ってたまった水を取り除くことが必要。また、暗渠排水管・天然ダムの切り下げが有効である。
- ・湛水池の監視及び水位予測のため、天然ダムの上下流に水位計の設置が必要。また、カメラの設置により水面とダム本体の両方を確認出来るようにしておいた方がいい。・斜面の状態監視のため、孔内傾斜計、伸縮計、ひずみ計などを設置し、リアルタイム監視することも有効。



# 天然ダム(京都府福知山市大江町公庄)に対する支援<設備関係設置状況>

○天然ダムおよび周辺の状態監視のために監視カメラを3台設置し、既設カメラ1台を合わせた計4台の映像を国土交通省ネットワークを通して京都府および福知山市に配信。

○京都府においては、水位標、雨量計、ワイヤセンサー等を設置し、天然ダムや崩壊斜面の状況を監視。



# 天然ダム(京都府福知山市大江町公庄)における対策状況

- ・京都府において、天然ダム下流に土砂流出を止めるためのブロック堰堤2基、大型土のう2箇所を設置済み。
- ・天然ダム直下及び山腹崩壊箇所において倒木流木撤去を行い、越流時における侵食対策のための仮排水路設置、越流抑制のための排水ポンプ設置を実施済み。
- ・水位を低下させるため配水管(φ1,500mm)設置作業を実施中。

ブロック堰堤<7/15設置>



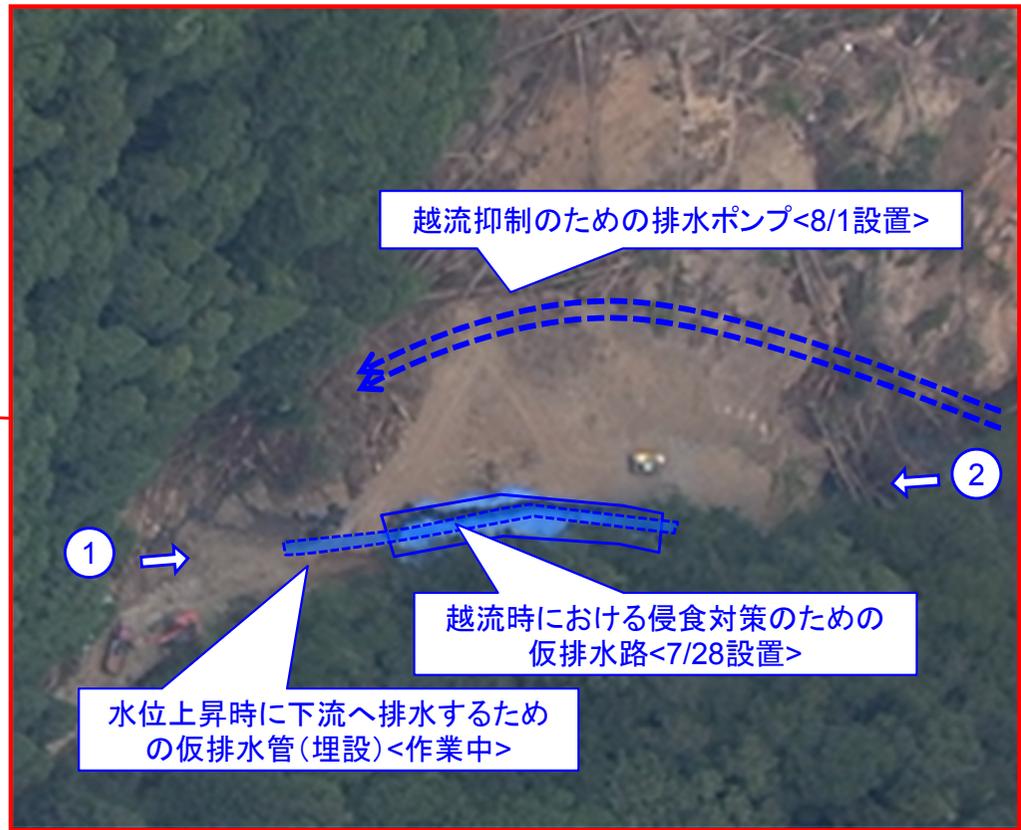
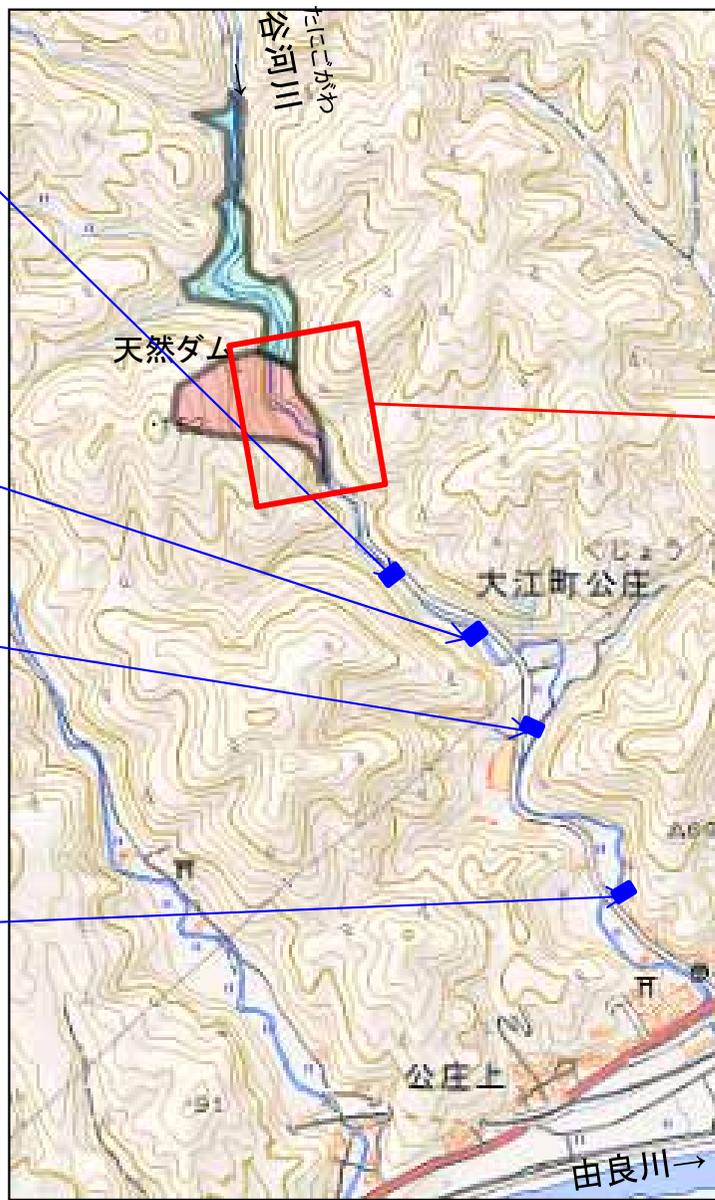
ブロック堰堤<7/17設置>



大型土のう設置<7/14設置>



大型土のう設置<7/27設置>



水位低下対策状況<8/10時点> (webカメラより)



# 天然ダム(京都府福知山市大江町公庄)に対する支援<ヘリによる定点観測>

○天然ダム発生から現在に至るまで、天然ダムおよび崩壊斜面の状況を把握するため、ヘリによる定点調査を実施(7/9~17、20、25、31) ※7/9以降、特に大きな変動なし

①斜面正面より撮影

②斜面上部より撮影

③天然ダム下流側より撮影



<7月9日>



<7月20日>



<7月31日>

